

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校・習志野高校
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校・習志野高等学校
事業名	1 小学生・中学生・高校生のキャリア教育の推進	平成24年度事業費決算見込み額	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小学生・中学生を対象にした職場体験を充実させます。</li> <li>◆職場体験を受け入れる企業を開拓します。</li> <li>◆中学校で、現在ある職業について学習する機会を増やします。</li> <li>◆高校3年間を見通した組織的な進路指導を充実させます。</li> <li>◆部活動を含めた学校教育全体を通じたキャリア教育を推進します。</li> </ul>		
平成24年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆習志野商工会議所・習志野市商店会連合会に職場訪問及び職場体験学習の趣旨説明、受入の協力依頼、実施予定調査を集約するとともに、実施日が重ならないよう調整しキャリア教育を推進します。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆次代を支える人材の育成を目指して、小・中学校のキャリア教育の連携の充実を図り、児童・生徒の勤労観・職業観を育みます。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆講演会、研修会などを通して、生徒に職業観勤労観の育成を推進します。(指導課・小学校・中学校)</li> </ul>		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中学校の校内研修会で講師として、キャリア教育について講話をし、キャリア教育の理念や具体的な取り組みについて周知を図りました。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆小・中学校の職場体験学習が円滑に実施できるよう、協力いただく関係各機関への依頼等をおこないました。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆職場体験は実施しなかったが、専門学校等の講師をお招きして、将来なりたい職業を考えるための職業講座を行うなどのキャリア教育を実施した。(高校)</li> </ul>				
評価指標	◆職場体験実施校数	平成23年度数値	◆小学校16校・中学校7校・高校0校	平成24年度数値	◆小学校16校・中学校7校・高校0校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆校内研修会や学校訪問の際に、キャリア発達の視点からの指導の重要性を周知、さらなる体験学習の推進に向けての指導をしたことが、事前・事後指導を含めた職場体験学習の充実につながり、子どもの職業観・勤労観の育成を支えました。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆日常の部活動等をはじめとする教育活動において、生徒は目的意識を持ち他の生徒と協力しながら心身ともに鍛えている中で、将来自分がどうあるべきかを考える場として外部講師による職業講座などは生徒の刺激となっている。また、これらの活動等を通して、充実したキャリア教育が展開され、「生きる力」を育てています。(高校)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆キャリア教育の推進には、異校種の連携をさらに発展させる必要があります。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆児童・生徒向けのキャリア発達に向けた講演会や研修会の実施にさらに力を入れていく必要があります。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆習志野高校の特質上、実際の職場体験の実施は難しいと考えます。部活動や授業に支障のないキャリア教育として、各学年ごとに職業講座などの幅広いキャリア教育をこれからも推進していく。(高校)</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	小学校・中学校…A 高校…B

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆習志野商工会議所・習志野市商店会連合会に職場訪問及び職場体験学習の趣旨説明、受入の協力依頼、実施予定調査を集約するとともに、実施日が重ならないよう調整しキャリア教育を推進します。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆次代を支える人材の育成を目指して、小・中学校のキャリア教育の連携の充実を図り、児童・生徒の勤労観・職業観を育みます。</li> <li>◆講演会、研修会などを通して、生徒に職業観勤労観の育成を推進します。(指導課・小学校・中学校)</li> <li>◆現代社会の学習・職業の研究を通じて、高校3年間を見通した組織的計画的な進路指導を充実させ、生徒の職業理解を推進します。(高校)</li> <li>◆講演会、研修会などのガイダンスを通して、生徒に職業観勤労観の育成を推進します。(高校)</li> </ul>
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校・習志野高校
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校・習志野高等学校
事業名	2 開かれた学校づくりの推進		
		平成24年度事業費決算見込み額	
事業の概要	◆開かれた学校づくりを推進するために、学校評議員制度をすべての市立小学校・中学校・高校に導入しています。		
平成24年度事業目標	◆市立各小中高で、学校評議員から意見を伺い、教育目標の具現化に生かすために今後も学校評議員制度を継続し、開かれた学校づくりを推進します。(指導課・小学校・中学校) ◆秋津小学校では、コミュニティースクールとして学校運営協議会を開催し、開かれた学校づくりを推進します。(指導課・小学校・中学校) ◆学校評議員協議会をさらに充実させるとともに、校内の学校評価に係る体制をより確立させたいと考えています。(習志野高校)		

1. 平成24年度に実施した事業内容及び、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆小学校・中学校・高校で教育目標の具現化や教育課題等、学校の実情や児童・生徒の実態に応じて学校評議員から意見を伺い、学校経営や教育活動に生かすために学校評議員制度を継続して導入し、開かれた学校づくりを推進しました。 ◆秋津小学校では、コミュニティースクールとして学校運営協議会を開催し、開かれた学校づくりを推進しました。(小学校・中学校) ◆学校評議員協議会をさらに充実させるとともに、校内の学校評価に係る体制をより確立させたい。(小学校・中学校) ◆毎学期、学校評議員協議会を開催し、学校評価の結果をもとに、保護者と学校の関係、地域と学校の関係、高等学校における心の教育など協議した(高校)				
評価指標	◆学校評議員制度導入校数 ◆学校運営協議会設置校数	平成23年度数値	◆小学校15校・中学校7校・高校1校 ◆小学校1校	平成24年度数値	◆小学校15校・中学校7校・高校1校 ◆小学校1校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆学校運営協議会の運営委員と学校評議員委員からの意見等が学校運営や教育活動を見直し改善するための参考となり、地域に開かれた学校づくりの推進が図られました。(指導課・小学校・中学校) ◆学校評価をもとに、様々なご意見を頂戴し、校内職員で総括することができた(高校)	◆ご指摘に応え、推進しているところもありますが、なかなか課題の解決を実現することができない部分があります。(高校)
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	小学校・中学校…A 高校…B

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆市立各小中高で、学校評議員から意見を伺い、教育目標の具現化に生かすために今後も学校評議員制度を継続し、開かれた学校づくりを推進します。(小学校・中学校) ◆秋津小学校では、コミュニティースクールとして学校運営協議会を開催し、開かれた学校づくりを推進します。(小学校・中学校) ◆学校評議員協議会をさらに充実させるとともに、校内の学校評価に係る体制をより確立させたいと考えています。(高校)
------------	---

**習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】**

**1 次代の親の育成**

基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・総合教育センター
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校
事業名	3 個に応じた多様な指導の充実		
		平成24年度事業費決算見込み額	
事業の概要	◆学校訪問等で授業研究を実施した際、個に応じた指導方法・学習形態の在り方に関して研究・協議を行い、きめ細かな指導をします。 ◆少人数指導による積極的な活動により、きめ細かな指導をします。		
平成24年度事業目標	◆各学校で、より効果的な少人数指導及びチームティーチング指導を実施し、その成果と課題を明らかにしていきます。(指導課) ◆学校訪問等で授業を実践した際に、個に応じた指導方法・学習形態の在り方、指導と評価の一体化等に関して研究・協議を継続していきます。(指導課)		

**1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。**

平成24年度に実施した事業内容	◆小学校・中学校とも、算数・数学、理科を中心として、指導内容や学級の実態に応じて、少人数指導、チームティーチング指導によるきめ細かな指導を実施しました。(指導課) ◆学校訪問において、個に応じた多様な指導方法や学習形態の工夫について指導し、効果的な実践及び推進を図りました。(指導課) ◆実施なし(総合教育センター)				
評価指標	◆少人数授業実施校数	平成23年度数値	◆14校	平成24年度数値	◆16校

**2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。**

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

**3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。**

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆指導内容な児童生徒の実態に応じた、指導方法や学習形態の工夫を実践し、児童生徒の学習意欲向上と学力の向上が図られるとともに、個に応じたきめ細かな学習支援を行うことができました。(指導課) ◆学校訪問等で、少人数指導やチームティーチング指導など、個に応じた指導方法や学習形態の在り方についての指導を行うことができました。(指導課)	◆効果的な少人数指導・習熟度別指導等を行うための教科や単元の選定や、学習形態をどのようにしたらよいかについて、今後ともさらに研究の必要性があります。(指導課) ◆教員の配置の方法により、従来の少人数学習担当が配置されていない学校がある現状の中で、一斉指導での個に応じた指導を充実するための指導方法や学習形態等についての研究をより一層深めていく必要があります。(指導課)
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

**4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。**

平成25年度事業目標	◆各学校で、より効果的な少人数指導及びチームティーチング指導を実施し、その成果と課題を明らかにしていきます。(指導課) ◆学校訪問等で授業を実践した際に、個に応じた指導方法・学習形態の在り方、指導と評価の一体化等に関して研究・協議を継続していきます。(指導課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

1 次代の親の育成

基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	幼稚園・保育所・こども園・小学校
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	幼稚園・保育所・こども園・小学校
事業名	4 幼稚園・保育所・こども園・小学校関連研修会の推進		
		平成24年度事業費決算見込み額	
事業の概要	◆幼稚園・保育所・こども園・小学校が連携して、保育・授業参観、合同研修会、相互職場交流研修、園児・児童の交流学习等を開催し、相互の連携に努めます。		
平成24年度事業目標	◆幼稚園・保育所・小学校間での交流により、子ども観や保育観・教育観を培い、幼稚園・保育所・子ども園・小学校の職員それぞれが、長い期間で子どもの発達や教育を語れるようにします。(小学校) ◆幼稚園・保育所・こども園・小学校間での交流により、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を目指し、お互いの教育内容や指導方法について相互理解を図り、それぞれの指導に生かします。(幼稚園・保育所・こども園)		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆幼保小関連研修を実施。全体研修会を3回実施するとともに、就学区域を基本としたブロックごとの交流会等を実施しました。〔小学校〕 ◆全体研修会を3回実施しました。(幼稚園・保育所・こども園) ◆市内15地区の幼稚園・保育所・こども園・小学校で、地区ごとに幼児、児童の交流を計画・実施しました。(幼稚園・保育所・こども園) ◆各地区ごとの研修テーマにそって、情報交換や交流活動を実施しました。(幼稚園・保育所・こども園)				
評価指標	◆全体研修会開催回数	平成22年度数値	◆3回	平成24年度数値	3回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆保育参観や授業参観を通して子どもの様子を具体的に把握することができ、それぞれの発達段階に応じて指導すべきことが明確になりました。〔小学校〕 ◆子ども同士の交流会を行うことで、子どもたちの成長を促すことができました。〔小学校〕
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆小1プロブレム等小学校に入学した後の適応について難しくなっているなか、幼稚園・保育所・こども園と小学校との指導の連携を深めていく必要が増しています。この点、ブロックごとに日程を調整し、相互参観や交流を重ねられる形態は有効でした。(小学校) ◆特別支援を要する子どもを通常学級に迎え入れる準備を進める上でも、就学区域を基本としたブロックごとの研修形態は、引継ぎを綿密に行うことができ、有効でした。(小学校) ◆交流活動や互いの生活や学習の様子を参観することを通して、子どもの発達の相互理解につながり、互いの指導の在り方を見直すことができました。 ◆幼児にとっては交流活動を通して、小学校への期待や親しみを増すことができましたまた、小学生に親しみの気持ちをもって進んでかかわろうとするようになった。(幼稚園・保育所・こども園) ◆児童にとっては、交流活動を通して積極的にかかわる気持ちや思いやりの気持ちを育むことができ、自信につながった。(幼稚園・保育所・こども園)	◆幼稚園、保育所、こども園と小学校との子どもの交流を活発にしていだけでなく、職員同士がさらに教育観を交流していく視点をもてるように研修を深めていくことが必要です。(小学校) ◆幼児教育から小学校教育へ円滑な接続をしていくために、相互の発達を捉えながら情報交換をしたり、指導の在り方について協議していく必要がある。(幼稚園・保育所・こども園)
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆幼稚園・保育所・小学校間での交流を通して、子ども観や保育観・教育観を培い、幼稚園・保育所・子ども園・小学校の職員それぞれが、長い期間で子どもの発達や教育を語れるようにします。(小学校) ◆幼児教育から小学校教育への円滑な接続を目指して、子どもの発達、教育内容や指導方法について相互理解を図り、それぞれの指導に生かします。(幼稚園・保育所・こども園)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校
事業名	5 福祉教育の推進		
		平成24年度事業費決算見込み額	
事業の概要	◆社会福祉協議会と連携を図り、福祉教育やボランティア活動に取り組んでいきます。 ◆勤労精神やボランティア精神を養う体験的な活動を経験するため、中学生の地域美化活動、地域独居老人給食サービスの手伝い、地域敬老会への参加等を推進します。		
平成24年度事業目標	◆各教科・道徳・総合的な学習・特別活動などにおいて、生徒の勤労精神やボランティア意識を高める実践を全中学校で実施します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆各校における総合的な学習や特別活動の中で、地域の福祉施設との交流が今まで以上に進められ、地域の催し物に積極的に参加しました。				
評価指標	◆ボランティア活動実施校数	平成23年度数値	◆小学校16校・中学校7校	平成24年度数値	小学校16校・中学校7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆福祉施設との交流やボランティア活動をおこなうことで、人と人のつながりが生まれ福祉に対する理解が深まり、子どもの心身の健全な成長と自立を支える支援につながりました。 ◆地域独居老人給食サービスの手伝い、地域敬老会等のボランティア活動に中学生が体験活動で参加することにより、勤労精神やボランティア精神を育むことができ、子どもの心身の健全な成長と自立を支える支援につながりました。 ◆六中学区では、指定研究終了後も自主的にあいさつ運動・クリーン運動等を実施し、地域と学校間に福祉の意識が広がりました。	—
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆各教科・道徳・総合的な学習・特別活動などにおいて、生徒の勤労精神やボランティア意識を高める実践を全中学校で実施します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	クリーンセンター施設課・
施策内容	1 学校教育環境等の整備		谷津干潟自然観察センター・環境政策課
事業名	<b>6 環境教育の推進</b>	事業対象者	習志野市内小学校4年生児童
		平成24年度事業費決算見込み額	210,000円
事業の概要	◆小学生の環境教育を推進するための一環として、クリーンセンター(リサイクルプラザ・清掃工場)、谷津干潟自然観察センターの施設見学を実施します。		
平成24年度事業目標	◆事前に学校単位で、職員と担当教員の打合せを行い、時間配分、見学内容の見学行程表を作成し、ごみの減量、3Rの推進を図る学習になることを目指します。(クリーンセンター施設課) ◆谷津干潟の観察を楽しんでもらう。(谷津干潟自然観察センター・環境政策課) ◆谷津干潟の観察を通して谷津干潟がどんなところか知ってもらう。(谷津干潟自然観察センター・環境政策課) ◆谷津干潟がラムサール条約に登録され大切な湿地であることに気づいてもらう。(谷津干潟自然観察センター・環境政策課)		

1. 平成24年度に実施した事業内容及び、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆小学校4年生の環境教育の一環としてクリーンセンター(リサイクルプラザ・清掃工場)の施設見学を実施しました。(クリーンセンター施設課) ◆谷津干潟自然観察センター実施プログラム〔谷津干潟自然観察センター〕 「谷津干潟ビンゴ」(所要時間70分) プログラム目標 ・谷津干潟に生息する生きものや自然を自ら探し、観察を楽しむ。 ・レンジャーによる事前や事後のレクチャーを通して、観察の仕方や干潟の働きなどを学ぶ。 ・ラムサール条約について知る。 内容 ・ビンゴシートを用いて、谷津干潟の生きものや自然、ゴミなど人工物の項目を観察する				
評価指標	◆谷津干潟自然観察センター ◆クリーンセンター見学児童数	平成22年度数値	◆小学校4年生1,535人 ◆4年生1,512人	平成24年度数値	◆小学校4年生1,502人 ◆4年生1,498人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆教師の意見・感想(クリーンセンター施設課) ・臨機応変な説明をしていただきありがたかった。 ・プラザでは、実際に物を触らせてもらうなど興味をもって学習できた。 ・リサイクルされる工程や、働く人々の様子が見学できてリサイクルへの気持ちが高まった。 ・見学だけでなく、作業している人から直接話しを聞けてとてもよかった。 ・専門的な言葉が多く難しかった。 ・10分程度の休憩を間に入れていただくと子供達の集中力が継続できて良いと思う。 ◆教員向けのアンケートより抜粋(谷津干潟自然観察センター・環境政策課) ・谷津干潟ビンゴはゲーム性もあり楽しみながら学習できた。 ・児童は谷津干潟は生きものがいて楽しいところだと感じているようだった。 ・子ども達は自発的に生きものを探そうという意欲が高まっているのが感じられた。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆ごみの処理の流れ、ごみを減らす大切さとリサイクルの必要性を学んでもらいました。(クリーンセンター施設課) ◆館内だけでなく遊歩道からの野外観察を試みた。遊歩道からの観察では自然(谷津干潟)と一体感があり、子ども達はのびのびと観察していた。(谷津干潟自然観察センター・環境政策課) ◆観察センターボランティアの支援もあり野外での観察案内も充実していた。(谷津干潟自然観察センター・環境政策課)	◆児童数の多い小学校(158名)と児童数の少ない小学校(32名)があるため、説明時間等の調整が必要である。特に児童数の多い小学校については移動時間が長くなり説明時間の不足や子供達の集中力が低下してしまう。(クリーンセンター施設課) ◆教員向けの合同説明会で、野外観察の意義や効果を実体験で伝えられるとよいだろう。(谷津干潟自然観察センター・環境政策課) ◆野外観察の際は、クラス単位で行動するとよいだろう。(谷津干潟自然観察センター・環境政策課) ◆ビンゴシートの内容は来館時期に応じたものに入れ替えるとよいだろう。(谷津干潟自然観察センター・環境政策課)
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できなかった部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	クリーンセンター… A 自然観察センター… B

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆事前に学校単位で、職員と担当教員の打合せを行い、時間配分、見学内容の見学行程表を作成しごみの減量、3Rの推進を図る学習になることを目指す。(クリーンセンター施設課) ◆野外観察を取り入れた体験プログラムを効果的に実施する。(谷津干潟自然観察センター・環境政策課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

1、次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校
事業名	7 学校健康教育の推進		
		平成24年度事業費決算見込み額	
事業の概要	◆思春期の子どもの心身の健康教育、特に体力向上や健康安全教育(エイズ・自然災害・交通災害・喫煙・薬物乱用・食育等)について指導を行います。		
平成24年度事業目標	◆食育等の健康教育や安全教育については、新学習指導要領においてお重点項目にあげられていることから、引き続き学校訪問の全体会等で指導していきます。 ◆体力・運動能力については、研修・研究会を充実させ、向上を図っていきます。 ◆県平均より下回る種目に関して、県平均を上回ることを目指していきます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆各学校で実施している事業等を研修会で発表し合い、参考とするようにしました。 ◆体力・運動能力調査を実施し、結果分析を行い、各校に配布しました。 ◆学校訪問等において、健康教育推進のための指導・助言を行いました。 ◆各中学校で、消防署の協力を得た救急救命法の学習の普及を行いました。				
評価指標	◆学校運動能力証合格率	平成23年度数値	◆小学校 36.3% ◆中学校 34.0%	平成24年度数値	◆小学校 33.92% ◆中学校 35.04%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆運動能力証合格者が中学校では昨年度より増加し、小学校では減少しています。新体力テストの市平均は県より上回る結果を出しており、各校における日頃の運動への取り組みが体力の維持・向上につながっています。 ◆薬物乱用防止教育では、生徒が薬物に関する正しい知識を身につけ、子どもの心身の健全な成長と自立を支える支援につながりました。 ◆救急救命法を通して必要な知識や実技を学ぶことで、安全に関する意識と命の大切さについて考える支援につながりました。(全中学校・小学校4校で実施)	◆体力・運動能力に関して、全体的に昨年度よりも運動能力証に合格する児童・生徒数が増加し、市の体力・運動能力の結果も県平均を上回る結果を出していますが、小学校においては走力50m走)・投力、中学校では握力が劣っており、各学校で改善を図る取り組みが必要である。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆食育等の健康教育や安全教育については、新学習指導要領においてお重点項目にあげられていることから、引き続き学校訪問の全体会等で指導していきます。 ◆体力・運動能力については、研修・研究会を充実させ、向上を図っていきます。 ◆県平均より下回る種目に関して、県平均を上回ることを目指していきます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

1、次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	教育総務課
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	児童及び生徒
事業名	8 学校施設の整備		
		平成24年度事業費決算見込み額	1,816,736,719円
事業の概要	◆情報化社会等に対応しつつ、また防災対策として学校施設の大規模改造を行います。		
平成24年度事業目標	◆人員面の問題は、機構改革によりどの程度解消されるか不明であるが、一方で近い将来に発生が懸念されている大規模地震に備えるため、耐震性のない建物に対し耐震補強工事を実施し、耐震化を図ることは喫緊の課題であることから、平成26年度までに耐震化を完了する計画とした学校施設整備計画に基づき、耐震化に特化して実施していく。平成24年度は谷津小学校、大久保東小学校、袖ヶ浦西小学校、第三中学校の耐震補強工事と屋敷小学校、向山小学校、第一中学校、第四中学校の耐震補強設計を実施。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	谷津小学校校舎、袖ヶ浦西小学校校舎の耐震補強工事及び屋敷小学校校舎、向山小学校体育館、第一中学校校舎、第四中学校校舎旧館の設計委託を行った。 また、津田沼小学校の全面改築や谷津小学校のグラウンド用地購入を行った。				
評価指標	◆学校施設耐震化率	平成23年度数値	◆60.4%	平成24年度数値	69.4%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
・一部想定外の事態により事業延期があったが、児童及び生徒に対する安全で安心な施設づくりを実施することができた。	今後の事業量増加。補助金等、今後の校舎建替への影響。設計、工事時における想定外の状況への対応。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	大久保東小学校校舎、向山小学校体育館、屋敷小学校校舎、第一中学校体育館、第三中学校校舎新館、第四中学校校舎旧館の耐震補強工事及び、前年度に引き続き東習志野小学校校舎、藤崎小学校校舎・体育館、向山小学校校舎、実花小学校体育館、第四中学校校舎新館、第五中学校体育館、第六中学校校舎の耐震補強設計を行う。 また、引き続き津田沼小学校全面改築事業のプール・外構工事、谷津小学校グラウンド整備事業を行う。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1、次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	教育総務課
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	市内で組織された団体(町会・まちづくり会議等)
事業名	9 余裕教室の有効活用		
事業の概要	◆学校の余裕教室を地域に開放する等、有効活用します。		
平成24年度事業目標	◆学校運営に支障のない範囲で、引き続き同様の対応を図る。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・袖ヶ浦西小学校(袖ヶ浦西コミュニティールーム 継続)</li> <li>・袖ヶ浦東小学校(袖ヶ浦東コミュニティールーム 継続)</li> <li>・東習志野小学校(東習志野コミュニティールーム 継続)</li> <li>・秋津小学校(秋津コミュニティールーム 継続)</li> <li>・香澄小学校(社会福祉協議会香澄支部活動室 継続)</li> </ul>				
評価指標	◆教育財産使用許可件数	平成23年度数値	◆5件	平成24年度数値	5

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
・継続している内容であるが、このことにより市民に開かれた学校とすることができたと思う。	・学校施設管理者との十分な協議と理解が必要。 ・今後の学級数の推移によっては中止する事業が出てくる。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	・学級数の動向を見ながら、学校運営に支障のない範囲で、引き続き同様の対応を図る。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	総合教育センター
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	市内在住、または小・中学校に在籍の小3～中3で心理的要因により不登校となっている児童・生徒
事業名	<b>10 適応指導教室の推進</b>		
事業の概要	◆不登校児童・生徒の状況に応じた、個別・小集団を通しての指導・援助を行います。		
平成24年度事業目標	◆学習支援や機会を捉えたカウンセリングの充実を図り、個に応じた学校復帰を目指します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動(教科の学習、図書館学習・PC学習、英語活動等)</li> <li>・体験的活動(鹿野山セカンドスクール、校外学習等)</li> <li>・集団活動(体育活動、調理実習、清掃、係活動等)</li> <li>・カウンセリング</li> <li>・在籍校、保護者との連携(学校訪問、保護者会、個人面談等)</li> </ul>				
評価指標	◆不登校児童・生徒の学校復帰率	平成23年度数値	◆80%(部分復帰を含む)	平成24年度数値	91%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
通級申請者11名中10名が在籍校への完全復帰ないしは部分復帰を果たすことができた。	在籍校との連携
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	通級している児童・生徒全員の在籍校復帰を目指す。
------------	--------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・総合教育センター
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校
事業名	11 教育相談活動の充実		
事業の概要	◆中学校・高校に児童・生徒教育相談員、スクールカウンセラーを配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実と、いじめ・不登校等の問題行動の解決を図ります。 ◆総合教育センターにおける電話相談、来所相談、グループ相談、訪問相談(学校・家庭)への対応や啓発資料の配布等、教育相談活動の充実を図ります。		
平成24年度事業目標	◆研修会や連絡会を充実させて、引き続き各中学校の教育相談体制の充実を図りながら、中学校区内の小学校・中学校との連携を進め、いじめ・不登校の未然防止、解消を目指す教育を推進していきます。(指導課) ◆青少年センターの相談窓口との一元化による相談員の増加により、各相談に迅速に対応します。(総合教育センター)		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆中学校7校に各1名、計7名の児童生徒教育相談員を配置し、不登校傾向の生徒やいじめ問題に対して指導・支援及び教育相談を行いました。また、不登校傾向の生徒には、学習支援も行いました。(指導課) ◆児童生徒教育相談員が抱えている事例研修や情報交換を行い、教育相談員の連携の機会をつくりました。また、中学前に配置している教育相談員と学区小学校との連携の機会も作りました。(指導課) ◆青少年センターの相談窓口との一元化を実施しました。 1月末現在(総合教育センター) ・来所相談 新規受理件数164件 延べ回数2441回に対応しました。(グループ相談を含む) ・電話相談 教育相談・特別支援教育 422件、青少年テレホン相談 713件に対応しました。 ・訪問相談 学校訪問 26件、家庭訪問 88件に対応しました。				
評価指標	◆教育相談員配置校数	平成22年度数値	◆中学校7校	平成24年度数値	◆中学校7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆中学校の長期欠席及び不登校生徒数は、昨年度よりも減少しています。(指導課) ◆小学校での病気やその他の理由で長期欠席している児童数は昨年度より減少していますが、不登校児童数は増えています。(指導課) ◆不登校生徒やいじめ問題に対応して教育相談等を行うことによって、これらの問題が解消の方向へ向かう生徒が多く見られました。(指導課) ◆数多くの電話・来所相談に対応するための人員増ができたため、総セ・指導課・青セ各々の専門性が共有できました。(総合教育センター)	◆小学校でも、学校によっては不登校の問題に苦慮しており、教育相談員の配置を必要とするところがあります。(指導課) ◆不登校児童の多い小学校には、中学校のように適応指導教室を設置して対応していく必要があります。(指導課) ◆相談件数の増加に対し、より良い対応をしていくためには、専門性のある相談員を増やしていく必要があります。(総合教育センター)
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆研修会や連絡会を充実させて、引き続き各小・中学校の教育相談体制の充実を図りながら、中学校区内の小学校・中学校との連携を進めるとともに不登校児童の多い学校に児童生徒相談員を配置し、いじめ・不登校の未然防止、解消を目指す教育を推進していきます。(指導課) ◆24年度活用いただいた状況を持続していきます。(青少年センター)
------------	---

**習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】**

基本施策(大項目)	1 次代の親の育成		
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・総合教育センター
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	習志野市民
事業名	12 青少年・家庭教育相談活動の充実		
		平成24年度事業費決算見込み額	545,000円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆青少年センターにおいて、青少年や保護者の悩みに対し、電話・来所等による相談を受けます。</li> <li>◆平成24年4月の総合教育センターへの青少年テレホン相談・家庭教育相談窓口の一元化と相談業務の開始に向け準備し、相談活動の一層の充実に取り組みます。</li> </ul>		
平成24年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「相談パンフレット」の配布や市のホームページに「相談の案内」を掲載し、相談活動を周知するとともに、電話・来所等による相談活動を行います。</li> <li>◆平成24年度相談窓口一元化に向けた準備と周知に取り組みます。</li> </ul>		

**1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成23年度数値をご記入ください。**

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆総合教育センターの相談窓口と一元化されました。 1月末現在(総合教育センター)</li> <li>◆来所相談 新規受理件数164件 延べ回数2441回に対応しました。(グループ相談を含む)</li> <li>◆電話相談 教育相談・特別支援教育 422件、青少年テレホン相談 713件に対応しました。</li> <li>◆訪問相談 学校訪問 26件、家庭訪問 88件に対応しました。</li> </ul>				
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆青少年テレホン相談件数</li> <li>◆家庭教育相談件数</li> </ul>	平成23年度数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆640件</li> <li>◆126件</li> </ul>	平成24年度数値	青少年テレホン相談 713件 教育相談 2441回

**2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。**

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆検査結果のきめ細かな分析と個別に特化された対応策がとられている。</li> <li>◆日常生活に生かされるコンサルテーションがもらえる。</li> <li>◆継続して、安定した関わりをしてもらえる。</li> <li>◆自己理解を促される。</li> </ul>
-------------------	---	-------------------	---

**3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。**

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆数多くの電話・来所相談に対応するための人員増ができたため、総合教育センター・指導課・青少年センター各々の専門性が共有できました。	◆相談件数の増加に対し、より良い対応をしていくためには、専門性のある相談員を増やしていく必要があります。	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

**4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。**

平成25年度事業目標	◆24年度活用いただいた状況を保持していきます。
------------	--------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

1. 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	市民
事業名	13 家庭児童相談の充実		
		平成24年度事業費決算見込み額	80,000円
事業の概要	◆子育て支援相談室において、児童養育相談等の推進を図ります。		
平成24年度事業目標	◆職員のさらなる知識技術の向上を図り、児童家庭福祉(環境福祉、健全育成、養育困難、不登校等)に関する相談や児童虐待の相談、通告等の業務に対応できる体制づくりを目指す。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆子育て支援相談の実施 0歳～18歳未満の子どもを持つ保護者及び児童等からの子どもに関するあらゆる相談に対し、電話、面接、訪問により、問題解決に向けた助言や情報提供を行いました。また、児童虐待の通報・相談窓口として千葉県中央児童相談所と連携し、問題解決に向けた取り組みを行った。相談件数:5376件 実人数:499人(うち児童虐待相談件数:3234件 実人数:257人) ◆ならしのこどもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)の運営 児童福祉法第25条の2に基づく要保護児童対策地域協議会の事務局として、代表者会議(年2回)、実務者会議(年6回、臨時1回)個別支援会議(23回 H25.1月末)や研修会の開催など、虐待防止に向けた庁内及び地域におけるネットワーク構築に努めました。 ◆養育支援家庭訪問事業の実施 養育困難な妊娠中から1歳未満の子のいる家庭に対し、家庭訪問などにより育児についての技術的支援を行った(処理件数:5件 延べ71回)。また、臨床心理士による勉強会を実施し(年6回)、相談技術の向上に努めました。				
評価指標	◆相談件数	平成22年度数値	◆5,700件(H24.12末)	平成24年度数値	5376件(H25.1月末)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆子育て支援相談室では、支援を必要とする家庭に対し、直接的な助言や情報提供を行うとともに、千葉県中央児童相談所や庁内関係機関との連携を図り、個々の家庭に応じた支援を行いました。また、臨床心理士による勉強会を開催し、職員の相談技術の研鑽を行いました。また、こどもを守る地域ネットワーク主催による研修会を開催し、こどもに関わる関係者の児童虐待防止の意識の醸成を図りました。	◆支援を必要とする家庭への対応は、個々に合わせて、きめ細やかに 行っているが、常にその対応について検証を行っていく必要がある。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆職員のさらなる知識技術の向上を図り、児童家庭福祉(環境福祉、健全育成、養育困難、不登校等)に関する相談や児童虐待の相談、通告等の業務に対応できる体制づくりを目指す。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1. 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	男女共同参画センター
施策内容	2 次代の親の意識づくり	事業対象者	市民・市職員
事業名	<b>14 男女平等推進のための意識づくり</b>	平成24年度事業費決算見込み額	1,348,146円
事業の概要	◆「習志野市男女共同参画基本計画」に基づき、講座の開催やパンフレットの配布等で、男女平等推進のための意識づくりを推進します。		
平成24年度事業目標	◆家庭や地域・職場等、社会のあらゆる場面において、男女平等の意識づくりが浸透することを目指し、講演会等を実施します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆男女共同参画週間事業講演会 ※登録団体から構成される運営委員会との協働により実施 参加者:92名 テーマ:幸福度を高める5つのアクション 講師:中央大学教授 広岡守穂 ◆男女共同参画啓発講座 参加者:105名(延べ) テーマ:わたしへのごほうび講座～ココロを軽くする女性学～ 講師:NPO法人パートナーシップながれや代表 山口文代 ◆子育て応援セミナー ※こどもセンターと共催 定員:40名 テーマ:パパ先生と考える「子どもとの遊び方・接し方」 講師:NPO法人ファザーリング・ジャパン理事・千葉大学教育学部附属幼稚園教諭 久留島太郎 ◆第9回みんなでまちづくり ※協働まちづくり課との共催 参加者:590名 参加団体:40団体 テーマ:伝えよう! 広げよう! 子どもたちとともに 内容:登録団体企画によるワークショップ、展示等 ◆情報紙「きらきら」の発行 ※市民参画による企画・編集 第24号(7月発行)特集テーマ「安心! 働くママの強い味方～子育てと仕事の両立できていますか」 第26号(平成25年3月発行)特集テーマ「まだ足りない男女平等意識～市民意識調査結果より」 各12,000部 市内幼稚園、保育所、小学校保護者に配布、公共機関等に設置 ◆ステップならしの図書情報コーナーに、男女共同参画やDV、ワーク・ライフ・バランスに関連する書籍を設置				
評価指標	◆男女共同参画週間中の講演会等実施回数	平成23年度数値	◆1回	平成24年度数値	1回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆男女共同参画週間事業講演会アンケート ・「夫婦が互いに自分育てを支えあう」という言葉がよかった。自分にしてくれない、だけでなく相手に対しても何か応援してあげようと思います。 ・男女共同参画という言葉もよく分からないまま「幸福度」というテーマにひかれ参加しました。このような機会に出会えて良かった。 ・主人が土日も仕事のため保育付の講演はとて有難いです。 ◆男女共同参画啓発講座アンケート ・この講座は夫とも一緒に聞きたかったです。夫婦一緒に参加できたらうれしいです。 ・全5回とも保育付で助かりました。5回では物足りなさを感じています。もっともっとたくさん学びたかった。パートⅡをお願いします。 ◆第9回みんなでまちづくりアンケート ・子供むけの楽しいイベント(腹話術、ロボット体験、昆虫の話等)が用意されていたのもっと子供達に来て欲しかった。 ・1階入口飾り付けを見て来場された方がいた。ロゴを活かして統一感がありPRになったと思う。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆男女共同参画週間事業講演会は、登録団体から構成される運営委員との協働により企画・運営を行い、実施できた。講師による講演の他、市民の事例発表を行い男女共同参画をより身近なものと感じ、男女共同参画社会づくりの意識向上に効果があったものと思われる。 ◆第9回みんなでまちづくりでは、ステップならしの登録団体が、「女性の視点からの防災～男女共同参画で身近な安全網を」をテーマにワークショップを行った団体の活動を参加者に周知するとともに、男女共同参画の意識づくりに寄与した。 ◆男女共同参画啓発講座では、全5回講座にもかかわらず、もっと学びたかったという意欲的な意見が多く、地域や社会への女性の参画等のテーマに対し、前向きな評価を得られた。 ◆情報紙「きらきら」については、公募の編集委員との協働にて企画・編集を行い、男女共同参画社会づくりにつながるテーマの特集を組み発行することができた。 ◆ステップならしの図書情報コーナーにDV、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画に関連する書籍を設置し、利用者に見出し・貸出を行っている。	◆男女共同参画週間事業講演会のアンケートにおいて、今後男女共同参画に関する講演会や講座のテーマに取り上げてほしいものとして、「家庭・地域」、「健康・福祉」関係を挙げる方が多い。今後もこの結果を活かしながら、男女共同参画社会の実現につながるような講演会、講座などの啓発事業を企画し継続していく。 ◆男女共同参画に関する講演・講座に参加した多くの方から保育を付けることの必要性を聞く。今後も誰もが参加しやすい環境を整え講演・講座を開催していく。 ◆講演会など、男女共同参画に関するテーマでは女性の参加者と比較して、男性の参加者が少ない状況が見受けられる。男性がもっと参加しやすい周知の方法や申し込みの手段を検討し門戸を開いていく必要がある。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	家庭や地域・職場等、社会のあらゆる場面において、男女平等の意識づくりが浸透することを目指し、講演会等の啓発活動を実施します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

1. 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	健康支援課・公民館・幼稚園・こども園・小学校・中学校(指導課)
施策内容	2 次代の親の意識づくり	事業対象者	未就学児とその保護者
事業名	15 年代に応じた「いのち・性」の教育の充実	平成24年度事業費決算見込み額	2,140,873円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分だけではなく、他人も思いやり、互いのいのちを大切にするための支援の一環として、子ども・保護者に向けて、「いのち・性」の大切さを啓発する活動や学習の機会の充実を図り、自分自身が愛されて育てられたという理解を、自分自身を肯定的に受け止められるように支援します。</li> <li>◆幼稚園・こども園・学校・PTA・公民館・ヘルスステーション等の関係機関が連携し、「乳幼児健康相談事業」、「幼稚園健康教育」、「幼児家庭教育学級」、「PTA家庭教育学級」等、それぞれの年代に応じて、一貫した「いのち・性」の健康教育を行います。</li> </ul>		
平成24年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆いのちを大切にするキャンペーンに取り組むこと及び道徳の授業を通して、児童生徒の生きる力や自分と他者との命を大切にする心を育む指導をしていきます。(小学校・中学校)</li> <li>◆関係機関との連携を図り、健康教育の場の充実を図っていきます。(健康支援課)</li> <li>◆公平公正の精神、差別や偏見を見逃さない適切な指導等、研修をとおして学び、一人一人の成長の見直しを図ります。(幼稚園・こども園)</li> <li>◆引き続き、幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、子どもの年齢に応じた性教育や「いのち」に関するプログラムを積極的に取り入れていきます。(公民館)</li> </ul>		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「幼稚園健康教育」、公民館主催の「育児講座」、「幼児家庭教育学級」、「PTA家庭教育学級」等の中で、乳幼児期の保護者に対して、子どもとの関わりや「いのち・性」についての内容を健康教育の中に取り入れ、実施しています。4か月児・10か月児健康相談では、基本的信頼関係や子どもとの向き合い方について媒体を用いて伝えています。1歳6か月児・3歳児健康診査の会場にも「いのち・性」に関する絵本を設置し、親子で話ができるよう工夫しながら情報提供を行いました。</li> <li>◆幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級の中で、家庭における「いのちの教育」や「性教育」の大切さや方法を学びました。</li> <li>◆「命を大切にするキャンペーン」を実施し、自分と他者の命を大切にする心、いじめや暴力行為等人権侵害は許されない行為であるという意識を高めました。(指導課)</li> <li>◆人権教育を教育計画に位置付け、園内の組織、研修体制を整備して人権教育の共通理解を図った。(指導課)</li> <li>◆県主催の人権教育研修会に参加し、各施設ごとに研修会後の報告会を実施して内容の周知を図った。</li> <li>◆紙芝居、ビデオ等の視聴覚教材を活用して、園児への指導を行ったり、保護者の理解を得る機会を設けたりした。</li> <li>◆事例研修を通して、個々の幼児に応じた適切な指導について協議した。(幼稚園・こども園)</li> </ul>				
評価指標	◆性教育をしたことがある親の割合 ◆自分以外の人に優しく接している人の割合	平成23年度数値	次回の調査は平成25年を予定	平成24年度数値	次回の調査は平成25年を予定

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆健康教育では、「家でも子どもと話をするきっかけになった。」「今回のことを機会に子どもとからだの仕組みについて話していきたい。」等、前向きな感想を得ています。(健康支援課)</li> <li>◆PTA家庭教育学級「親から伝えたい～生と性のお話は健康教育～」(公民館)</li> <li>・子どもには、命の尊さを教えて、自分や周りを大切に思う気持ちを養って欲しいと思いました。思春期は心と体のバランスが取れず、つらい時ではあるかもしれませんが、親はそれを理解し見守ってほしい。</li> <li>・性に対しても明るく話しやすい環境作りが大切であり、時には親の気持ちを伝えて、正しいアドバイスを出来れば良いと思います。また、体の仕組みと病気を知り、氾濫する性の情報に感わされずに伝えてほしい。</li> </ul>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆健康教育では、80回述べ4,180人(1月末現在)の乳幼児とその保護者、健康相談では、4か月児健康相談では112回1,172人(1月末現在)、10か月児健康相談では97回1,090人(1月末現在)の乳幼児の保護者へ健康教育を行い、多くの対象者へ支援することが出来ました。1歳6か月児・3歳児健康診査の会場に設置した「いのち・性」に関する絵本は、親子で見ている様子が多数みられ多くの来所者へ情報提供することができました。(健康支援課)</li> <li>◆事業に参加した保護者自身が「いのちの大切さ」や「性教育」について学ぶことにより、家庭でも子どもと向き合い、話し合うきっかけづくりとなりました。(公民館)</li> <li>◆各小・中学校の取り組みを通して、命の大切さにふれることにより、子どもの心身の健全な成長と自立を支援することができました。(指導課)</li> <li>◆研修会の充実による職員の意識向上を図ってきたことで、幼児一人一人の良さを大切に保育指導が実践された。</li> <li>◆友達とのかかわりを通して、お互いの思いや考えを伝え合いながら遊びを進めたり、相手の立場になって考えたりなど、相手を思いやる気持ちや認め合う気持ちが育ってきている。(幼稚園・保育所・こども園)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆幼児やその保護者対象の健康教育では、機会を捉え、多くの方に継続的な「いのち・性」に関する情報提供をしていく必要があります。(健康支援課)</li> <li>◆教師が個々の幼児理解に基づいて、信頼関係を築きながら望ましい人間関係を育むための指導について、更に研修していく必要がある。(幼稚園・こども園)</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆引き続き、関係機関との連携を図り、健康教育の内容の充実を図っていきます。(健康支援課)</li> <li>◆引き続き、幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、子どもの年齢に応じた性教育や「いのち」に関するプログラムを積極的に取り入れていきます。(公民館)</li> <li>◆いのちを大切にするキャンペーンに取り組むこと及び道徳の授業を通して、児童生徒の生きる力や自分と他者との命を大切にする心を育む指導をしていきます。(小学校・中学校)</li> <li>◆人権教育にかかわる研修の充実を図り、相手の立場になって考えられるやさしい心を育む指導をしていきます。(幼稚園・こども園)</li> </ul>
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1. 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	青少年課
施策内容	3 健全育成環境の推進	事業対象者	習志野市内書店
事業名	16 青少年有害図書の指定		
		平成24年度事業費決算見込み額	42,719円
事業の概要	◆青少年にとって有害な図書について、審議のうえ指定します。		
平成24年度事業目標	◆青少年の育成を阻害する有害な図書を指定し、販売者に対し自主規制の協力を要請し、性犯罪防止に努めます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	審議会委員が10月中旬までに、実態視察をし、審査対象の図書を選定してもらい、10月29日に審議会を開催し、有害図書の指定をするとともに、有害な図書を販売した書店に対し、区分陳列や販売自粛等の協力依頼をした。		
評価指標	◆指定図書数	平成23年度数値 ◆9冊	平成24年度数値 ◆9冊

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	有害図書で月刊誌、週刊誌等は指定された号のみが対象となるので、通知後次号がでてしまい、すでに店頭から撤去されているため、審査をする必要性があるのかどうか問題である。また、ここ数年来の書店への通知により、有害図書の対応をしている書店が多くなり、一定の効果をあげている。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
有害図書取扱対象書店等へ通知することで区分陳列と、ビニールカバーにより、中身が目につかないように対応された。	有害図書で月刊誌、週刊誌等は指定された号のみが対象となるので通知後次号がでてしまい、すでに店頭から撤去されているため、審査をする必要性があるのかどうか問題である。また、ここ数年来の書店への通知により、有害図書の対応をしている書店が多くなり、一定の効果をあげている。一般書より、有害図書販売(コミック)により生計をたてている書店については、成人向け書店ではなかったため対処が難しかった。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	習志野市内の各書店は、概ね徹底がなされた。今後は有害図書審議のあり方など、工夫することが課題であるが、引き続き実施する予定である。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

1. 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	公民館
施策内容	1 家庭教育への支援の充実	事業対象者	PTA会員
事業名	17 PTA家庭教育学級の充実		
		平成24年度事業費決算見込み額	993,113円
事業の概要	◆PTA会員を対象に、家庭教育の重要性、幼少年期の発達課題、学校や地域との関係等、家庭教育の諸問題や親の対応について学習します。		
平成24年度事業目標	◆引き続き、各PTAにおいて地域の子育てを考えるため、PTA家庭教育学級を実施します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	PTA会員を対象に、家庭教育の重要性、年齢に応じた発達課題、学校や地域との関係等、家庭教育の諸問題や親の対応について学習しました。				
評価指標	◆実施回数	平成23年度数値	◆142回	平成24年度数値	141回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	(PTA家庭教育学級「こどもの育て方」) 楽しくて笑いの絶えない、とても興味深い講演でした。子育てについて、わかりやすいお話で、とても参考になりました。来年も同じ講師のお話を違うテーマでまた聴きたい、本も購入したい。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
各PTAでは年齢に応じた発達課題等を学び、家庭教育への理解を深めることができました。また、主体となるPTA役員同士がつながりを持つことができ、地域活動へ参加する意識を高めることができました。	PTA家庭教育学級では、PTA役員が会員にアンケートを取るなどして内容を決めているが、「家庭教育」以外の内容(趣味的な内容)になることがある。	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	引き続き各PTAにおいて、地域の子育てを考えるため、PTA家庭教育学級を実施します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1. 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	子育て支援課・図書館
施策内容	1 家庭教育への支援の充実	事業対象者	新生児の市民
事業名	18 ブックスタート事業の充実	平成24年度事業費決算見込み額	1,398,950円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆乳幼児期から言葉と心を育むために、絵本との出会いの機会をつくり、絵本を介した親子のふれあいを支援します。</li> <li>◆4か月を迎えたお子さんを対象に、各ヘルステーションが開催する4か月児健康相談終了後、民生委員・児童委員の協力のもと、読み聞かせの大切さを伝え、絵本とコットンバッグをお渡しします。</li> <li>◆誕生記念として特別にデザインした図書館カードを、ブックリストとともに新生児に配付し、登録を促進します。</li> </ul>		
平成24年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成22年8月より一部に導入している、第2子以降やすでに絵本「いないいないばあ」を持っている方を対象とした絵本の選択制について、今後、更に事業年数た経つことにより、対象者のニーズも変化があることが考えられるため、動向を見守り、更なる拡充を図ります。(子育て支援課)</li> <li>◆関係課や民生委員児童委員との連携を図ることで、親子のふれあいを支援する体制の更なる拡充を目指します。平成22年8月より一部に導入している、第2子以降やすでに絵本「いないいないばあ」を持っている方を対象とした絵本の選択制について、動向を見守り、更なる拡充を図ります。(子育て支援課)</li> <li>◆引き続き、誕生記念図書館カードの配布を行い、登録の促進を図ります。(図書館)</li> </ul>		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆毎月11か所で行われる、各ヘルステーション主催の「4か月児健康相談」の会場で、民生委員児童委員の協力により、絵本とコットンバッグを贈呈しました。(子育て支援課)</li> <li>◆平成22年8月より実施している、一部絵本の選択制(すでに絵本「いないいないばあ」を持っている方は、他の絵本「がたんごとんがたんごとん」か「くだもの」が選べる)を引き続き実施しました。(子育て支援課)</li> <li>◆市民課窓口において出生届時に、誕生記念用にデザインした図書館カード、乳幼児向けに選定したブックリスト・図書館カード交付申込書を配布。閉庁時および、市外窓口への届け出者については、案内を送付しました。(図書館)</li> </ul>				
評価指標	◆ブックスタートパック配付数	平成23年度数値	◆1,300セット	平成24年度数値	◆972セット

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆第1子で「いないいないばあ」を贈呈されている方より、「他の絵本が選べるようになってうれしいです。」との意見がありました。(子育て支援課)
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆研修会の充実による職員の意識向上を図ってきたことで、幼児一人一人の良さを大切に保育指導が実践された。(子育て支援課)</li> <li>◆友達とのかかわりを通して、お互いの思いや考えを伝え合いながら遊びを進めたり、相手の立場になって考えたりなど、相手を思いやる気持ちや認め合う気持ちが育ってきている。(子育て支援課)</li> <li>◆平成24年度の誕生記念図書館カードの登録者数は442名(累計登録者数 5043名)でした。また、1269名の方に誕生記念図書館カードで図書館資料の貸し出しを行いました。(数値はすべて平成25年1月末現在)(図書館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成22年8月より一部絵本の選択制を導入しているが、今後、更に事業年数た経つことにより、対象者のニーズも変化があることが考えられるため、今後動向を見守り、対象者のニーズに応えたものに拡充していく必要があります。(子育て支援課)</li> <li>◆支援体制の充実のため、今後も関係課や民生委員児童委員との更なる連携を図っていく必要があります。(子育て支援課)</li> <li>◆誕生記念図書館カードの登録をしても未利用のまま長期未利用者となってしまう場合があります。今後も、図書館利用促進を更に図っていく必要があります。(図書館)</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成22年8月より一部に導入している、第2子以降やすでに絵本「いないいないばあ」を持っている方を対象とした絵本の選択制について、今後、更に事業年数が経つことにより、対象者のニーズも変化があることが考えられるため、動向を見守り、更なる拡充を図ります。(子育て支援課)</li> <li>◆関係課や民生委員児童委員との連携を図ることで、親子のふれあいを支援する体制の更なる拡充を目指します。(子育て支援課)</li> <li>◆引き続き、誕生記念図書館カードの配布を行い、登録の推進を図ります。(図書館)</li> </ul>
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1. 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	青少年課・社会教育課
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	小学生児童
事業名	19 子ども広場事業の実施		
事業の概要	◆公民館の空いている部屋を利用し、安全・安心な放課後の子どもの居場所を確保します。		
平成24年度事業目標	◆こどもの部屋の活用状況等をふまえて地域との交流の可能性を検討します。(社会教育課・青少年課) ◆4月より定期的なこどもの部屋がスタートし、企画・運営についていろいろアイデアをだしながら、協力して事業を推進していきます。(社会教育課・青少年課)		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	7公民館のうち、6館で週2日のこどもの部屋を開放。また、学校週5日制や長期休業対応の子ども講座を実施。(社会教育課・青少年課)				
評価指標	◆実施施設数	平成23年度数値	未実施	平成24年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
—	公民館では曜日と部屋を特定して、こどもの部屋を実施したが、子どもたちの生活様式との相違により利用が少なかった。また事業としての位置付けや実施体制もあいまいであり、抜本的な見直しが必要となった。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	C

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	公民館事業として位置付け、生涯学習相談員の見守る中、子どもたちが気軽に来館し過ごせるような受入れ態勢とする。なお、当面は全て公民館で週1回とする。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1. 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	青少年課
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	市内在住児童
事業名	20 あづまこども会館事業の充実		
事業の概要	◆児童の健全な遊び、学習の場、また地域住民の活動の場として、こども会館事業の充実を図ります。		
平成24年度事業目標	◆児童の健全な遊び・学習の場、また地域住民の活動の場として、事業の充実を図ります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	ぞうり作り教室、絵画教室、工作教室、卓球教室、書道教室等の主催事業や母の日のプレゼント作りや七夕飾り作り、フラフープ大会等の自主事業を開催し、市内在住児童に健全な遊び、学習の場を提供した。 23年度利用者数 15,708人、24年度利用者の見込み 15,279人				
評価指標	◆利用者数 15,708名	平成23年度数値	◆幼児1,716名・小学生9,144名・中学生600名・一般4,248名	平成24年度数値	▼幼児1,165名・小学生8,217名・中学生1,538名・一般3,448名(H25.2.19現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
こども達が物づくりの楽しさを味わいながら学び、異世代と触れ合える憩いの場として定着してきている。	こども達の興味を引く事業内容をどのように構築していくか。	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	児童の健全な遊び・学習の場、また地域住民の活動の場として、あづまこども会館事業を推進します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1・次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	青少年課
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	児童・育成者
事業名	<b>21 青少年健全育成の推進</b>		
		平成24年度事業費決算見込み額	3,890,000円
事業の概要	◆子ども会育成会連絡協議会・青少年相談員等の事業を援助し、青少年の健全育成を推進します。 ◆ボーイスカウト・ガールスカウト・スポーツ少年団等の事業を援助し、青少年の健全育成を推進します。		
平成24年度事業目標	◆青少年の健全育成を図るために、青少年育成団体の活動を支援する。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	定期的な会議において市民まつりにおけるこども広場の運営を中心に情報交換並びに研修等を実施。子ども会、青少年相談員、リーダーズクラブへの助成を実施。夏休み期間の富士吉田青年の家の優先利用、借り上げバス利用による年間サポートを実施。				
評価指標	◆青少年育成団体連絡協議会開催回数	平成23年度数値	6回 他研修会1回	平成24年度数値	◆6回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
青少年育成団体の活発な活動がみられた。	育成者の減少傾向、高齢化、育成団体のかけもちなどの、負担がみられる。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	各団体の事業活動内容を積極的に支援、PRし、青少年健全育成につながるサポートを図っていく。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

1.次世代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	公民館
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	小学生
事業名	22 子ども講座の充実		
事業の概要	◆学校が休みの土曜日・日曜日や長期休業日に、親子、異年齢の子どもとのふれあいや豊かな心を育てることを目的として実施している、子ども講座の充実を図ります。		
平成24年度事業目標	◆公民館サークルの会員や地元大学の先生を講師にするなど、地域で子どもを支えるプログラムを考えていきます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	子ども広場事業として、子ども講座、子ども映画会、親子対象の講座等を実施しました。		
評価指標	◆参加児童数	平成23年度数値	◆3,829人
		平成24年度数値	6,088人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	(子ども講座 科学実験講座) ・去年に続いて参加しました。とても楽しかったです。普段身近にある静電気を使って、実験したり遊んだりできて、良く知ることができました。来年も参加したい。 ・目に見えるようにアイデアがたくさん！子どもたちにも大人にも勉強になったと思います。本当に楽しい2時間、ありがとうございました。次の会も企画していただきたいです！
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
子どもにとっては講座を通じて公民館への親しみが湧くとともに、親子を対象とした講座では、家族のふれあいの機会となりました。	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	公民館サークルの会員や地元大学生の先生を講師にするなど、地域で子どもを支えるプログラムを考えていきます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1.次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	生涯スポーツ課
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	市内各小学校地区在住、在勤者のスポーツ団体
事業名	<b>23 学校体育施設の開放</b>		
事業の概要	◆市内小学校の校庭・体育館を土曜日・日曜日・祝日に開放し、運動する場を提供します。		
平成24年度事業目標	◆各学校体育施設開放運営委員会に対し、より多くの団体が使用できるよう利用調整を工夫していくことを依頼していきます。また利用者が、安全で安心して、活動ができるよう施設を管理していきます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆市内小学校の校庭・体育館を土曜日、日曜日、祝日に開放し、運動する場を提供した。				
評価指標	◆体育施設開放校数	平成23年度数値	◆小学校16校	平成24年度数値	◆小学校16校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆休日の学校体育施設を運動の場として、スポーツに親しむ機会を提供した事により、健康の保持増進と青少年の健全育成に役立てることができた。	◆開放中に発生した事故、怪我等の対応が課題となったが、各利用団体へ注意喚起を行うとともに、連絡方法の共通理解、学校との連携等を確認した。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆利用団体が安全で安心して活動ができることを第一優先として、施設の管理や事業の運営を進めていく。また、各運営委員会と利用者、学校との連携を図り、地域のコミュニティづくりに役立てていく。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

1. 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	生涯スポーツ課
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	市内小中高生
事業名	24 児童教室の開催		
事業の概要	◆スポーツ施設等で児童を対象としたスポーツ教室を定期的を開催します。		
平成24年度事業目標	◆スポーツの基礎となる教室を開催し、運動好きな子どもを作り、専門種目への架け橋となるよう実施していきます。 ◆中高生を対象とした教室を開催し、運動離れに歯止めをかけられるよう実施していきます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	個別の種目の教室として、テニス、スイミングなど6種目(種目によっては複数回)実施。このほか、「キッズスポーツ」として、6種目の内容で各種目2~3回実施の教室を行いました。				
評価指標	◆開催回数 ◆参加児童数	平成23年度数値	◆17回 ◆727人	平成24年度数値	◆20回(予定) ◆750人前後の見込み

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆楽しかったので、またやってみたい。 ◆初めは難しかったけど、慣れたら面白かった。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆スポーツの機会を提供することにより、スポーツを行う動機づけができた。 ◆スポーツの楽しさを学ぶことにより、今後も続けたいと思う子どもが多く見受けられた。	◆24年度より中高生対象の教室を実施したが、定員を下回る参加者数であったため、25年度は幅広く周知を行い、参加者増に努める。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆多くの参加者にスポーツの楽しさや、スポーツを通じての協調性や人間形成を学ぶことができるように実施する。 ◆引き続き、児童・中高生を対象とした教室を開催し、スポーツ活動に参加する機会を増やす。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1. 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	小学校・中学校
施策内容	3 世代間交流の推進	事業対象者	
事業名	25 地域交流事業の充実		
		平成24年度事業費決算見込み額	
事業の概要	◆学校支援ボランティアの活用等、地域の人材や素材等の授業への活用と地域との交流を推進します。		
平成24年度事業目標	◆年間2回の学校支援ボランティア会議で、年間計画・活動報告について協議するとともに、学校間の横の連携も図ることで、学校支援ボランティアの活動の充実を図ります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆年間2回の学校支援ボランティア会議で年間計画・活動報告について協議するとともに意見交換をおこないました。				
評価指標	◆学校支援ボランティア参加人数	平成23年度数値	◆11,042人	平成24年度数値	8,296人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆地域の方々が円滑にボランティア活動ができるようになっていきます。また、地域との交流がより深まっています。	特にありません。	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		
A		

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆年間2回の学校支援ボランティア会議で、年間計画・活動報告について協議するとともに、学校間の横の連携も図ることで、学校支援ボランティアの活動の充実を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1. 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	中学校・幼稚園・保育所・こども園
施策内容	3 世代間交流の推進	事業対象者	在所児・在園児及び中学生
事業名	26 中学生と幼稚園児・保育所児・こども園児の交流の充実		
事業の概要	◆中学校家庭科、総合的な学習の時間等の授業の一環として中学生と幼稚園児や保育所児、こども園児との交流を実践します。		
平成24年度事業目標	◆保育所児や幼稚園児・こども園児と中学生との異年齢交流をさらに充実していきます。(中学校) ◆交流を通して、一つ一つが相互に結びつき、幼稚園・保育所生活が充実したものになるようにしていきます。(幼稚園・保育所・こども園)		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆中学校の家庭科の授業において、幼稚園・保育所・こども園で園児との交流を行いました。・中学2年生家庭科及び3年生の職場体験学習の一環として、保育所・幼稚園・こども園において交流を実施。 ◆体験学習・事前学習としてオリエンテーションを実施。(中学校) ◆各学年(2歳～6歳)に分かれて交流。(幼稚園・保育所・こども園) 【室内遊び:造形遊び(製作・描画など)・ままごとなど 戸外遊び:かけっこなどの競技・鬼遊び・砂遊びなど】				
評価指標	◆実施校数	平成23年度数値	◆中学校7校	平成24年度数値	中学校7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	・初めての体験でなかなか思うようにできなかったが、あらためて働くことの大変さとやりがいを感じることができ、貴重な体験ができた。 ・子どもの接し方はもちろんの事、散歩の途中の安全配慮やおやつ工夫など普段は目立たないような工夫や取り組みがなされていることがわかった。 ・運動会の練習を見たり一緒に遊んだりして、子ども達の遊び方や接し方がわかった。 ・保育者・教諭は、お花づくりやペンキ塗りなどいろいろなことしなければならぬと知り、改めて働くことの大変さとやりがいを感じた。これからの将来に役立てたい。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆中学生にとっては、園児との交流を行うことで、思いやりの心や、幼児への興味・関心、現在及び将来の家庭生活のあり方等について学習することができました。(中学校) ◆園児にとっては、他との関わり方や幼稚園・保育所生活の充実につながりました。(保育所・幼稚園・こども園) ◆子ども達が、中学生と触れ合ったり一緒に遊ぶことで世代の違う中学生に親しみをもつことができた。(保育所・幼稚園・こども園) ◆生徒から歌を歌ってもらったり演奏を聞かせてもらったり、その歌声や演奏に感動をしていた。(保育所・幼稚園・こども園)	◆中学校、幼稚園・保育所・こども園相互の連携を取り合い、交流時期・交流内容・交流方法をより良くする方策を考えていく必要があります。(中学校) ◆短い時間ではあるが、事前の情報交換を活かし、より意欲的な交流が図れるよう内容の充実を図っていく。(保育所・幼稚園・こども園)
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆保育所児や幼稚園児・こども園児と中学生との異年齢交流をさらに充実していきます。(中学校) ◆交流を通して、一つ一つが相互に結びつき、幼稚園・保育所生活が充実したものになるようにしていきます。(幼稚園・保育所・こども園)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1. 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	指導課・小学校・中学校
施策内容	3 世代間交流の推進	事業対象者	小学校・中学校
事業名	27 地域参加型学校行事の推進		
		平成24年度事業費決算見込み額	
事業の概要	◆学校行事に保護者・地域の高齢者等を招待し、地域との連帯意識を育み、人間性豊かな児童・生徒を育成します。		
平成24年度事業目標	◆学校行事の平日開催と共に、保護者や地域の方が参加できるように休日開催も推進することで、今まで以上に学校教育活動への理解を深めていく。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆学校行事の平日開催のほかに、保護者や地域の方が参加できるように休日開催をしました。				
評価指標	◆実施校数	平成23年度数値	◆小学校16校・中学校7校	平成24年度数値	◆小学校16校・中学校7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆学校行事の平日開催のほかに、保護者や地域の方が参加できるように休日開催を推進することで、学校教育活動への理解を図り、学校への信頼が深まることにつなげ、協力・支援が得られました。	◆学校行事の休日開催日を増やす方向で学校現場に指導していきたい。	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆学校行事の平日開催と共に、保護者や地域の方が参加できるように休日開催も推進することで、今まで以上に学校教育活動への理解を深めていく。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>1. 次代の親の育成</b>			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	学校教育課・指導課・公民館・こども保育課・幼稚園・保育所
施策内容	4 「食育」の推進	事業対象者	公・私立幼稚園・保育所・こども園在園児及び保護者等
事業名	28 幼稚園・保育所・こども園・小学校・家庭等における「食育」の推進		
		平成24年度事業費決算見込み額	2,163,113円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆親子を対象にした適切な食生活習慣を確立させるための講義や指導、調理実習等を開催し、家庭における「食育」を推進します。</li> <li>◆幼稚園・保育所・こども園・学校教育全体の中で、食に関する指導を実施し、健全で豊かな食生活を送るために必要な力が身につくような指導を実施します。</li> <li>◆保健連絡会等を通して、幼稚園・保育所・こども園・学校との連携を図り、発達段階に応じた食育を実施します。</li> </ul>		
平成24年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆朝食欠食率を減らし、望ましい食習慣の確立を目指し、親子を対象とした学校教育活動及び家庭教育学級等を通して食育の充実を図るとともに、更なる食育の充実のために食育担当の教職員を対象とした研修会を実施し、また協議会等を通して幼稚園・保育所・学校・地域との連携を図ります。(学校教育課)</li> <li>◆今後も学校訪問の際に、指導していきます。(指導課)</li> <li>◆引き続き、幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、学習プログラムの中に食育の内容を積極的に取り入れていきます。(公民館)</li> <li>◆各施設の食育計画に基づき、日常生活をとおして、職員全員でとりくむとともに、家庭への情報提供や食育体験への参加などをよびかけ、連携を図っていく。(こども保育課・幼稚園・保育所・こども園)</li> </ul>		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各学校の食に関する指導の全体計画に基づき、教科や学級活動、給食時間に食に関する指導を実施しました。保護者対象の試食会や家庭教育学級において、食育の講演会や調理講習会を実施しました。栄養教諭・栄養士だけでなく養護教諭や給食指導主任等、食育を担当する教職員を対象に研修会を実施しました。(学校教育課)</li> <li>◆親子を対象にした適切な食生活習慣を確立させるための講義や指導、調理実習等を開催し、家庭における「食育」を推進します。(公民館)</li> <li>◆幼稚園・保育所・こども園・学校教育全体の中で、食に関する指導を実施し、健全で豊かな食生活を送るために必要な力が身につくような指導を実施します。(公民館)</li> <li>◆保健連絡会等を通して、幼稚園・保育所・こども園・学校との連携を図り、発達段階に応じた食育を実施します。(公民館)</li> <li>◆幼児家庭教育学級とPTA家庭教育学級の学習プログラムに、食育についての内容を取り入れました。(公民館)</li> <li>◆幼稚園・保育所・こども園の教諭及び保育士等食育担当職員を対象に「早寝・早起き・朝ごはんの重要性」についての研修会を実施した。現在の食生活の課題のひとつである朝食の重要性と生活リズムの確立について認識を高めた。(幼稚園・保育所・こども園)</li> </ul>				
評価指標	◆朝食摂取率	平成23年度数値	◆小学校5年生93.9%・中学校2年生86.5%	平成24年度数値	◆小学校5年生99%・中学校2年生88%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆(幼児家庭教育学級「幼児期の食生活」) (公民館)</li> <li>・日々の家族の食事の内容を見直す良い機会となりました。我が家の食事は明らかに塩分が高めでした。幼少期の味覚の形成が大人まで影響してしまう事を知り、今の食事を大切にしなければいけないと思いました。</li> <li>・日ごろからできそうでも、なかなかやっていないことが多くて反省させられました。(味噌汁を出しからとるとか、薄味を心がける、おやつ=お菓子としないなど) 子どものためだけでなく、自分や家族のためにも「一日三食野菜を多く」を特に気にしていきたいと思いました。</li> <li>◆早寝早起き朝ごはんを基本に望ましい生活リズムの確立の重要性について再認識され、今後、園児児童とともに家庭へ啓発を図っていききたい。(こども保育課)</li> </ul>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各学校の食に関する全体計画に基づき、発達段階に応じた食育が実施され、児童生徒に望ましい食習慣や朝食の大切さについての意識を高めることができました。特に小学校において朝食の喫食率が99%になり、今までの継続した指導の成果があらわれてきました。(学校教育課)</li> <li>◆計画的に学校を訪問することで、各学校の意識化を図ることができた。(指導課)</li> <li>◆日本の食糧事情、早寝早起きや朝食の大切さ、食事バランスガイド、放射能物質を減らす工夫などを知る機会となりました。(公民館)</li> <li>◆成長の著しい園児、児童には、望ましい生活リズムが重要であることが明確となった。今後、幼稚園・保育所・こども園における食育の中でとりくんでいくことが認識された。(こども保育課・幼稚園・保育所・こども園)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆食育については、児童生徒が望ましい食習慣の意識を高めるとともに主体的に取り組み、実践することができるようになることが大切です。このため、継続的な指導をすすめていくことが課題となります。また、望ましい食習慣の育成は家庭の指導によるところが大きいので、今後も家庭との連携を更にすすめていくことが必要です。(学校教育課)</li> <li>◆幼稚園、保育所、こども園における食育については、家庭を巻き込んだとりくみが効果的である。現状では、食べものだより等による通知を中心にはたらかせているが、各家庭からどのような情報が求められているか把握することも必要である。(幼稚園・保育所・こども園)</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小学校においては、朝食欠食率が1%となりほぼ目標を達成できましたが、中学校においてはまだ12%の欠食率があります。平成25年度は、中学生の欠食率を減らし、望ましい食習慣の確立を目指し、親子を対象とした学校教育活動及び家庭教育学級等を通して食育の充実を図るとともに、更なる食育の充実のために食育担当の教職員を対象とした研修会を実施し、また、地域保健連絡会等の会議を通して幼稚園・保育所・学校・地域との連携を図ります。(学校教育課)</li> <li>◆今後も学校訪問の際に、指導していきます。[指導課]</li> <li>◆引き続き、幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、学習プログラムの中に食育の内容を積極的に取り入れていきます。(公民館)</li> <li>◆食生活アンケートを実施し、園児・児童の食生活の実態を把握し、食育計画に基づいた食育を実施していく。(こども保育課・幼稚園・保育所・こども園)</li> </ul>
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

1. 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	健康支援課
施策内容	4 「食育」の推進	事業対象者	妊婦及び乳幼児とその保護者
事業名	29 健康的な食習慣の確立の推進		
事業の概要	◆「ママ・パパになるための学級」、「離乳食教室」、「乳幼児健康相談事業」、「食生活なんでも相談」等を通じて、望ましい食生活習慣の確立に向けて、妊娠中から乳幼児期まで一貫した取り組みを関係機関と連携しながら行います。		
平成24年度事業目標	◆使用している媒体が実用的なものになっているか確認しながら、引き続き各事業で保護者を含めた啓発をしていきます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<p>「ママ・パパになるための学級」では、「長年ハフスガイド」を活用し、ハフスのよい長事や妊娠中特に必要な栄養について理解できるよう実習を行ったり、食事のイメージが膨らむよう、新たにフードモデルを取り入れ、内容の充実を図りました。</p> <p>「離乳食教室」、「乳幼児健康相談事業」、「食生活なんでも相談」では、食事のあり方や必要性について、基本的な知識や具体的な調理方法等を保護者に紹介し、実際に家庭で実践できるよう支援しました。</p> <p>5～6月に習志野市独自で設けた「キャロット月間」では、習志野市特産の人参を使った人気のレシピを紹介した「にんじんレシピ集」を食育に関わる関係課と連携して作成・配布し、子どもや保護者が食への興味や関心、食べる意欲を高めることができるよう啓発した他、9月の「食生活改善普及月間」や各保健事業で情報の発信を行いました。</p>				
評価指標	◆離乳食教室稼働率	平成23年度数値	◆71.8%	平成24年度数値	74.5%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<p>「ママ・パパになるための学級」の参加者からは「実際にどのくらい食べたらいいいのか、イメージしやすかった。」「分かりやすくて勉強になった。」「今の食事を見直すきっかけになった。」という感想を得ています。</p> <p>「離乳食教室」では、試食の場面で「味つけしてなくてもおいしい。」「甘い。」「味がやさしい。」と素材そのもののうま味を体験出来た様子でした。</p>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>「パパ・ママになるための学級」では、新たにフードモデルを導入したことが、より具体的な教育の実施につながりました。</p> <p>「4か月児健康相談」から「離乳食教室」へのスムーズな連携により、「離乳食教室」の稼働率が上昇しました。</p> <p>「キャロット月間」や「食生活改善普及月間」では、調理を促すパンフレットを配布したことにより、保護者を含めた具体的な啓発につながりました。</p>	<p>使用しているパンフレットが実用的なものであるよう、常に確認をしていく必要があります。</p>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	使用している媒体が実用的なものになっているか確認しながら、引き続き各事業で保護者を含めた啓発を目指します。
------------	---



習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2. 子育て・子育て支援体制の整備

基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課																								
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	就学前の乳幼児とその保護者																								
事業名	31 保育所・こども園における保育サービスの充実																										
		平成24年度事業費決算見込み額	様々な事業に跨るため算出困難																								
事業の概要	<p>◆待機児童ゼロを目指し、保育定員を増やします。                  ◆一時預かりを行う施設を、7か所に拡大します。                  ◆24時までの受け入れ態勢がある施設を、拡大します。</p> <p>【具体的目標】</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>22年度</td> <td>⇒</td> <td>26年度</td> </tr> <tr> <td>★通常保育定員</td> <td>1,585人</td> <td>⇒</td> <td>1,711人</td> </tr> <tr> <td>★延長保育(19時まで)</td> <td>15か所</td> <td>⇒</td> <td>16か所</td> </tr> <tr> <td>★延長保育(20時まで)</td> <td>1か所</td> <td>⇒</td> <td>3か所</td> </tr> <tr> <td>★延長保育(24時まで)</td> <td>1か所</td> <td>⇒</td> <td>3か所</td> </tr> <tr> <td>★一時預かり定員</td> <td>60人</td> <td>⇒</td> <td>105人</td> </tr> </table>				22年度	⇒	26年度	★通常保育定員	1,585人	⇒	1,711人	★延長保育(19時まで)	15か所	⇒	16か所	★延長保育(20時まで)	1か所	⇒	3か所	★延長保育(24時まで)	1か所	⇒	3か所	★一時預かり定員	60人	⇒	105人
	22年度	⇒	26年度																								
★通常保育定員	1,585人	⇒	1,711人																								
★延長保育(19時まで)	15か所	⇒	16か所																								
★延長保育(20時まで)	1か所	⇒	3か所																								
★延長保育(24時まで)	1か所	⇒	3か所																								
★一時預かり定員	60人	⇒	105人																								
平成24年度事業目標	<p>◆若松保育所及び袖ヶ浦第二保育所について、平成25年度からの完全私立化に向け、平成24年度の運営委託を計画に従って進めます。                  ◆杉の子こども園の開設・運営                  ◆(仮称)袖ヶ浦こども園の平成26年度開設に向け、計画に従って進めます。                  ◆認可外保育施設の利用者に対する保育料の助成を継続して行います。</p>																										

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	待機児童対策として、雇用促進を図り、既存施設を最大限利用して受入数を確保した。若松保育所を40名分増設するとともに、杉の子こども園を開設した(長時間児76名分)。新たに杉の子こども園でも、一時預かりを行った(定員15名)。認可外保育施設の利用者に対する保育料の助成を継続して行った。				
評価指標	◆通常保育定員数 ◆一時預かり定員数 ◆一時預かり利用児童数 ◆時間外保育・延長保育利用率	平成23年度数値	◆1,605人 ◆60人 ◆90.1% ◆7,717人	平成24年度数値	◆1,721人 ◆75人 ◆7,398人(25年1月末現在) ◆89.9%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	待機児童数の増加に伴い、保育所を確保してほしいという意見が年々増えている。一時保育についても、利用者が多く、実施箇所数を増やしてほしいという声が根強い。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
「習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画 第1期計画」に基づき、こども園の整備及び既存保育所の私立化を行っている。	左の計画は順調に進んでいるが、待機児童数等 保育所に入所できない児童の数は計画当初よりも明らかに増加しており、想定外の事態に対する対策が急務と考える。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
C	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<p>◆「習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画 第2期計画」策定に当たったの検証                  ◆(仮称)袖ヶ浦こども園の平成26年度開設に向け、計画に従って進める。                  ◆認可外保育施設の利用者に対する保育料の助成を継続して行う。</p>
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2. 子育て・子育て支援体制の整備

基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	社会福祉法人すずみ会 社会福祉法人千葉明徳会
事業名	32 民間保育事業者の多様なサービス力の活用		
事業の概要	◆通常保育受け入れ枠の拡大や延長保育時間の拡大、休日保育等に民間保育事業者のノウハウによる多様なサービス力を活用します。		
平成24年度事業目標	◆私立化対象保育所における保育所運営を移管先法人に委託し、移管のための引継ぎを行ってまいります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	平成25年4月の市立保育所の私立化に向けて平成24年4月より、12ヶ月間の引継ぎ保育を実施いたしました。 また、若松保育所の移管先法人である社会福祉法人すずみ会、及び袖ヶ浦第二保育所の移管先法人である社会福祉法人千葉明徳会との間で、延長保育実施時間の拡大、及び一時保育の実施等について協議を行いました。 なお、若松保育所については、通常保育受け入れ枠として定員110名を150名とし、40名の枠を拡大しました。				
評価指標	◆民間認可保育所施設数	平成23年度数値	◆1か所	平成24年度数値	1か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	平成25年度については、私立化初年度であることから、延長保育実施時間の拡大は行わない。また、一時保育については、設備が整っている若松保育所については、秋頃をめどに一時保育を開始するとの回答を得た。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
若松保育所において、平成25年秋頃より、一時保育が実施される見通しとなった。	延長保育時間の拡大等について、移管先法人と引き続き協議する余地がある。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
C	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	移管先法人との間で、延長保育時間の拡大等について引き続き協議を実施する。
------------	--------------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2. 子育て・子育て支援体制の整備

基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	利用会員(生後6か月～小学校6年生までの子どものいる市内在移住者または勤務者)提供会員(市内在住者)
事業名	33 ファミリー・サポート・センターの充実		
事業の概要	◆ファミリー・サポート・センターの育児・家事支援に加えて、ショートステイ(児童の宿泊を伴う預かり)支援を行い、ファミリー・サポート・センター機能を充実するとともに、提供会員の確保に努めます。		
平成24年度事業目標	◆多様化する利用会員のニーズに応え、提供会員の高齢化に対応するため、広報等により制度の周知を図り、新たな提供会員の確保に努めます。 ◆子どもの人権を尊重し、親子が安心して利用できる事業運営を実施するため、研修会・交流会等により、既存の会員の制度の理解と意識向上を図ります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入会説明会(平日50回、土日5回)、基礎研修会(4回)、会員研修会(3回)、会員交流会(1回)、ファミサポ談話室(3回)を開催。(予定含む)</li> <li>・ファミリー・サポート・センターだよりを発行(4回)、広報掲載(1回)</li> </ul>				
評価指標	◆会員数 ◆活動件数	平成23年度数値	◆育児2,310人・家事1,277人・ショートステイ139人 ◆育児3,035件・家事302件・ショートステイ1件(1月末現在)	平成24年度数値	◆育児2,365人・家事1,383人・ショートステイ143人 ◆育児2,509件・家事250件・ショートステイ1件(1月末現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用会員の方より、「仕事のため、子どもが幼稚園へ行く時間より早く家を出なければならず、ファミリー・サポートを利用するようになりました。子どもが充実した時間を過ごせるのも私が働けるのも提供会員さんのおかげです。感謝しています。」との意見がありました。</li> <li>・両方会員さんより、「先日、ファミサポでお世話になっていた提供会員さんに偶然お会いし、思い出話ができました。近所の方がわが子の成長を見守ってくださる安心感、ファミサポの良さを再確認しました。」との意見がありました。</li> </ul>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で支え合うことで、子育て家庭に対し安心して出産や育児ができ、仕事・子育てが続けられる環境づくりを行うことができました。</li> <li>・提供会員の割合が低く新たな提供会員を確保するため、広報習志野等により周知に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人権を尊重し、親と子どもが安心して利用できる事業運営を実施するため、提供会員にきめ細かく制度を理解してもらう必要があります。</li> <li>・利用会員のニーズの多様化と、提供会員の高齢化に対応するため、新たな提供会員の確保に努める必要があります。</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化する利用会員のニーズに応え、提供会員の高齢化に対応するため、広報等により制度の周知を図り、新たな提供会員の確保に努めます。</li> <li>・子どもの人権を尊重し、親子が安心して利用できる事業運営を実施するため、研修会・交流会等により、既存の会員の制度の理解と意識向上を図ります。</li> </ul>
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2.子育ち・子育て支援体制の整備

基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	青少年課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	児童・保護者・指導員
事業名	34 放課後児童会の運営		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各児童会において、希望する小学校1年生から3年生までの児童を受け入れます。</li> <li>◆障害のある児童については、引き続き6年生まで受け入れます。</li> <li>◆障害のある児童がいる放課後児童会には、指導員を加配します。</li> <li>◆指導員の配置の見直しを行います。</li> </ul>		
平成24年度事業目標	◆入会を希望する児童(1～3年生及び障害のある児童については6年生まで)を受け入れる。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	入会を希望する児童(1～3年生及び障害のある児童については6年生まで)を受け入れた。 津田沼小学校建て替えに伴う新児童会室の整備 藤崎児童会設計業務(平成24年度完了) 平成25年度からの学校休業日における開室時間の繰り上げに関する業務の確立 (現行午前8時30分開室を午前8時開室に変更)				
評価指標	◆施設数	平成23年度数値	◆19か所	平成24年度数値	19

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	公設公営・希望児童(1～3年生及び障がいのある児童)全入制の維持
-------------------	---	-------------------	----------------------------------

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
児童に適切な遊び及び生活の場を与えて、健全な育成を図った。 津田沼小学校建て替えに伴う新児童会室の整備を平成23年度から平成24年度にかけて行った。	指導員の資質向上に努める。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	入会を希望する児童(1～3年生及び障がいのある児童については6年生まで)を受け入れる。 (仮称)藤崎第一及び第二児童会室の整備を完了する。 東習志野児童会の分割を実施する。 谷津児童会の環境改善整備をする。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2.子育ち・子育て支援体制の整備

基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	社会福祉法人すずみ会 社会福祉法人千葉明徳会
事業名	35 休日保育の充実		
事業の概要	<p>◆休日保育を継続して実施するとともに、実施施設を拡大します。</p> <p>【具体的目標】                    22年度                    26年度 ★実施か所数                    1か所                    ⇒    3か所</p>		
平成24年度事業目標	◆私立化対象保育所における保育所運営を移管先法人に委託し、移管のための引継ぎを行ってまいります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	平成25年4月の市立保育所の私立化に向けて平成24年4月より、12ヶ月間の引継ぎ保育を実施いたしました。 また、平成25年度より私立化する若松保育所及び袖ヶ浦第二保育所の移管先法人との間で、休日保育の実施について協議を行いました。 なお、かすみ保育園においては、引き続き休日保育を実施しました。				
評価指標	◆休日保育施設数 ◆休日保育利用児童数	平成23年度数値	◆1か所	平成24年度数値	1か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	私立化の初年度であることから、平成25年度は休日保育は行わない。
-------------------	---	-------------------	----------------------------------

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
特になし	休日保育を実施する保育所の拡大に結び付かなかった。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
C	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	休日保育の需要把握をし、私立化した若松保育所と袖ヶ浦第二保育所の移管先法人との間で、休日保育の実施に向けた協議を実施する。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2.子育ち・子育て支援体制の整備

基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	障害のある子どもや、 介護を必要とする子ども
事業名	36 障がい児保育の充実		
事業の概要	◆集団保育が可能な障害のある子どもや、介護を必要とする子どもを受け入れ、健常児とともに保育します。		
平成24年度事業目標	◆個別に支援を要する児童への援助方法や保護者への対応に関する職員の資質向上を図るとともに、ひまわり発達相談センターとの連携による巡回指導や事例研修、及び理論研修を実施し、充実を図ります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援アドバイザーによる保育所特別支援事業事例研修(年11回)を実施した。 乳幼児への指導法や支援のあり方を学ぶ</li> <li>・個々の障害などの状態や発達の程度などを把握し、指導のねらいや内容を明確にし、併せて就学について助言を受ける。保護者支援について学ぶ</li> <li>・講師による理論研修(年1回)</li> <li>・ひまわり発達相談センターによる巡回相談(年125回)</li> </ul>				
評価指標	◆障害児保育実施施設数	平成23年度数値	◆28か所	平成24年度数値	28か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援研修で一人一人の発達や困り感・気になる点について具体的な捉え方や指導方法を学び、こども理解やその子に応じた援助や指導が具体的にを行うことができた。</li> <li>・ひまわり発達相談センターの巡回相談を受けることで、個別支援計画作成とその子に対する支援や保護者支援に活かすことができた。</li> </ul>
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を要する児童の発達や課題について学び、具体的な支援をすることで、子どもの安定や周りの大人との信頼関係の構築に繋がった。</li> <li>・在所児・在園児でひまわり発達相談センターに通っている児童について、個別指導の中での姿と集団の中での姿がわかり指導の内容をあり方について情報交換することができ、指導に活かすことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に支援を要する子どもに対する支援のあり方を、個別指導計画に活かし、実施・評価・結果の見直しを行い子どもの成長発達の経過や支援方針を確実に引き継げるようにする必要がある。</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に支援を要する児童への援助方法や保護者への対応に関する職員の資質向上を図るとともに、個別指導計画作成・実施・評価・見直しを行い、子どもの成長・発達の経過や支援方針を確実に引き継ぐ体制を整備します。</li> </ul>
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2.子育ち・子育て支援体制の整備

基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	在園児と保護者
事業名	37 幼稚園・こども園における預かり保育の充実		
事業の概要	<p>◆幼稚園・こども園で、預かり保育を継続して実施します。</p> <p>【具体的目標】 22年度 26年度                  ★実施か所数 15か所 ⇒ 12か所(公立幼稚園の再編及び私立化に伴う減少)</p>		
平成24年度事業目標	◆保護者のニーズを把握し、預かり保育の実施内容について見直しを図ります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13幼稚園、2こども園で預かり保育を実施しました。</li> <li>・家庭的な雰囲気づくりや幼稚園生活と家庭生活との連続性を配慮し、保育内容の充実に努めました。</li> </ul>				
評価指標	◆施設数 ◆利用児童数	平成23年度数値	◆15か所 ◆24,095人	平成24年度数値	◆15か所 ◆

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	なし
-------------------	---	-------------------	----

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>・教育課程に基づく教育活動との関連を図ると共に、学級担任と預かり保育担当者との連携を密にすることで、幼児の一日の生活リズムに配慮して実施することができた。</p>	<p>・地域の実態や保護者のニーズと幼児の心身の負担に配慮しながら、預かり保育の実施内容について検討していく必要がある。</p>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	保護者のニーズを把握し、預かり保育の実施内容について充実を図ります。
------------	------------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2.子育ち・子育て支援体制の整備

基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	年長5歳児
事業名	38 鹿野山宿泊保育の充実		
事業の概要	◆鹿野山少年自然の家で、自然体験のため1泊2日の宿泊保育を実施します。		
平成24年度事業目標	◆鹿野山の自然に五感を通して触れる中で、宿泊する体験から自立心を養うとともに、幼児同士の交流を図りながら、自信をもって生活できるようにします。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	13幼稚園、2こども園で5歳児を対象に実施しました。				
評価指標	◆園児の満足度割合	平成23年度数値	◆90%	平成24年度数値	◆90%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	なし
-------------------	---	-------------------	----

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊保育に向け、家庭との連携を図りながら基本的な生活習慣の定着を進めてきたことで、実際の宿泊体験の中で自分の力で生活することができた。また、そのことが幼児にとって大きな自信につながった。</li> <li>・自然環境の中で、五感を通して生き物や植物を身近に触れ、興味、関心を深めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が形骸化しないように、活動内容の見直しを図っていく必要がある。</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	鹿野山の自然に五感を通して触れたり宿泊を体験したりする中で、自立心を養うとともに幼児同士の交流を深めながら、自信をもって生活できるようにします。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2.子育ち・子育て支援体制の整備

基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	生後56日を経過した日から小学校3年生までの病気回復期の児童
事業名	39 病児・病後児保育の充実		
事業の概要	<p>◆子どもが病気の時に、家庭の事情や仕事の都合等で育児が困難な期間に医療機関に付設された市内2か所の施設で、施設間の連携を図りながら事業を実施します。</p> <p>【具体的目標】                    22年度            26年度 ★実施か所数                    2か所            ⇒    2か所</p>		
平成24年度事業目標	<p>◆保育所等に新規で入所する児童の保護者に対して、チラシやリーフレットの配布・広報活動等によって、事業の周知を図ります。</p> <p>◆今後も、障害児等の受け入れなど、検討が必要なケースについて、施設及び関係部署との綿密な連携と保護者との調整を図ります。</p>		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<p>・赤松小児科内科医院及び千葉県済生会習志野病院に委託し、事業を実施しました。</p> <p>・施設間との連携を図り、事業を実施しました。</p>				
評価指標	◆施設数 ◆利用児童数	平成23年度数値	◆2か所 ◆エンジェル362人・キッズケアルームなでしこ1,014人	平成24年度数値	◆2か所 ◆エンジェル324人・キッズケアルームなでしこ983人(1月末)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	・利用者より「子どもが急に病気になった時に預かってもらえて助かっています。このような施設があるおかげで、仕事を続けていくことができます。」との意見がありました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>・保護者が勤務等の都合で家庭での育児が困難な子育て家庭を支援することで、子育てと仕事の両立支援が図られました。</p> <p>・保育所等に新規で入所する児童の保護者に対しリーフレットの配布をおこないました。また、テレビ広報「なるほど習志野」にて事業の周知を図りました。</p>	<p>・障害児等の受け入れなど、検討が必要なケースについて、施設及び関係部署との綿密な連携と保護者との調整を図っていく必要があります。</p>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<p>・保育所等に新規で入所する児童の保護者に対して、チラシやリーフレットの配布・広報活動等によって、事業の周知を図ります。</p> <p>・今後も、障害児等の受け入れなど、検討が必要なケースについて、施設及び関係部署との綿密な連携と保護者との調整を図ります。</p>
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2.子育ち・子育て支援体制の整備

基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	就学前の乳幼児
事業名	40 保育所補修整備の推進		
事業の概要	◆安心で安全な保育環境を保持するため、保育所の施設整備、改修を計画的に推進します。		
平成24年度事業目標	◆菊田保育所0歳児室に床暖房を設置し、安心で安全な保育環境を整備します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆予定を変更し、藤崎保育所0歳児室に床暖房を設置しました。				
評価指標	◆乳児保育室への床暖房設置施設数	平成23年度数値	◆7か所	平成24年度数値	◆8か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	無
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆床暖房を設置することで、冬季において安全な保育につながりました。	◆保育所0歳児保育室に床暖房を順次導入していきたい。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆谷津南保育所0歳児室に床暖房を設置し、安心で安全な保育環境を整備します。
------------	---------------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2.子育ち・子育て支援体制の整備

基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	市民
事業名	41 養育支援家庭訪問の実施		
事業の概要	◆育児支援が必要な家庭に対し相談員や保健師等が、子育て支援サービスや情報の提供を行うとともに、子育てに関して専門的な指導及び支援を家庭訪問により実施します。		
平成24年度事業目標	◆養育支援が必要とされた家庭に対し、より綿密な訪問で、育児方法の指導や助言等具体的な支援を行い、育児不安の軽減及び児童虐待未然防止を図る。 ◆事業対象者に「妊婦」を加え、早期の段階から関わることにより、養育環境を整え虐待未然防止を図る。 ◆母子保健担当課との更なる連携を図ることにより、新生児訪問等の保健活動後の情報交換や、母子保健業務の中で得た養育環境に不安のある家庭の共有を通じた対象家庭の発掘を行う。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養育困難な状況にある妊娠中から1歳未満の子のいる家庭に対し、保健師や家庭相談員が家庭訪問などを行い、育児についての技術的支援を行った。</li> <li>・臨床心理士による勉強会を実施し(年6回)、職員の相談技術の向上に努めた。</li> </ul>				
評価指標	◆育児支援家庭訪問対象世帯数 ◆訪問件数	平成23年度数値	◆7世帯 ◆50件	平成24年度数値	5世帯 71件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・養育困難な家庭に対し、妊娠中から家庭相談員や保健師が訪問などを行い、安心して出産、育児に臨める環境づくりに努めました。</li> <li>・臨床心理士との勉強会の実施により、支援方法を検証し、今後の支援方法を確認しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を求めない家庭について、行政としてどのようにかかわっていくか、また、支援内容が助言にとどまっていることについて、今後検討していく必要があります。</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆養育支援が必要とされた家庭に対し、より綿密な訪問で、育児方法の指導や助言等具体的な支援を行い、育児不安の軽減及び児童虐待未然防止を図る。</li> <li>◆事業対象者に「妊婦」を加え、早期の段階から関わることにより、養育環境を整え虐待未然防止を図る。</li> <li>◆母子保健担当課との更なる連携を図ることにより、新生児訪問等の保健活動後の情報交換や、母子保健業務の中で得た養育環境に不安のある家庭の共有を通じた対象家庭の発掘を行う。</li> </ul>
------------	---

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆引き続き児童虐待防止の啓発や児童虐待の未然防止等を関係機関と連携して行い、各学校へ定期的な周知を図りたいと考えております。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2. 子育て・子育て支援体制の整備

基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	公民館
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	子育て中の親
事業名	42 公民館の託児付き成人講座の実施		
事業の概要	◆公民館で実施する成人向け講座に託児を設けます。		
平成24年度事業目標	◆引き続き、子育て中の母親が参加しやすいように、託児付きの成人講座を実施していきます。また、他公民館でも実施できるよう検討していきます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	気孔、料理、クラフト小物作り、防災の講座を託児付きで実施しました。				
評価指標	◆実施講座数	平成23年度数値	◆3講座	平成24年度数値	4講座

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
育児中の母親が子育てから解放され、学習することにより心身のリフレッシュができ、共通の趣味を通して仲間づくりができました。	特になし
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	引き続き、子育て中の母親が参加しやすいように、託児付きの成人講座を実施していきます。また、他公民館でも実施できるよう検討していきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2.子育ち・子育て支援体制の整備

基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課・こども保育課
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	未就学児とその保護者
事業名	43 こどもセンターの充実		
		平成24年度事業費決算見込み額	6,366,000円
事業の概要	<p>◆子どもと親が自由に遊び交流する場として、子育てに関する情報提供、小児科医等による育児相談、乳幼児を対象とした学習会、公民館等、地域に出向いた育児講座等の行事を行い、また土曜日に開館することで、父親の育児参加を促します。</p> <p>【具体的目標】            22年度        26年度 ★実施か所数            2か所        ⇒    4か所</p>		
平成24年度事業目標	<p>◆平成26年度新たなこどもセンターのオープンに向けて、(仮称)袖ヶ浦こども園の設計を完了させます。(こども保育課) ◆子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供が行えるよう、サービスを拡充していきます。(子育て支援課) ◆ボランティア等との連携により子育てを支援していけるよう、その活用方法を検討します。(子育て支援課)</p>		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<p>◆鷺沼・東習志野こども園・杉の子こども園のこどもセンターと連携を図りながら、事業を行いました。(子育て支援課) ◆親子がいつでも気軽に遊び交流できる場の提供及び子育てに関する情報の提供を行いました。(子育て支援課) ◆ボランティアの協力を得ながら、四季折々の遊び(5回)、学習会(7回)、地域世代子育て交流会(3回)、きらっ子こどもまつり(10月14日開催)など、地域と連携したイベントを実施しました。(子育て支援課) ◆育児相談(小児科医月1回、職員による相談随時)等様々な事業を実施しました。(子育て支援課) ◆こどもセンターを含む杉の子こども園が完成したため、3か所目となるこどもセンターがオープンしました。(こども保育課) ◆こどもセンターの整備を含む(仮称)袖ヶ浦こども園の設計を実施しました。(こども保育課)</p>				
評価指標	◆施設数 ◆利用者数	平成23年度数値	◆2か所 ◆鷺沼29,223人(1月末現在)	平成24年度数値	◆3か所 ◆鷺沼27,152人(1月末現在) 東習志野12,462人・杉の子13,259人(H25.1月末)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<p>◆利用者(他市から転入をされた方)より「前の住んでいた市では、このような広い施設はなかったので、素晴らしいですね。」との意見がありました。 ◆利用者より「子どものことを保健師さんに相談できたりし、安心できます。」との意見がありました。</p>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>◆小児科医、保育士、保健師による育児相談事業を行うことで育児不安の解消に繋がりました。 ◆土曜日を開館していることにより、父親の育児参加、共働き家庭の利用が図られました。 利用人数 児童 1,878人 保護者 1,784人 合計 3,662人 (1月末現在) ◆地域子育て支援センター等連絡会議として、こどもセンター(東習志野、杉の子、鷺沼)、きらっ子ルーム(やつ、おおくぼ)の施設間で情報の共有を図りました。 こどもセンターを含む(仮称)袖ヶ浦こども園の設計業務を実施したことにより、平成25年度より建設工事を実施します。(こども保育課)</p>	<p>◆今後、更にこどもセンターが増えていくため、各施設間での連携(情報交換等)が必要となってきます。 ◆子育て家庭のニーズに柔軟に対応するため、育児支援や情報提供の拡充を図る必要があります。 ◆地域(ボランティア等)との連携によるイベント等を更に充実させていく必要があります。(子育て支援課) ◆引続き4か所目のこどもセンターの整備を進めます。(こども保育課)</p>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<p>◆子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供が行えるよう、サービスを拡充していきます。 ◆ボランティア等との連携により子育てを支援していけるよう、その活用方法を検討します。(子育て支援課) ◆平成26年度新たなこどもセンターのオープンに向けて、(仮称)袖ヶ浦こども園の施設を完成させます。(こども保育課)</p>
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	未就学児とその保護者
事業名	44 つどいの広場(きらっ子ルーム)の充実		
		平成24年度事業費決算見込み額	7,033,000円
事業の概要	<p>◆商店街の空き店舗やマンションの一室を活用し、主に乳幼児を持つ親と子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合いながら交流を図り、育児相談等を行う場を提供することにより、孤立しがちな子育て家庭の負担軽減を図ります。</p> <p>【具体的目標】                    22年度            26年度 ★実施か所数                    2か所            ⇒    2か所</p>		
平成24年度事業目標	<p>◆子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供が行えるよう、サービスを拡充していきます。</p> <p>◆地域(ボランティア等)との連携により子育てを支援していけるよう、その活用方法を検討します。</p>		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<p>◆親子がいつでも気軽に遊び交流できる場の提供及び子育てに関する情報の提供を行いました。</p> <p>◆職員による育児相談を随時行いました。</p> <p>◆地域ボランティアを活用し、音楽会等を行いました。</p>				
評価指標	◆施設数 ◆利用者数	平成23年度数値	◆2か所 ◆やつ 11,395人・おおくぼ 16,049人 (1月末現在)	平成24年度数値	◆2か所 ◆やつ 10,418人・おおくぼ 10,534人 (1月末現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<p>「平日は働いているので、日曜日に家以外に遊ぶところがあって良かった。」</p> <p>「駅にも近く、兄弟で遊びに来たとき子どもを見れる広さなのでうれしいです。」</p> <p>「とても広くて、明るく過ごしやすいです。子どももきらっ子ルームに遊びに来ると機嫌がよくなります。」</p> <p>「バス停の近くなので利用しやすいです。」</p> <p>などの意見がありました。</p>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>・保育士による育児相談事業を行うことで育児不安の解消に繋がりました。</p> <p>・土曜日・日曜日を開館していることにより、父親の育児参加、共働き家庭の利用が図られました。</p> <p>利用人数 児童 1,535人 保護者 1,481人 合計 3,016人 (1月末現在)</p> <p>・地域子育て支援センター等連絡会議として、こどもセンター(東習志野、杉の子、鷺沼)、きらっ子ルーム(やつ、おおくぼ)の施設間で情報の共有を図りました。</p>	<p>・子育て家庭のニーズに柔軟に対応するため、育児支援や情報提供の拡充を図る必要があります。</p> <p>・地域(ボランティア等)との連携によるイベントを充実させていく必要があります。</p>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<p>・子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供が行えるよう、サービスを拡充していきます。</p> <p>・地域(ボランティア等)との連携により子育てを支援していけるよう、その活用方法を検討します。</p>
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	保育所・こども園・こども保育課
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	就学前児童及び保護者
事業名	45 保育所・こども園における地域開放活動の充実		
事業の概要	◆子ども同士のふれあい、保護者同士の交流、育児情報の提供の場として、保育所・こども園を地域に開放します。		
平成24年度事業目標	◆地域における乳幼児を支援する役割を果たすように努め、相談に応じることに加え「情報提供」「親子登園」「保護者同士の交流の機会」を提供し、子育て家庭の不安感・負担感・孤立感の軽減を図ります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	各施設、月1～3回程度所庭・園庭を開放する。				
評価指標	◆実施施設数 ◆参加人数	平成23年度数値	・15か所 ・3683人	平成24年度数値	3月15日に決定する

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	なし
-------------------	---	-------------------	----

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心してあそべる場の提供</li> <li>・来所・来園した親子が在所児・在園児の遊ぶ様子を見たり一緒に遊んだりすることで、子どもの発達や援助の仕方など子育ての参考とすることができた。</li> <li>・栄養・健康に関する情報提供を行い子育ての参考になることに努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養・健康に関する情報提供の充実及び遊びや援助の仕方など子育て支援情報提供の充実を図る必要がある。</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	・地域における乳幼児の子育て支援に努め、相談に応じるとともに、情報提供・親子来所来園・保護者同士の交流の機会を提供し、子育て家庭に対する不安感の軽減や支援の充実を図る。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	幼稚園・こども園・こども保育課
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	未就園児とその保護者
事業名	46 幼稚園・こども園における子育てふれあい広場の充実		
事業の概要	◆親子、親同士、子ども同士、園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放します。		
平成24年度事業目標	◆子育てに関する情報の発信や、親子、親同士、子ども同士、園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	・親子、子ども同士、親同士、園児との交流や遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域の未就園児とその保護者に開放しました。				
評価指標	◆実施施設数 ◆参加人数	平成23年度数値	◆14か所	平成24年度数値	◆15か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	なし
-------------------	---	-------------------	----

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
・未就園児とその保護者が様々な人との交流を通して、遊びの楽しさや人とかかわる楽しさを感じることができた。また、保護者が在園児の姿を通して、我が子の成長に期待や見通しをもつ機会となった。 ・ふれあい広場の中で子育てに関する情報の発信や共有をしたり、相談に応じたりすることで、地域の子育て支援としての役割や機能の充実を図ることができた。	なし
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	子育てに関する情報の発信や親子・子ども同士・親同士・在園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放することにより、子育て支援の充実を図ります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課・公民館
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	市民
事業名	<b>47 育児サークルへの支援</b>		
事業の概要	◆親同士の情報交換と育児の仲間づくりを進めるため、場所の提供や育児サークルの育成・交流等の支援を行います。		
平成24年度事業目標	◆こどもセンターでの活動が主体となっている育児サークル「あそぼの会」に対して、引き続き、「あ・そ・ぼ」の発行などに対する支援を行います。また、親同士子ども同士の仲間づくりを支援していくため、親同士の交流を支援し、こどもセンター、きらっ子ルームにおいて、子育て情報の掲示板として、育児サークルや遊びの紹介等の情報提供を行います。(子育て支援課) ◆育児サークル化の支援とともに、活動しやすくするための環境を整えていきます。(公民館)		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもセンターでの活動が主体となっている育児サークル「あそぼの会」の主な活動であるこどもセンターだよりを年4回発行しました。(子育て支援課)</li> <li>・こどもセンター、きらっ子ルームにおいて、子育て情報の掲示板として、育児サークルや遊びの紹介等の情報提供を行いました。(子育て支援課)</li> <li>・育児講座の終了後に、サークル化に向けて適宜アドバイスを行いました。(公民館)</li> </ul>				
評価指標	◆育児講座終了後のサークル化数	平成23年度数値	◆8学級中4サークル	平成24年度数値	7学級中2サークル

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	・活動参加者より、「あそぼの会での活動を通じて、親同士の交流の輪が広がりママ友もできました。子育てに関する知識も得られ、より安心して子育てができるようになった。」との意見がありました。(子育て支援課)
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもセンターでの活動が主体となっている育児サークル「あそぼの会」の主な活動である「あ・そ・ぼ」の発行にあたっての支援を行うとともに、「あ・そ・ぼ」の発行だけでなく、遊び方の情報提供を行いました。(子育て支援課)</li> <li>・講座終了後にサークル化することにより、講座中に育まれた仲間づくりを継続することができました。また、育児の悩みを共通理解することで、育児の孤立化を予防しています。(公民館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も親同士子ども同士の仲間づくりを支援していくため、親同士の交流を支援し、育児サークルの立ち上げをサポートしたり、サークル情報等の情報提供をしていく必要があります。(子育て支援課)</li> <li>・講座終了のたびに新しいサークルが増えるため、部屋が確保できない状況です。そのため、既存のサークルと合併させることも検討する必要があります。(公民館)</li> </ul>	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもセンターでの活動が主体となっている育児サークル「あそぼの会」に対して、引き続き、「あ・そ・ぼ」の発行などに対する支援を行います。(子育て支援課)</li> <li>・親同士子ども同士の仲間づくりを支援していくため、親同士の交流を支援し、こどもセンター、きらっ子ルームにおいて、子育て情報の掲示板として、育児サークルや遊びの紹介等の情報提供を行います。(子育て支援課)</li> <li>・育児サークル化の支援とともに、活動しやすい環境づくりに努めます。(公民館)</li> </ul>
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2 子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課・健康支援課
施策内容	3 子育てに関する情報提供の充実	事業対象者	妊婦とその夫(パートナー) 乳幼児を持つ保護者
事業名	48 子育て情報の提供		
事業の概要	◆「ならしの子育てハンドブック」、「すこやか習志野っ子ファイル」、「すこやか子育てガイド」、「子育て情報マップ」等を作成し、妊娠中から子育て期に合わせて、必要な子育て情報を提供します。		
平成24年度事業目標	◆引き続き、「ならしの子育てハンドブック」「すこやか習志野っ子ファイル」「すこやか子育てガイド」「子育て情報マップ」を配布するとともに、最新の子育て支援情報について、市のホームページや携帯サイト・広報等で周知を図ります。(子育て支援課) ◆提供する情報の充実と正確さを図るために、定期的に内容を見直していきます。(健康支援課)		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんが生まれた方や乳幼児のお子さんがある転入者の方に、子育てに関する情報をわかりやすくまとめた「ならしの子育てハンドブック」を配布しました。(子育て支援課)</li> <li>・市内各地域の幼稚園・保育所・こどもセンター・きらっ子ルーム・ヘルスステーション・公民館等の公共施設、また、市内の小児科において、「ならしの子育てハンドブック」を配布しました。(子育て支援課)</li> <li>・母子健康手帳交付時に「すこやか子育てガイド」を配布し、新生児訪問時には「すこやか子育てガイド」を活用して保健活動を行いました。さらに母子保健推進員家庭訪問時に「すこやか習志野っ子ファイル」、「子育て情報マップ」の内容を説明しながら配布しました。(健康支援課)</li> <li>・「すこやか子育てガイド」、「すこやか習志野っ子ファイル」とともに、継続して活用できるよう、内容の充実を図りました。また、「ママ・パパになるための学級」や「4か月児健康相談」においても「すこやか子育てガイド」を活用し、情報提供しました。(健康支援課)</li> </ul>				
評価指標	◆こんにちは赤ちゃん事業家庭訪問実施率	平成23年度数値	◆94.9%	平成24年度数値	94.0%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てハンドブックには、子育てに関する情報が分かりやすくコンパクトにまとまっていて、携帯しやすいサイズでとても役立っている。(子育て支援課)</li> <li>・「ママ・パパになるための学級」に参加した妊婦から、「産後のイメージがつきやすかった。」、また、産後のママからは「産後の制度がよくわかった。」等の感想を得ています。(健康支援課)</li> </ul>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠中から子育て期の情報をまとめた「ならしの子育てハンドブック」を配布することで、子育てに関する不安の軽減と、各種制度の周知が図られました。(子育て支援課)</li> <li>・「すこやか習志野っ子ファイル」、「すこやか子育てガイド」、「子育て情報マップ」により妊娠中から子育て期の対象者に合わせた必要な情報を提供できました。また、様々な事業の中でも情報提供する媒体として活用しました。(健康支援課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ならしの子育てハンドブック」は2年に一度の発行のため、最新の情報について、市のホームページや携帯サイト・広報等で周知する必要があります。(子育て支援課)</li> <li>・引き続き、新しい情報をタイムリーに反映させていきます。(健康支援課)</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、「ならしの子育てハンドブック」を配布するとともに、最新の子育て支援情報について、市のホームページや携帯サイト・広報等で周知を図ります。(子育て支援課)</li> <li>・提供する情報の充実と正確さを図るために、定期的に内容を見直していきます。(健康支援課)</li> </ul>
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	公民館
施策内容	3 子育てに関する情報提供の充実	事業対象者	乳幼児を持つ親
事業名	<b>49 育児講座の充実</b>		
事業の概要	◆公民館で乳幼児を持つ親を対象に、乳幼児の健康や遊び、心理、心と体の発達等、子育てに関する講座を実施します。		
平成24年度事業目標	◆引き続き、育児講座を実施し、学習を通して子育てに悩む親の支援と仲間づくりの促進を図ります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	乳幼児を持つ親を対象に、対象年齢にあった遊びや健康、発達段階について学びました。		
評価指標	◆実施学級数 ◆実施回数	平成23年度数値	◆7学級 ◆36回
		平成24年度数値	◆7学級 ◆43回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	(育児講座「仲間づくりをしよう」) ・おだやかな雰囲気の中で参加できて良かったです。月齢の近いお友達やお母さん方と情報交換もでき、リフレッシュできました。次回も楽しみです。 ・先生も優しくこれからますます楽しみです。女の子が周りに少ないので、次回は女の子のお母さんとお話してみたいです。このような機会を与えてくださって感謝しています。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
子育てに関する正しい知識を身につけるとともに、同じ悩みを共有することにより育児の孤立化を防ぎ、仲間づくりができました。	特になし
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	引き続き育児講座を実施し、学習を通して子育てに悩む親の支援と仲間づくりの促進を図ります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	公民館
施策内容	3 子育てに関する情報提供の充実	事業対象者	3歳児を持つ親
事業名	50 幼児家庭教育学級の充実		
		平成24年度事業費決算見込み額	1,140,000円
事業の概要	◆公民館で3歳児の親を対象に、様々な角度から子育てに関する講座を実施します。		
平成24年度事業目標	◆プログラムの充実を図るとともに、講座終了後に継続的な交流がもてるように支援していきます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	3歳児に応じた健康や遊び、心と体の発達等、子育てに関する講座を実施しました。		
評価指標	◆実施学級数 ◆実施回数	平成23年度数値	◆7学級 ◆82回
		平成24年度数値	◆7学級 ◆83回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	(幼児家庭教育学級「講座終了後の感想」) ・じっくりと話を聞いたり、考えることができたり、貴重な時間を持つことができました。 ・講師の先生方のお話により、学ぶことが多かったです。 ・様々なテーマで育児について学ぶことができ、とても勉強になりました。 ・娘が「公民館に行って先生やお友だちと遊びたい」と言って、毎回行くのを楽しみにしていたので、参加して本当によかったと思います。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
子育てに関する正しい知識を身につけるとともに、同じ悩みを共有することにより育児の孤立化を防ぎ、仲間づくりができました。	講座終了後、母親の就労や子どもの幼稚園入園により、継続的な交流が持てない場合がある。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	プログラムの充実を図るとともに、講座終了後に参加者が継続的な交流が持てるように支援していきます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 地域の人材の知識や経験を生かす活動の推進	事業対象者	子育て経験者、高齢者
事業名	51 子育て経験者や高齢者のための子育て講座の実施		
事業の概要	◆子育てについて豊富な経験を有するものの、子育てに関する情報が乏しい高齢者等に、最近の子育て事情等について講座を実施します。		
平成24年度事業目標	◆子育てを地域で支えていく意識を根付かせていくため、地域の高齢者や子育て経験者に対して子育て講座を実施します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	・地域の高齢者や子育て経験者を対象とした子育て講座をこどもセンターで実施予定です。 平成25年3月7日(木) 10:30~11:30(こどもセンター会議室) 「子育て経験者・中高年のための子育て講座」～孫と遊べる手づくりおもちゃ～ 講師:元習志野市立保育所長 加藤 美津江 氏				
評価指標	◆実施回数	平成23年度数値	◆1回	平成24年度数値	1回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	D

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	・子育てを地域で支えていく意識を根付かせていくため、地域の高齢者や子育て経験者に対して子育て講座を実施します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 地域の人材の知識や経験を生かす活動の推進	事業対象者	市民
事業名	52 地域の人材の活用		
事業の概要	◆こどもセンターで開催する学習会等において、地域の人々の子育てに関する知識・技術を有効活用します。		
平成24年度事業目標	◆地域力の活性化を目指して、子育てに関する知識を豊富に有している地域の方々によるボランティアを活用します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	・こどもセンターの学習会等の行事において保育ボランティアの活用を行い、地域の方々の知識・技術を有効活用しました。		
評価指標	◆ボランティア活用人数	平成23年度数値	◆38人(1月末現在)
		平成24年度数値	◆82人(1月末現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	・保育ボランティアとしてこどもセンターの活動にかかわることで、地域で子育てを支えている実感が持てました。 ・地域の子どもと保護者に出会う貴重な機会になりました。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
保育ボランティア等の活用実績(1月末現在) ・学習会 38人 ・おはなし会 4人 ・楽々健康体操 2人 ・学生ボランティア 2人 計 46人	・子育てに関する知識・技術が有効活用されるよう、今後もこどもセンターにおける学習会等の行事において、地域の方々によるボランティアの活用を継続していく必要があります。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	・地域力の活性化を目指して、子育てに関する知識を豊富に有している地域の方々によるボランティアを活用します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 地域の人材の知識や経験を生かす活動の推進	事業対象者	子育て支援団体
事業名	53 ならしの子育て支援ネットワークの充実		
事業の概要	◆子育て支援に様々な形で関わっている団体等が、情報交換や問題点・課題を共有する場を設け、お互いの立場を理解し合いながら対策を講じることにより、地域における子育て支援をさらに推進していきます。		
平成24年度事業目標	◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等が情報交換や課題を共有する場を設定します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	子育て支援に係る一部の団体と意見交換会を開催し、習志野市の子育て支援施策に関する市民の声を聞くと共に、今後の子育て支援のあるべき姿について、支援団体・行政二者による意見交換を行いました。		
評価指標	◆会議開催回数	平成23年度数値 ◆1回	平成24年度数値 ◆1回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	・行政の様々な声を聞くことができ、有意義だった。
-------------------	---	-------------------	--------------------------

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
今年度は一部の団体との意見交換会に留まりましたが、支援団体・行政二者が顔を合わせたことで、地域ぐるみの子育て支援体制の強化の足がかりとなりました。	複数の団体・関係機関との連携を図っていくため、情報交換や課題を共有する場を設定する必要があります。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	・地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等が情報交換や課題を共有する場を設定します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	5 子育て家庭の経済的負担の軽減	事業対象者	0歳から15歳までの児童を養育している父母等
事業名	54 子ども手当の支給		
		平成24年度事業費決算見込み額	2,699,183,000円
事業の概要	◆15歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童の養育者(父母等)に手当を支給します。 ◆平成24年4月1日より、児童手当に制度改正されました。		
平成24年度事業目標	◆平成24年度手当の変更に伴い、受給者への個別通知等により混乱を招かないよう周知を行います。 ◆広報、ホームページ等により制度周知につとめ、未申請者の防止を図ります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	・平成24年4月1日の制度改正について、対象児童世帯に概要を記載した案内を送付し、制度の周知に努めました。 ・制度の概要を記載した案内を、母子手帳交付時や市民課窓口等で配布しました。 ・広報、ホームページにより制度の周知に努めました。 ・平成23年9月分まで子ども手当を受給し、平成23年10月分以降の子ども手当の申請をしていない方に対して、経過措置期間の延長により平成24年9月30日まで申請が可能となった旨を案内し、申請してもらうよう努めました。				
評価指標	◆支給児童数	平成23年度数値	◆21,220人	平成24年度数値	21,164人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
・制度の周知を行うことで、多くの市民が子ども手当(児童手当)を申請、受給することとなり、子育て家庭への経済的支援につながっていきます。	・広報や窓口での案内を継続的に行い、手当の未申請を防止することが必要となります。 ・手当受給者は、毎年6月に現況届を提出する必要があり、未提出の場合は手当が差止となりますが、未提出に対して提出を促し、手当が差止とならないよう努める必要があります。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	・広報、ホームページ等により制度の周知に努め、手当の未申請の防止を図ります。 ・現況届の提出を周知し、未提出による差止の防止に努めます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2 子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	5 子育て家庭の経済的負担の軽減	事業対象者	市内在住の0歳～中学校3年生の子ども
事業名	55 子どもの医療費等の助成		
		平成24年度事業費決算見込み額	337,934,366円
事業の概要	◆0歳～小学校3年生の入院・通院、小学校4年生～中学校3年生の入院にかかる医療費について、保険診療自己負担分を一部助成します。		
平成24年度事業目標	◆引き続き本事業を継続するとともに、広報やホームページ等で定期的に本事業を周知させることで、子ども医療費助成受給券の交付率の向上を図ります。 ◆学校管理下での怪我等の場合は子ども医療費助成受給券を使用できないことの周知につとめ、誤使用を防ぎます。 ◆平成24年4月から柔道整復師の施術に係る療養費の現物給付の実施、及び千葉県が平成24年12月から入院に係る助成対象年齢を中学校3年生まで拡大することから、本市においても検討するとともにさらなる子どもの保健向上及び保護者の経済的負担の軽減を目指し、広報やホームページ等で本事業の周知につとめます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	子どもの保健向上を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、子どもが医療機関等にかかった際の医療費の一部を助成しました。 平成24年12月診療分より、入院に係る助成対象年齢を中学校3年生までに拡大し、また小学校4年生から中学校3年生までの入院に係る医療費についても現物給付による助成が可能になりました。 制度改正に伴い、広報・ポスター等による周知を実施するとともに、新規対象者には個別に通知を行い、子ども医療費助成受給券の交付申請を促しました。				
評価指標	◆子ども医療費助成受給券交付率	平成23年度数値	◆98.7%	平成24年度数値	◆91.8%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に比べ現物給付の件数及び助成額は増加し、子どもの保健向上及び保護者の経済的負担の軽減が図られました。</li> <li>・平成24年12月からの制度改正に伴い、通院に比べて高額となる入院の医療費について助成対象年齢を拡大し、かつ現物給付化したことから、より一層保護者の経済的負担の軽減につながりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校4年生～中学校3年生までの入院で使用する子ども医療費助成受給券は、受給券のうちで特に未交付の対象者が多い点。</li> <li>・入院で使用する受給券について、保護者・医療機関双方への周知が不足し、受給券の誤使用(通院で使用する等)があった点。</li> <li>・独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付の対象医療費への誤使用も、昨年と同程度発生している点。</li> <li>・近隣市町村において通院に係る助成対象年齢を拡大する動向があり、本市においても検討していく必要がある点。</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き本事業を継続するとともに、広報やホームページ等で定期的に本事業を周知させることで、子ども医療費助成受給券の交付率の向上や、受給券の誤使用の防止に努めます。</li> <li>・更なる助成対象の拡大については、県や他市町村の動向等に注目しつつ検討していきます。</li> </ul>
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	2 仕事と子育ての両立の推進	担当課	男女共同参画センター・商工振興課
施策内容	1 企業における子育て支援対策の促進		子育て支援課・こども政策課
事業名	<b>56 子育てに関する制度の活用推進</b>	事業対象者	市民・市職員
		平成24年度事業費決算見込み額	1,012,053
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆職業生活と家庭生活の両立に関する制度等について、パンフレットの配布等により情報提供を行います。</li> <li>◆育児休業制度、配偶者の出産休暇制度や子の看護休暇制度についてパンフレット等で啓発するとともに、求人情報サイト「アクティブならしの」にも掲載し、情報提供を行います。</li> <li>◆市内企業における仕事と子育てが両立できる職場環境づくりを、商工会議所と連携して啓発し、「子育て支援先端企業」の誕生を目指します。</li> </ul>		
平成24年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆男女がともに仕事と家庭の両立ができるよう周知します。(男女共同参画センター)</li> <li>◆「子育て・子育てを地域(みんな)で支えるまち」づくりを推進する為、千葉県が平成24年7月から実施する「企業参画型子育て支援事業」への協賛事業者募集に関する周知を関係機関との連携により事業者に行うとともに、市内事業所の協賛事業所への応募につなげます。(商工振興課)</li> <li>◆子育てに関する様々な制度についての情報を窓口を設置し、市民の方々への情報提供を行います。(子育て支援課)</li> </ul>		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画週間事業講演会 ※登録団体から構成される運営委員会との協働により実施 参加者:92名 テーマ:幸福度を高める5つのアクション 講師:中央大学教授 広岡守穂</li> <li>・子育て応援セミナー ※こどもセンターと共催 定員:40名 テーマ:パパ先生と考える「子どもとの遊び方・接し方」 講師:NPO法人ファザーリング・ジャパン理事・千葉大学教育学部附属幼稚園教諭 久留島太郎</li> <li>・「情報紙「きらきら」の発行 ※市民参画による企画・編集 第24号(7月発行)特集テーマ「安心!働くママの強い味方～子育てと仕事の両立できていますか」 第26号(平成25年3月発行)特集テーマ「まだ足りない男女平等意識～市民意識調査結果より」 各12,000部 市内幼稚園、保育所、小学校保護者に配布、公共機関等に設置</li> <li>・ワーク・ライフ・バランス(WLB)庁内推進プロジェクトを開催</li> <li>・ステップならしの図書情報コーナーに、男女共同参画やDV、ワーク・ライフ・バランスに関連する書籍を設置(男女共同参画センター)</li> <li>・「子育て支援先端企業認証制度」に関する周知を、子育て支援課からの依頼により、習志野商工会議所との連携により商工会議所の会報である商工習志野3月号に本事業の概要の掲載を依頼し、周知しました。さらに、勤労会館、「アクティブならしの」を活用し、各種制度等の周知を行いました。(商工振興課)</li> <li>・子育てに関する様々な制度について掲載している「ならしの子育てハンドブック」を、お子さんが生まれた方や乳幼児のお子さんがある転入者の方に配布しました。また、各種制度案内のチラシ・パンフレット等を窓口を設置し、市民の方々への情報提供を行いました。(子育て支援課)</li> <li>・商工振興課を通し、商工会議所の会報である商工習志野に「子育て支援先端企業認証制度」のチラシを折り込み、事業の周知をしました。(こども政策課)</li> </ul>				
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「子育て支援先端企業」認証企業数</li> <li>◆男性の家庭参画を促す講座等の実施</li> </ul>	平成23年度数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2</li> <li>◆1回</li> </ul>	平成24年度数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2</li> <li>◆1回</li> </ul>

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画啓発講座より</li> <li>・この講座は夫とも一緒に聞きたかったです。夫婦一緒に参加できたらうれしいです。</li> <li>・全5回とも保育付で助かりました。5回では物足りなさを感じています。もっともっと学びたかった。パートIIをお願いします。</li> <li>・子育てハンドブックには、子育てに関する情報が分かりやすくまとまっていて、携帯しやすいサイズでとても役立っています。</li> <li>・窓口横にパンフレットやチラシが見やすく並べられていて、情報収集に役立っています。</li> </ul>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画啓発講座では、全5回講座にもかかわらず、もっと学びたかったという意欲的な意見が多く、地域や社会への女性の参画等のテーマに対し、前向きな評価を得られた。</li> <li>・情報紙「きらきら」については、公募の編集委員との協働にて企画・編集を行い、男女共同参画社会づくりにつながるテーマの特集を組み発行することができた。</li> <li>・ワーク・ライフ・バランス庁内推進プロジェクトを開催し各担当部署が抱える問題、今後の課題等を意見交換することにより情報の共有を図ることができた。</li> <li>・ステップならしの図書情報コーナーにDV、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画に関連する書籍を設置し、利用者に閲覧・貸出を行っている。</li> <li>・習志野市商店会連合会や習志野商工会議所等の庁外関係機関との連携を図ることで、「子育てに関する制度の活用」の推進につながった。(商工振興課、こども政策課)</li> <li>・子育てに関する様々な制度について、「ならしの子育てハンドブック」や各種制度案内のチラシ・パンフレットによって、市民への周知が図られました。(子育て支援課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て応援セミナーにおいて父親同士の交流、地域でのつながりが持てる場がもっとあるとよいという感想が寄せられている。子育てという、となく女性目線で考えられがちだが、仕事と家庭(生活)の調和を図ることは性別による差はなく、それぞれの立場からの理解と認識を深め推進していく必要がある。(男女共同参画センター)</li> <li>・窓口を設置する子育てハンドブックやチラシ・パンフレット等について、常時内容を充実させ、最新の情報を提供していく必要があります。(子育て支援課)</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女がともに仕事と家庭の両立ができるよう引き続き周知していく。(男女共同参画センター)</li> <li>・「子育て・子育てを地域(みんな)で支えるまち」づくりを推進する為、千葉県が平成24年7月から実施されている「企業参画型子育て支援事業」への協賛事業者募集に関する周知を関係機関との連携により事業者に行うとともに、市内事業所の協賛事業所へのさらなる応募につなげていきます。(商工振興課、こども政策課)</li> <li>・子育てに関する様々な制度についての情報を窓口を設置し、市民の方々への情報提供を行います。(子育て支援課)</li> </ul>
------------	--

**習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】**

2 子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	2 仕事と子育ての両立の推進	担当課	男女共同参画センター・商工振興課
施策内容	1 企業における子育て支援対策の促進	事業対象者	市民・市内事業所
事業名	57 企業における男女平等の啓発		
		平成24年度事業費決算見込み額	141750
事業の概要	◆国・県・関係機関等が発行するパンフレット等を事業主に配布し、企業における男女平等に関する情報の提供を行います。		
平成24年度事業目標	◆男女が仕事と家庭の両立を図ることができるように、事業者として配慮することの重要性について認識してもらうことを目指し、情報の提供を行います。(男女共同参画センター) ◆企業・勤労者に対する男女平等の啓発を推進する為、男女共同参画センターとの連携によりパンフレット等を配布し、情報の提供を行います。(商工振興課)		

**1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。**

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省が定めた平成24年6月1日から30日までの「男女雇用機会均等月間」について市ホームページおよび市の運営する無料求人情報サイト「アクティブならしの」に掲載し、ポスターを市庁舎に掲示して周知を図った。(男女共同参画センター)</li> <li>千葉県男女共同参画推進事業所表彰について周知するためにチラシの庁舎内設置と市の運営する無料求人情報サイト「アクティブならしの」による掲載を実施した。(男女共同参画センター・商工振興課)</li> <li>厚生労働省がおこなっている均等・両立推進企業表彰について、市内企業への周知のため市ホームページおよび市の運営する無料求人情報サイト「アクティブならしの」に掲載し、リーフレットの市庁舎へ設置した。(男女共同参画センター・商工振興課)</li> </ul>				
評価指標	◆事業所に対する千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度の周知回数	平成23年度数値	◆1回	平成24年度数値	1回

**2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。**

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女の区別なく能力の優れた人、その役職に向けた人がなるべきです。しかしまだ女性性は育児、家事等もあり男性と同等の条件下でない場合もあるゆえ善処すべきだと考えます。</li> <li>産学官一体で取り組んでいかないと全体的に広まらないと思います。誰にでも、どの会社にも参加しやすいイベントや企画を展開していくことが大切だと思います。</li> <li>弱小の事業所では男女の格差どころか労働条件の改善もままなりません。頑張っただけで日々暮らすのがやっとです。</li> </ul>
-------------------	---	-------------------	--

**3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。**

【事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	【課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県男女共同参画推進事業所表彰のチラシを配布することにより制度そのものを周知し、直接事業所に対し男女共同参画社会の必要性・重要性を啓発することができた。(男女共同参画センター)</li> <li>意識調査をすることにより、男女共同参画社会づくりへの啓発及び男女共同参画基本計画について雑駁でも周知することができ、更に意識をもつことの重要性を促すことができた。(男女共同参画センター)</li> <li>習志野市商店会連合会や習志野商工会議所等の庁外関係機関との連携を図ることで、「企業における男女平等の啓発の推進につながった。(商工振興課)</li> </ul>	男女共同参画社会づくりにおいて企業の理解は不可欠であるため、関係部署との連携を密にし、もっと啓発の機会を増やしていく必要がある。(男女共同参画センター)
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

**4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。**

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女が仕事と家庭の両立を図ることができるように、事業者として配慮することの重要性についてさらに認識してもらうことを目指し、情報の提供を行います。(男女共同参画センター)</li> <li>企業・勤労者に対する男女平等の啓発を推進する為、男女共同参画センターとの連携によりパンフレット等を配布し、情報の提供を行います。(商工振興課)</li> <li>子育てに関する制度を広く事業者へ周知するために、「アクティブならしの」の積極的な活用をする。(商工振興課)</li> <li>子育てに関する制度の周知において、事業者に対し直接的な働きかけを行うために、商工会議所との連携を継続し、体制を強化する。(商工振興課)</li> </ul>
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2 子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	2 仕事と子育ての両立の推進	担当課	健康支援課・公民館
施策内容	2 男性の子育て参加の促進	事業対象者	妊婦とその夫(パートナー)
事業名	58 男女共同参画の子育て意識啓発		
事業の概要	◆「ママ・パパになるための学級」、「明日の親のための学級」で、夫婦の役割を考えるきっかけとなる内容をプログラムに盛り込み、啓発します。 ◆妊婦、出産、育児のための情報を盛り込んだパンフレットの配布等、父親も育児を担えるような支援を行います。		
平成24年度事業目標	◆引き続きより多くの夫婦が「ママ・パパになるための学級」に参加し、夫婦の役割を考え、育児は夫婦共同という認識が持てるよう努めます。(健康支援課) ◆平成24年度は「明日の親のための学級」としては実施の予定はありませんが、全公民館において、妊婦とその夫が参加できるプログラムのPRに努めます。(公民館)		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	・妊娠届出者・転入時面接した妊婦に対し、各事業の案内を配布しました。(健康支援課) ・「ママ・パパになるための学級」に父親(パートナー)の参加を促し、「妊娠シミュレーター」を着用して妊婦体験を行ったり、育児は夫・婦共同という意識がもてるよう講義とグループワークを実施しました。(健康支援課) (年間12コース、うち2課が土曜日のコースを8回/年、平日のコースを4回/年実施) ・公民館主催の講座の中で、妊婦が参加できる講座をPRしました。(健康支援課) ・平成24年度は「明日の親のための学級」の実施はありません。(公民館)				
評価指標	◆妊娠届出者・転入時面接した妊婦への配付率 ◆ママ・パパになるための学級の妊婦・夫受講率	平成23年度数値	◆100% ◆妊婦44.8%・夫31.9%	平成24年度数値	◆100%(見込み) ◆妊婦51.8%・夫41.6%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	「ママ・パパになるための学級」に参加した夫(パートナー)からは「積極的に参加する。」「互いを支えあいサポートしていきたい。」「産後の心のケアを実践したい。」「妊婦シミュレーター体験をしたので妻の気持ちになって協力したい。」「親として夫としての意識を高めたい。」等の感想がありました。妻からは「パパからの意見が聞けてお互いおもいやりを持って生活したいと思った。」「パパ達は初対面での話し合いで大丈夫かなと思ったが、素敵な意見が聞けてよかった。」「パパの協力が無いとたいへんそうだと気づきました。産前に話し合いを持ちたい。」等の感想がありました。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
4課に参加した先輩ママのアンケートより、夫(パートナー)の育児・家事参加は、「よくやっている」と回答した人が68.8%、「時々やってくれる」を合わせると、97.9%となっています。 「ママ・パパになるための学級」の参加を自分から希望した夫は、32.4%(1月末現在)で、22年度28.0%、23年度28.4%よりも増加しました。	夫婦で参加しやすい日程等を今後も考慮していく必要があります。また、参加者数が増加傾向であり、安全に教室を運営できるようなセッティング、会場の確保が必要です。 引き続き夫がどのような子育て参加をしているか、評価していく必要があります。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	・引き続きより多くの夫婦が「ママ・パパになるための学級」に参加し、夫婦の役割を考え、育児は夫婦共同という認識が持てるよう努めます。(健康支援課) ・平成25年度は「明日の親のための学級」の実施予定はありません。(公民館)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策 (中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課・こども保育課・健康支援課・ 指導課・学校教育課・青少年課・青少年センター・ 幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校
施策内容	1 虐待防止対策の充実	事業対象者	市民・補導相談者
事業名	59 虐待の予防、早期発見と対策、防止	平成24年度事業費決算見込み額	150,000円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ならしの子どもを守る地域ネットワーク(代表者会議、実務者会議、個別支援会議)、研修等を開催し、児童虐待防止に努めます。</li> <li>◆養育支援家庭訪問事業や子育て支援相談室での相談・支援を通じ、児童の虐待防止対策に努めます。</li> <li>◆健康相談や健康診査、訪問指導等の機会に児童虐待の予防及び早期発見に努め、関係機関と連携しながら継続的な支援を行います。</li> <li>◆民生委員・児童委員、母子保健推進員による予防・防止活動も実施します。</li> </ul>		
平成24年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等が情報交換や課題を共有する場として実務者会議を位置づけ、さらなる内容の充実を図ることにより連携強化を目指します。また事業対象者となる「要保護児童」に「要支援児童」「特定妊婦」を加えることにより、妊娠出産期を含めた早期からの虐待防止を目指します。(子育て支援課)</li> <li>◆児童生徒の健康相談や健康診断時等の機会に、児童虐待の予防・早期発見に努め、関係機関と連携をしながら継続的な実施をします。(学校教育課)</li> <li>◆妊娠期からのハイリスク者の把握と個別支援、および「こんにちは赤ちゃん事業」、健康相談・健康診査を利用しない者の把握等を行い、養育支援家庭訪問事業と連携して虐待の未然防止に努めます。(健康支援課)</li> <li>◆引き続き児童虐待防止の啓発や児童虐待の未然防止等を関係機関と連携して行い、各学校へ定期的な周知を図りたいと考えています。(指導課)</li> <li>◆放課後児童指導員研修において、児童虐待に関する研修を実施します。(青少年課)</li> <li>◆学校警察連絡協議会等で虐待についての情報の共有を図り、対応についても関連機関と連携を取りながら積極的に取り組みます。(青少年センター)</li> <li>◆教育相談講座への参加や研修会に参加し、非行問題や補導相談などに対応できる職員の資質の向上を図ります。(青少年センター)</li> </ul>		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に 実施した 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子育て支援相談の実施(子育て支援課) ・0歳～18歳未満の子どもを持つ保護者及び児童等からの子どもに関するあらゆる相談に対し、電話、面接、訪問により、問題解決に向けた助言や情報提供を行いました。また、児童虐待の通報・相談窓口として千葉県中央児童相談所と連携し、問題解決に向けた取り組みを行いました。相談件数:5376件 実人数:499人(うち児童虐待相談件数:3234件 実人数:257人)</li> <li>◆ならしの子どもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)の運営(子育て支援課) 児童福祉法第25条の2に基づく要保護児童対策地域協議会の事務局として、代表者会議(年2回)、実務者会議(年6回、臨時1回)、個別支援会議(23回 H25.1月末)や研修会の開催など、虐待防止に向けた庁内及び地域におけるネットワーク構築に努めました。</li> <li>◆養育支援家庭訪問事業の実施(子育て支援課) 養育困難な妊娠中から1歳未満の子のいる家庭に対し、家庭訪問などにより育児についての技術的支援を行った(処理件数:5件 延べ71回)。また、臨床心理士による勉強会を実施し(年6回)、相談技術の向上に努めました。</li> <li>◆母子健康手帳の交付時をスタートに、訪問指導・健康相談・健康診査等の機会に、不適切な養育環境につながるリスクのある対象者を把握しました。地区担当保健師とこども部等の関係機関との連携を図りながら、個別に支援をしました。(健康支援課)</li> <li>◆「こんにちは赤ちゃん事業」として、生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、支援が必要な家庭を把握し、支援につなげました。(健康支援課)</li> <li>◆早期発見のための観点・方法と発見した場合の対応を教職員に周知し、各校との連絡・相談窓口を設け、早期に対応しました。(指導課)</li> <li>◆児童生徒健康診断及び就学時健康診断を実施しましたが、虐待に関する情報はありませんでした。(学校教育課)</li> <li>◆放課後児童指導員研修において、児童虐待に関する研修を実施しました。(青少年課)</li> <li>◆学校警察連絡協議会等で虐待についての情報の共有を図り、対応についても関連機関と連携を取りながら積極的に取り組みました。(青少年センター)</li> <li>◆教育相談講座への参加や研修会に参加し、非行問題や補導相談などに対応できる職員の資質の向上を図りました。(青少年センター)</li> </ul>				
評価指標	◆こんにちは赤ちゃん事業家庭訪問実施率 ◆代表者会議・個別支援会議開催回数 ◆虐待相談件数	平成23年度 数値	◆94% ◆2回・38回(H24.1末) ◆2,800件	平成24年度 数値	◆94.0%(見込み) ◆代表者会議2回、個別支援会議23回(H25.1月末) ◆3,041件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の 有無	有	事業対象者からの 意見・感想等の 内容	<p>新生児訪問においては、「初めての子育てで不安なことが多かったが、相談できてよかった。」等の意見があります。生後2か月時の母子保健推進員の訪問では、「実家(県外)に里帰りして出産し、帰宅後、自分だけで日中子どもを見る生活を始め、ちょっとした不安が出てきてどうしようかと思っていたところに母子保健推進員のような支援者がいてくれることを知り安心した。」等の言葉が聞かれています。(健康支援課)</p>
---------------------------	---	---------------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆母子保健、保育所、幼稚園、小中学校など、子どもを見守る関係機関と連携し、虐待防止、早期発見に努めました。また、千葉県中央児童相談所と綿密に連携し、同行訪問や、情報共有、適切な対応に努めました。(子育て支援課)</li> <li>◆母子健康手帳交付時では妊娠中から乳幼児期までの流れについて説明し、相談先などがわかるよう支援しました。「こんにちは赤ちゃん事業」は全戸訪問を目指して94.0%(H25.1末)の家庭訪問を実施し、訪問できなかった家庭については「里帰りが長かった」「住民登録のみで、他市に生活している」等の理由を把握しました。その他にも、健康相談・健康診査の未受診者に対しても、積極的に受診勧奨を行い、関係機関と連携しながら把握に努めました。継続した支援が必要な人への個別の支援は、必要時関係機関と連携しながら行っています。(健康支援課)</li> <li>◆放課後児童指導員研修において、児童虐待に関する研修を実施することにより、児童虐待の早期発見と防止に努めた。(青少年課)</li> <li>◆各関係機関と情報の共有ができ、積極的な対応をすることができ、青少年の非行問題や補導相談に対応できる資質の向上が図れた。(青少年センター)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自らがSOSを発信しない家庭に対し、子どもに関わる関係機関は常にアンテナを高くし、家庭を見守る必要があります。また、暴力のない、子どもが安心して過ごせる社会に向け、啓発活動を引き続き行う必要があります。(子育て支援課)</li> <li>◆住民登録のみで住居の実態がないケースの把握(健康支援課)</li> <li>◆乳児の1割以上が他市からの転入者であるため、必要な相談・サービスに繋がるよう、タイムリーな把握に努めていく必要がある。(健康支援課)</li> <li>◆児童虐待に関する研修を定期的実施することにより、虐待の予防に努める。(青少年課)</li> <li>◆様々な問題に対する早期発見・早期対応に向けて関係機関との連携を更に充実させる必要がある。(青少年センター)</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等が情報交換や課題を共有する場として代表者会議、実務者会議、個別支援会議を開催し、さらなる内容の充実と連携強化を目指します。また引き続き母子保健との連携に努め、養育支援家庭訪問事業の実施により、妊娠出産期を含めた早期からの虐待防止に努めます。(子育て支援課)</li> <li>◆妊娠期からのハイリスク者の把握と個別支援、および「こんにちは赤ちゃん事業」、健康相談・健康診査を利用しない者の把握等を行い、子育て支援課(養育支援家庭訪問事業)と連携して虐待の未然防止に努めます。(健康支援課)</li> <li>◆引き続き児童虐待防止の啓発や児童虐待の未然防止等を関係機関と連携して行い、各学校へ定期的な周知を図りたいと考えております。(指導課)</li> <li>◆児童生徒の健康相談や健康診断時等の機会に、児童虐待の予防早期発見に努め、関係機関と連携しながら継続的な実施をします。(学校教育課)</li> <li>◆放課後児童指導員研修において、児童虐待に関する研修を実施する(青少年課)</li> <li>◆学校警察連絡協議会等で虐待についての情報の共有を図り、対応についても関連機関と連携を取りながら積極的に取り組みます。(青少年センター)</li> <li>◆教育相談講座への参加や研修会に参加し、非行問題や補導相談などに対応できる職員の資質の向上を図ります。(青少年センター)</li> </ul>
----------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	ひとり親家庭の父母等
事業名	60 児童扶養手当の支給		
		平成24年度事業費決算見込み額	353,460,340円
事業の概要	◆「児童扶養手当法」に基づき、父親と生計を同じくしていない18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を養育している母親又は養育者に、手当を支給します。また、平成22年8月より、母親と生計を同じくしていない18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を養育している父親に、手当を支給します。		
平成24年度事業目標	◆就業または求職活動をしていないことによる一部支給停止者を3名以内に抑えることを目標として、ひとり親家庭自立支援員と協力しながら、手当の支給に併せて就労指導を行います。また、24年度現況届時に面接を行った無職の受給者のうち、24年度も無職である受給者については必要に応じ、ひとり親家庭自立支援相談員等が継続的に関わり就労支援を行います。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	受給資格認定申請書の受理及び処理、現況届の受理及び処理、資格喪失届の受理及び処理、転入・転出届の受理及び処理、5年等経過による一部支給停止適用除外事由届の受理及び処理、手当の支払い、返還金債権の管理等をおこないました。				
評価指標	◆一部支給停止者数	平成23年度数値	◆2人	平成24年度数値	1人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
新規申請の面談、認定請求書や現況届の提出の際に、就労をしていない場合や収入が少ない場合について、生計維持の方法の確認をおこないながら、マザーズハローワーク等の関係機関の紹介、また、ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金やひとり親家庭高等技能訓練促進費等の支援制度の案内をしました。効果的に関係機関の紹介、支援制度の案内をおこなえるよう、密な連携を図り、情報収集に努めました。5年等経過による一部支給停止適用除外事由届の提出の際に、就労をしていない受給者については、ひとり親家庭自立支援員と協力して就労指導をおこない、マザーズハローワーク等の関係機関につなぎ、求職活動をおこなったことを確認しました。一部支給停止者1名については、その後も就労指導を継続し、求職活動をおこなったことを確認しました。 (平成24年度 一部支給停止者数1名(見込み))	マザーズハローワーク等の関係機関につなぎ、求職活動をおこなったことを確認しておりますが、必ずしも就労につながらない場合があります。今後、引き続き、就労指導のあり方、現況届の提出の際の確認等、見直しを検討をしていく必要があります。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	新規申請の面談、認定請求書や現況届の提出の際に、就労をしていない場合や収入が少ない場合については、生計維持の方法の確認をおこない、必要に応じ、関係機関の紹介や支援制度の案内をおこないます。また、継続的な関わりが必要である場合は、ひとり親家庭自立支援相談員と協力して、継続的な就労支援をおこないます。就業または求職活動をしていないことによる一部支給停止者を3名以内に抑えることを目標として、ひとり親家庭自立支援員と協力しながら、手当の支給に併せて就労指導をおこないます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	ひとり親家庭の父母等及びその児童
事業名	61 ひとり親家庭等医療費等の助成		
事業の概要	◆「習志野市ひとり親家庭等の医療費等の助成に関する条例」に基づき、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を養育するひとり親家庭の方等が、医療保険により受診した場合の医療費の一部を助成します。		
平成24年度事業目標	◆引き続き、広報・ホームページ・しおり等への掲載、児童扶養手当等の申請時に制度の説明、児童扶養手当現況届の提出のお知らせに際し、制度の案内を同封する等を行うことで制度の周知を図り、助成申請件数や助成者数の向上を図ります。また、助成申請等の機会を利用し、困っていることがあれば、相談につなげたいです。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受給資格認定申請書の受理</li> <li>・助成申請書の受理及び処理</li> </ul>				
評価指標	◆助成者数	平成23年度数値	◆830人	平成24年度数値	◆843人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
ひとり親家庭の父母等への制度の周知を図り、また認定申請・助成申請等の機会を利用し、就労等困っていることを相談につなげるなど、ひとり親家庭等の福祉の増進に寄与しました。	児童扶養手当受給者に比べ、年金等受給者は利用できる制度の制約もあるが、ひとり親家庭等を対象とした諸制度について、ひとり親家庭等医療費等助成制度のみの利用が多いので、今後も認定申請や資格更新・助成申請の機会を利用し、医療費助成以外の制度やマザーズ・ハローワーク等の就労支援・相談等につなげる必要があります。また児童扶養手当の受給者の中にもひとり親家庭等医療費等助成制度を知らない受給者もいるため、現在児童扶養手当を受給中の方へも、積極的な制度の案内が必要です。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	引き続き、広報・ホームページ・しおり等への掲載、児童扶養手当等の申請時に制度の説明、児童扶養手当現況届の提出のお知らせに際し、制度の案内を同封する他に、窓口においても児童扶養手当現況届の提出時や各種届出等の機会を活用し、積極的に制度について案内を行うことで、さらなる制度の周知を図り、助成申請件数や助成者数の向上を図ります。また、今後も認定申請・助成申請等の機会を利用し、困っていることがあれば相談につなげたいです。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	母子家庭の母及び寡婦
事業名	62 母子寡婦福祉資金の貸付		
事業の概要	◆「母子及び寡婦福祉法」に基づき、母子家庭、寡婦を対象に事業資金等の福祉資金を貸付します。		
平成24年度事業目標	◆千葉県で行っている「母子寡婦福祉資金」を母子家庭の自立と結びつく貸付となるよう申請者の相談に応じ、申請を受理するとともに、貸付開始後も県と連携してサポートできる体制を作りを行います。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	母子家庭の母及び寡婦より、母子寡婦福祉資金の貸付の相談を受付し、申請を受理しました。		
評価指標	◆貸付相談件数 ◆貸付件数	平成23年度数値 ◆60件 ◆22件	平成24年度数値 ◆86件 ◆22件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
貸付の相談を受付し、申請を受理する際に、母子家庭の自立に結びつくように就労支援や返済計画の確認をおこないました。貸付をおこなう千葉県とより一層の連携を図りました。 児童扶養手当やひとり親家庭等医療費等の助成など他制度の利用者の申請時に案内をおこない、また、しおりやちらしを配布し、貸付の周知を図りました。 (平成24年度 貸付相談件数86件(見込み)、貸付件数22件(見込み))	母子家庭の自立に結びつくように就労支援や返済計画の確認をおこなっているが、就学資金、就学支度金の貸付を利用している子の退学や母の失業等の不測の事態が起こり生活に困窮した場合、貸付金の返済が大きな負担となることが懸念される。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	千葉県でおこなっている母子寡婦福祉資金を母子家庭の自立と結びつく貸付となるように、相談を受付し、申請を受理する際に引き続き就労支援や返済計画の確認をおこなうとともに、貸付開始後も千葉県と連携したサポートを図っていきます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	ひとり親家庭の父母等
事業名	63 ひとり親家庭自立支援員による相談体制の充実		
		平成24年度事業費決算見込み額	
事業の概要	◆母子家庭や父子家庭等のひとり親家庭を対象に、生活一般、就業、児童の養育等についての相談に応じ、自立に向けて必要な支援を行います。		
平成24年度事業目標	◆ひとり親家庭の生活の安定とその向上及び福祉の増進のために、ひとり親家庭の生活一般、就業、児童の養育等についての相談に応じ、また、関係機関との連携を図りつつ、自立に向けた指導・助言・支援を行います。 ◆相談後、経過を確認するケースのあり方を検討し、必要に応じて継続的な支援を行います。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	母子及び寡婦福祉法並びに生活一般についての相談指導、職業能力向上及び求職活動等の就業についての相談指導、児童の養育等、その他家庭児童福祉の向上を図るための必要な相談指導、その他ひとり親家庭及び寡婦の自立に必要な支援をおこないました。				
評価指標	◆相談件数 ◆就労相談件数	平成23年度数値	◆562件 ◆57件	平成24年度数値	◆893件 ◆91件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
<p>面談、電話等にて、ひとり親家庭の父母等の生活や児童の養育に関する相談に応じ、助言及び必要な支援をおこないました。マザーズハローワーク等の関係機関や就労支援等の関連する支援制度等の情報収集に努め、必要に応じて連絡をとり、ひとり親家庭の自立に向けた効果的な連携を図りました。</p> <p>相談受付後、経過を確認する必要があるケースについて継続した支援につないでいくため、係内の情報共有、方向性の検討をおこないました。</p> <p>(平成24年度 相談件数893件(見込み)、うち就労相談件数91件(見込み))</p>	<p>経過を確認する必要があるケースについて、経済的困窮、就労、障害や病気、DVや家庭内暴力等、複数の困難を抱えている場合が多く、継続した支援につないでいくために、関連する支援制度の情報収集により一層努め、関係機関と連携した対応が求められます。</p> <p>また、相談結果が本人の連絡以外に把握できない点があるため、今後どのように把握するか課題があります。</p>	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	ひとり親家庭の生活の安定とその向上及び福祉の増進のために、ひとり親家庭の生活一般、就業、児童の養育等についての相談に応じ、自立に向けた指導・助言・支援を行います。継続した支援につないでいくために、関連する支援制度の情報収集により一層努め、関係機関と連携した対応を図ります。 相談後、経過を確認するケースのあり方を検討し、必要に応じて継続的な支援を行います。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	ひとり親家庭の父母
事業名	64 ひとり親家庭自立支援給付金の支給		
		平成24年度事業費決算見込み額	6,635,000円
事業の概要	◆ひとり親の経済的な自立を支援するため、就労に必要な知識や技能の習得等に係る教育訓練講座や高等技能訓練等の経費(受講料)を助成します。		
平成24年度事業目標	◆ひとり親家庭の父母が就職の際に有利であり、かつ生活の安定に資する資格を取得でき、生活負担の軽減及び自立が促進されるように、また、申請を行う時点からの資格取得等に向けての動機付けや相談に応じます。 ◆現況届提出時には、学業と子育ての両立の状況を確認し、資格取得等を安心して行えるように援助を行います。 ◆学業終了後の進路(就業等)を確認します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童扶養手当現況届等を利用し、就労に向けた資格取得についての相談に応じました。また、自立支援教育訓練給付金および高等技能訓練促進費の制度を案内しました。</li> <li>・高等技能訓練促進費等支給事業において、2年以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込まれる申請者に対し、「訓練促進費」を支給、また修了した申請者に対しては「一時金」を支給しました。また、現況届や請求書、成績証明書などの提出時に、面接を行い修業状況、生活面等確認を行いました。</li> <li>・平成25年度から要綱が改正され、2年を上限に全期間にわたり訓練促進費が支給されるよう支給期間が延長されたことについて、今年度及び昨年度相談者へ周知しました。</li> </ul>				
評価指標	◆申請件数	平成23年度数値	◆5件	平成24年度数値	◆6件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
資格取得を目指すひとり親家庭の生活の負担の軽減及び自立支援が図られました。 平成24年度(見込み) 教育訓練給付金 0件 高等技能訓練促進費 6件(うち、高等技能訓練修了後、歯科衛生士取得見込 1件 鍼灸あん摩師取得見込 1件)	自立支援教育訓練給付金対象講座の指定を受けた申請者が、通信講座の受講をやめてしまうことがあるので、受講開始後のサポートの必要性があります。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等技能訓練促進費について、平成25年度から恒久的に全期間(上限2年)支給対象となり、ひとり親家庭の父母がより資格取得しやすくなったため、現況届等を利用して制度を周知します。</li> <li>・現況届提出時には、学業と子育ての両立の状況を確認し、資格取得等を安心して行えるように支援します。自立支援教育訓練給付金の通信講座受講者については、定期的に進捗状況を確認します。</li> </ul>
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	学校教育課
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	児童・生徒
事業名	65 就学援助費の支給		
事業の概要	◆経済的理由によって就学することが困難な児童及び生徒に対し、就学援助費を支給します。		
平成24年度事業目標	◆認定された者について100パーセント支給します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	児童生徒の保護者から提出された申請を受け、当該手当支給認定に必要な書類を確認し、認定された者に学用品費・給食費等の給付を行った。 【実績】支給延人数 準要保護 798人、要保護 82人(H25.2.1現在)				
評価指標	◆該当児童・生徒への実施率	平成23年度数値	◆100%	平成24年度数値	100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
認定された者については定められた補助内容が100パーセント支給されている。	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	認定された者について100パーセント支給する。
------------	-------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

2 子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	ひまわり発達相談センター
施策内容	3 健やかな発育・発達を支える支援体制の充実	事業対象者	本市に住所を有する成長又は発達に不安や課題がある18歳未満の児童とその保護者
事業名	66 ひまわり発達相談センターの整備	平成24年度事業費決算見込み額	9,912,000円
事業の概要	◆成長・発達に不安又は課題がある児童の健やかな成長に資するため、総合的な相談に応じるとともに、適切な指導及び支援を行います。		
平成24年度事業目標	◆ひまわり発達相談センターの相談支援と指導に伴う総合的な支援体制の構築を図り、運営システムの基盤を確立します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆発達に関する不安や悩みを受けとめ、気軽に相談できる体制の整備 (1)センター設置に関する周知啓発の強化 (2)18歳までの幅広い年齢層に対する相談の実施 (3)多様な専門職による初回面接の実施、検査や医師の見立て等客観的情報に基づき決定した支援方針の通知 ◆継続的な支援システムの構築 (1)個別支援計画運用に関する他機関との連絡・調整 (2)関係機関(総合教育センター、健康支援課、子育て支援課、障がい福祉課、あじさい療育支援センター等)との定例会議の実施 (3)市内幼稚園・保育所等に対する巡回相談の実施 (4)個別指導を要する子どもへの指導体制の整備 ◆発達支援に携わる職員の資質向上及び調査・研究の促進 (1)発達支援に関する研修(発達支援基礎研修・発達支援理論研修)の企画と実施				
評価指標	平成25年度に決定します	平成23年度数値	—	平成24年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	18歳までの子どもを対象とする相談利用者の拡大、初回面接及び個別指導の充実・強化及び生活実態に即した巡回相談事業の実施など早期発達支援に関する専門的な相談・指導体制が整備されたことで、センター利用対象者から安心して子育てが行うことができたなどの意見・感想が寄せられています。尚、年度末に利用者を対象にセンターの利用満足度に関するアンケート調査を実施し、具体的な意見を伺います。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆発達に関する不安や悩みを受けとめ、気軽に相談できる体制の整備 広報、ホームページの他、健康診査会場及び保育所・幼稚園・小中学校に通う児童生徒等に対するパンフレット配布により、新たな相談機能を有したセンターについて幅広く周知することができました。また、相談申込を受けた後、初回面接・実態把握を速やかに行い、支援方針会議で決定した支援の方向性を保護者に文書で説明する体制ができました。 ◆継続的な支援システムの構築 巡回相談の実施により幼稚園等からの依頼に応じる相談システムが確立し、生活場面において子どもの関わり方に関する助言が可能になったことで保育者や保護者の安心を高めることができました。また、各関係機関との定例会議の実施により、連携協力関係が深まり、個々の子どもに対する支援方針の充実を図り、支援システムを強化することができました。 ◆発達支援に携わる職員の資質向上及び調査研究の促進 発達支援理論研修の実施において、保育・教育現場の職員間の交流を促進し、コミュニケーションを深めたことで、特別支援を要する子どもの保育に関する意欲の向上と関係者間の信頼関係を高めることができました。	◆小中学生の相談をより多く受け入れていくために、学校教育関係者の理解を得る必要がありますが啓発活動が充分ではありませんでした。また、支援の方向性を文書で説明する体制はできましたが、保護者が納得していただくための分かりやすい内容や説明になっているか等については、十分に検証する必要があります。 ◆巡回相談において、個別支援計画を軸とする支援が十分に行えませんでした。 ◆発達支援に関する研修にあたっては、保育や教育の現場についての更なる理解を図る必要があります。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆発達に関する不安や悩みを受けとめ、気軽に相談できる体制の整備 就学期の個々の相談において、保護者同意を基に学校訪問及び担任をはじめ関係者との協議を行い、相談・指導体制を強化します。また、「乳幼児個別支援計画」を学校教育における「個別の教育支援計画」につなぐ継続的な支援のシステムの整備を行い、相互理解・連携を深めていきます。 支援の方向性について、保護者に十分に納得していただける具体的な内容にするために、支援方針会議での協議を充実させるとともに理解しやすい説明の方法についても検討します。 ◆継続的な支援システムの構築 集団生活における支援の充実のために、巡回相談で幼稚園等からの依頼に応じるとともに個別支援計画を作成したお子さんについての支援にも積極的に参画します。 ◆発達支援に携わる職員の資質向上及び調査研究の促進 幼稚園等の実態とニーズを把握し、集団保育で活用できる研修のあり方について検証し内容の充実を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策 (中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課・子育て支援課・健康支援課・ こども保育課・指導課・学校教育課・幼稚園・ 保育所・こども園・小学校・中学校・ あじさい療育支援センター・ひまわり発達相談センター
施策内容	3 健やかな発育・発達を支える支援体制の充実		
事業名	<b>67 発達支援サポートネットワークの充実</b>	事業対象者	個別に支援を必要とする子どもとその保護者
		平成24年度事業費決算見込み額	232,000円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆本市の発達支援施策を推進するため、知識経験者で構成された「発達支援システム等検討協議会」の専門的な助言、指導を得ながら、幼稚園、保育所、こども園、学校、福祉関係施設等関係機関の職員による「発達支援サポートネットワーク会議」で議論を深め、施策の立案やシステム整備を図ります。</li> <li>◆障害の有無にかかわらず、発達に心配がある子どもに対しては、保護者の意向を踏まえ、個別支援計画を作成し、個別の状況に応じた指導・訓練の実施、評価、計画の見直しを行って、子どもの成長、発達を支えるしくみをつくります。また、子どもの成長・発達の経過や支援方針等を、確実に引継ぐ体制を整備します。</li> <li>◆注意欠陥多動性障害(ADHD)・学習障害(LD)・アスペルガー症候群等の発達障がいのある児童の早期発見、支援の強化を図ります。</li> <li>◆発達支援に関する研修を充実、強化し、子どもの支援にかかわる職員の資質向上を図ります。</li> </ul>		
平成24年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆発達相談センターにおける個別支援計画作成後の支援体制の確立に取り組みます。(障がい福祉課・あじさい療育支援センター・ひまわり発達相談センター)</li> <li>◆個別支援計画作成を私立幼稚園等に在籍する児へも拡大します。(障がい福祉課・あじさい療育支援センター・ひまわり発達相談センター)</li> <li>◆障がいの有無にかかわらず、発達に心配がある子どもに対しては、保護者の意向を踏まえ、個別支援計画を作成し、個別の状況に応じた指導の実施、評価、結果の見直しを行い、子どもの成長、発達の経過や支援方針等を確実に引継ぐ体制を整備します。(こども保育課・保育所・幼稚園・こども園)</li> <li>◆今後も就学前の引き継ぎと就学後の話し合いを実施し、一人一人のニーズに応じた丁寧な指導・支援ができるようにしていきたいと考えています。(指導課・小学校・中学校)</li> </ul>		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆発達支援サポートネットワーク会議では、ひまわり発達相談センターの事業、体制の確立について協議するとともに、市の発達支援施策の方向性に対する情報の共有を図り、各機関における事業の調整を行いました。(障がい福祉課)</li> <li>◆「発達支援に関する相談窓口案内」と「個別支援計画作成案内」のパンフレットを、公立・私立幼稚園等に配布し、周知を拡大しました。(障がい福祉課)</li> <li>◆ひまわり発達相談センターによる幼稚園・保育所等への巡回相談事業や18歳未満の児童への相談支援を行い、支援の強化に努め、関係機関との連携を図りました。(障がい福祉課)</li> <li>◆「発達支援基礎研修」「発達支援理論研修」を実施し、関係職員が子どもへの具体的な手法について学びました。(障がい福祉課)</li> <li>◆発達サポートネットワーク会議(年6回)、発達支援施策検討会議(年2回)に出席し、発達支援に関する情報の共有、課題への検討を行った。(子育て支援課)</li> <li>◆発達相談支援センターや総合教育センターをはじめとする関係機関と連携し、家庭のニーズに応じた支援を行いました。(子育て支援課)</li> <li>◆個別に支援を要する児童の保護者とともに個別支援計画を作成し、その子に応じた支援を行った。</li> <li>◆ひまわり発達相談センターの専門職員による巡回相談で、子どもの困り感や発達、具体的な支援の仕方の助言を受け、個別支援計画立案・支援・指導・評価に活かした。</li> <li>◆施設内で支援の振り返りを行い、より具体的な支援について共通理解をし、支援を行った。</li> <li>◆個別支援計画を作成した児童(1年生)の小学校訪問を関係機関と共に実施し、計画の振り返りと連携体制の充実を図った。</li> <li>◆ひまわり発達相談センターや小学校と連携を図り、個別支援計画をもとに具体的に引継ぎを行った。</li> </ul>				
評価指標	◆個別支援計画作成件数	平成23年度数値	◆84件→88件(正)	平成24年度数値	116件(1月末現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	関係機関の連携システムや、きめ細かいサービス提供の体制ができ、今後を期待する。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆幼稚園・保育所における巡回相談の実施に伴い、生活の場に即した具体的な支援を提供できました。(障がい福祉課)</li> <li>◆個別支援計画は、私立幼稚園・保育所も対象となり、市内の就学前施設における作成体制が整備されたことで、作成数が増加しました。(障がい福祉課)</li> <li>◆作成された計画書は、確実に小学校へ引継ぐとともに、その後の継続的支援の方策として、義務教育期における個別の教育支援計画の作成と、同計画書による支援体制を強化しました。(障がい福祉課)</li> <li>◆子どもの発達に関する悩みについて、家庭児童相談において、面接、訪問などにより対応を行いました。(子育て支援課)</li> <li>◆関係機関と連携し、支援が必要な子どもについて、保護者に対して発達相談支援センターや総合教育センターの利用についての情報提供を行ったほか、安心して利用につながる支援を行いました。(子育て支援課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆巡回相談事業による個別支援計画の活用など、作成後の支援体制の確立(障がい福祉課)</li> <li>◆ひまわり発達相談センター及び発達支援施策に関する評価システムの構築(障がい福祉課)</li> <li>◆発達に関する悩みについては、個々の子どもも関係機関につなげていくことが必要であるが、まず保護者自身の不安に寄り添うことが必要であり、きめ細やかな対応が求められる。引き続き研修などにより発達障がいについての理解を深める必要がある。(子育て支援課)</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ソーシャルインクルージョンの理念に基づき、更なる発達支援施策の充実、強化を図るため、各種行政サービスの推進によってめざす状態とそれを評価する数値目標等に関する協議を進めて、発達相談センター及び発達支援施策の評価の基準を明確にします。(障がい福祉課)</li> <li>◆部を超えた関係機関との連携を強化し、個別支援計画を活用した巡回相談事業の充実を図り、作成後の支援体制の確立に努めます。(障がい福祉課)</li> <li>◆研修体制をより充実させ、ソーシャルインクルージョンの理念による職員の資質向上に取り組みます。(障がい福祉課)</li> <li>◆家庭児童相談において、引き続き関係機関と連携し、個々の子どもにあった適切な情報提供や支援を行います。(子育て支援課)</li> </ul>
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	あじさい療育支援センター
施策内容	4 障害児施策の充実	事業対象者	知的・肢体等の発達に課題を持つ未就学の児童及びその保護者
事業名	<b>68 障害児施設での療育の充実</b>		
事業の概要	◆知的障害児通園施設「あかしあ学園」、肢体不自由児通園施設「あじさい学園」において、療育を実施します。		
平成24年度事業目標	◆知的障害児グループ、肢体不自由児グループ間の連携により効率的かつ多様な視点から児童への療育が図れるよう個別支援計画、個別指導計画に基づいて療育を実施します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	知的障害児通園施設「あかしあ学園」を「児童発達支援」、肢体不自由児通園施設「あじさい学園」を「医療型児童発達支援」へと移行し、「あじさい療育支援センター」として一元化を図ると共に、個別支援計画、個別指導計画を作成し、計画に基づき療育を実施。				
評価指標	個別指導計画作成件数	平成23年度数値	あかしあ学園・あじさい学園 45件	平成24年度数値	53件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆H25.2月、保護者を対象としたアンケートを実施 ・分かりやすく無理のない計画になっている。 ・個々の状況に合わせ、細かく具体的に作成された内容になっている。 ・気付いていなかった所や、家では見られない面が分かった。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
・「あじさい療育支援センター」として、施設の一元化を図ることにより、各専門職が連携し、効率的かつ多様な視点から児童への療育を実施することができました。 ・個別支援計画、個別指導計画の作成及び評価に合わせて、児童の個別活動の実施や、保護者との面談を実施することにより、児童の発達の状況や目標の確認等、より密に保護者との連携を図ることができ、個々の能力、状況に応じた療育に繋げることができました。	「児童発達支援センター」として必須となる、「相談支援事業」の実施及び、「保育所等訪問支援」について検討が必要。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	・「児童発達支援センター」として必須となる、「相談支援事業」を実施し、円滑な運営を行うと共に、平成27年4月の「保育所等訪問支援」実施について検討を行う。 ・個別支援計画及び、個別指導計画に基づいて療育を実施し、評価、改善を図りながら指導の充実を図る。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	4 障害児施策の充実	事業対象者	18歳未満の身体に障がいのある児童
事業名	69 補装具費の支給		
事業の概要	◆日常生活をサポートするために、補聴器、装具、車椅子等の補装具費を支給します。		
平成24年度事業目標	◆身体に障がいを抱える子どもの日常生活をサポートする本事業の目的に沿って、事業内容の周知に努め、継続して実施します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆日常生活をサポートするために、補聴器、装具、車椅子等の補装具費を支給しました。				
評価指標	◆給付率	平成23年度数値	◆100%	平成24年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
身体に障がいを抱える子どもの日常生活のサポートを行い、経済的負担の軽減が図られました。	引き続き事業内容の周知に努め、身体に障がいを抱える子どもの日常生活をサポートしていく必要があります。	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	身体に障がいを抱える子どもの日常生活をサポートする本事業の目的に沿って、事業内容の周知に努め、継続して実施します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	4 障害児施策の充実	事業対象者	18歳未満の障がい児
事業名	70 障害福祉サービスの利用促進		
事業の概要	◆地域生活を支援するため、家庭において障がい児を一時的に介護できない時に、ヘルパーの派遣、施設等での一時的預かり、デイサービス等、サービス環境の整備を促進します。		
平成24年度事業目標	◆自立支援法に基づく福祉サービスについて、利用申請を受け、実態調査を行い利用者の必要とする適切なサービスの種類及び支給量を決定し、サービス提供に努めます。 ◆より充実したサービス提供を行うために、個々の生活状況等の把握に努め、基盤整備を進めることを目標とします。 ◆県より移行される障害児通所支援について、円滑な事務の移行を進めると共に、サービス利用者に適切な情報提供、制度内容の周知に努めていきます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援法(一部児童福祉法)に基づく福祉サービスについて、利用申請を受け、実態調査を行い利用者の必要とする適切なサービスの種類及び支給量を決定し、サービス提供をしました。</li> <li>・より充実したサービス提供を行うために、個々の生活状況等の把握に努め、基盤整備を進めました。</li> <li>・県より移行された障害児通所支援について、適切なサービス種類支給量決定を実施しました。</li> </ul>				
評価指標	◆日中一時支援事業利用回数 ◆児童デイサービス事業利用日数	平成23年度数値	◆4,612回 ◆5,674日	平成24年度数値	◆4,874回 ◆7,028回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
対象者の状態を把握し、必要なサービスにかかる支給決定及びサービス事業者との調整を図りながら、障がい児及びその家庭の支援を行いました。 新制度への移行に際し、利用者へ負担のかからぬよう、円滑な移行を進めました。	障害福祉サービス等に係る支給決定のみならず、就学先の選択に関する相談をはじめ、虐待やネグレクト、養育上の問題を抱えた事例への対応等、障がい児特有の相談が増えています。障害児相談支援事業者による障害児計画相談支援を進めておりますが、連携を深め、多様化する事例に適時、適切な対応をする必要があります。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	多様化する利用者の要請に対して、行政機関として可能な限り応えられるよう、適切な支援、サービスの内容及び支給量の決定、提供に努めます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	4 障害児施策の充実	事業対象者	精神または身体の障害等級表に該当する程度の障がいがある20歳未満の児童を家庭で看護・養育している者
事業名	71 特別児童扶養手当の支給		
事業の概要	◆「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」に基づき、精神又は身体に障がいのある20歳未満の児童を監護・養育している方に、手当を支給します。		
平成24年度事業目標	◆広報等を通し、本手当の周知を図ります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神または身体に障がいのある20歳未満の児童を監護、養育している方からの申請等に基づき、遅滞なく県への進達及び利用者への通知事務を行いました。				
評価指標	◆申請受理・進達率	平成23年度数値	◆100%	平成24年度数値	100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
障がいのある児童を家庭で監護、養育している者の経済的負担を軽減することができました。	引き続き本事業の対象者を適正に把握し、円滑な処理を実施します。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	手帳交付時及び広報等を通して、本手当の周知を図ります。
------------	-----------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	4 障害児施策の充実	事業対象者	政令で定める程度の重度の障害があるため、日常生活において常時の介護を必要とする状態にある在宅の20歳未満の者
事業名	72 障害児福祉手当の支給		
事業の概要	◆常時介護を必要とする在宅の重度障害児に対し、手当を支給します。		
平成24年度事業目標	◆広報等を通し、本手当の周知を図ります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	規定に基づき、調査や審査を行い手当を支給しました。窓口や広報により本手当の案内や周知を行いました。				
評価指標	◆給付率	平成23年度数値	◆100%	平成24年度数値	100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
受給資格認定した者に対し100%の支給を行いました。 (12月末現在の支給者数61名、支給停止者除く) 重度の障がいがある児童に対し、手当を支給することで経済的負担を軽減することができました。	本手当の対象児を適正に把握し、円滑な支給開始を図ります。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	手帳交付時や広報等を通して、本手当の周知を図ります。
------------	----------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	4 障害児施策の充実	事業対象者	18歳未満の重度心身障害児童
事業名	73 重度心身障害児医療費の助成		
事業の概要	◆重度心身障害児を対象に、医療費の一部を助成します。		
平成24年度事業目標	◆提出された申請書類を遅延なく審査・決定を行い、保険診療の自己負担分を助成することで、経済的負担の軽減を図ります。 ◆県の助成事業であることから、現物給付化に向けた動向などに注視しながら、継続して実施します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	医療費助成申請を受け、すみやかに審査・決定を行いました。 また、障害者手帳交付時や相談業務において、制度の一層の周知をはかり利用を促進しました。				
評価指標	◆給付率	平成23年度数値	◆100%	平成24年度数値	100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
重度の障がい児の医療費助成を行うことで、経済的負担の軽減を図ることができました。	現行の償還払いによる給付においては、申請手続きの負担・医療費制度改革による給付事務の複雑化が懸念されます。 現物給付化には、財政的負担の増加・対象者の検討等様々な課題もありますが、 利用者の利便性向上、事務負担の軽減のために、引き続き県と協議を重ねてまいります。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	・提出された申請書類を遅滞なく審査・決定を行い、保険診療の自己負担分を助成することで、経済的負担を軽減します。 ・県の助成事業であることから、現物給付化に向け動向等に注視しながら、継続して検討します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	4 障害児施策の充実	事業対象者	身体、療育、精神保健福祉手帳のいずれか一定基準を満たした手帳を所持し、本人が非課税(18歳未満は保護者が非課税)
事業名	74 タクシー利用券の交付		
事業の概要	◆障がい児のタクシー利用費用の一部を助成します。		
平成24年度事業目標	◆移動支援を促進し、自立を支える本事業の目的に沿って、制度の見直しを適宜図りながら、継続して実施します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	障がい児のタクシー利用費用の一部を助成し、移動の支援と経済的な負担の軽減を図りました。				
評価指標	◆給付率	平成23年度数値	◆100%	平成24年度数値	100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
・障がい児の移動支援、経済的負担の軽減を図ることができた。	・制度の周知を引き続き図ってまいります。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	所得制限の範囲や対象者の見直しを引き続き検討しながら、事業を継続して実施していきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>2 子育て・子育て支援体制の整備</b>			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	学校教育課
施策内容	4 障害児施策の充実	事業対象者	児童・生徒
事業名	75 特別支援教育就学奨励費の補助		
事業の概要	◆特別支援教育を受ける児童及び生徒を養育する世帯を対象に就学奨励費を補助することで、経済的負担の軽減を図ります。		
平成24年度事業目標	◆支給決定された者について100パーセント支給します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	児童生徒の保護者から提出された申請を受け、当該援助費支給認定に必要な書類を確認し、進達事務を行った。 【実績】支給延人数 130人(H25.2.1現在)				
評価指標	◆該当児童・生徒への実施率	平成23年度数値	◆100%	平成24年度数値	100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
進達を行い、支給決定された者については100パーセント当該手当が支給されている。	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	認定された者について100パーセント支給する。
------------	-------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦及び乳幼児とその保護者
事業名	76 健やかな子を産み育てる体制の充実		
事業の概要	◆母子健康手帳の交付から始まる、妊娠・出産・育児を通した一貫性のある健診・相談・教育の実施体制を充実し、思春期保健を含めた親と子の健康づくりを進めます。 ◆母子保健活動の拠点としてのヘルスステーションの充実を図ります。		
平成24年度事業目標	◆引き続き、母子健康手帳交付時、転入時より妊娠・出産・育児を通した一貫性のある健康診査・健康相談・健康教育・家庭訪問等の体制が充実するよう努めます。また、「こんにちは赤ちゃん事業」として全戸訪問による把握を推進し、個別の相談を継続していきます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	母子健康手帳の交付、転入時より妊娠・出産・育児を通した一貫性のある健康診査・健康相談・健康教育、家庭訪問等の体制が充実するよう努めました。 生後4か月までの全戸訪問を目指した「こんにちは赤ちゃん事業」(助産師による産婦・新生児訪問、母子保健推進員による家庭訪問)にて、乳児期の子育てに関する不安感の軽減や情報提供を行いました。				
評価指標	◆こんにちは赤ちゃん事業家庭訪問実施率	平成23年度数値	94.9%	平成24年度数値	94.0%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	新生児訪問では、「普段やっていることを助産師の人に‘これでいいのよ’と言われ安心した。」「体重が増えているか心配だったので、来てもらって安心した。」等の感想を得ています。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
こんにちは赤ちゃん事業は実施率94.0%(見込み)、4か月児健康相談では、112回1,172名(来所率92.5%)(1月末現在)、10か月児健康相談では97回1,090名(90.0%)(1月末現在)、1歳6か月児健康診査では20回1,103人(来所率93.6%)(1月末現在)、3歳児健康診査では20回1,146人(来所率91.7%)の来所があり、安心して子育てできるための支援につながりました。	引き続き未把握ケースの確認を行っていきます。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	引き続き、母子健康手帳交付時、転入時より妊娠・出産・育児を通した一貫性のある健康診査・健康相談・健康教育・家庭訪問等の体制が充実するよう努めます。また、「こんにちは赤ちゃん事業」として全戸訪問による把握を推進し、個別の相談を継続していきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課・他関係各課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦及び乳幼児とその保護者
事業名	77 心身の健康についてハイリスク者の把握と支援の充実		
事業の概要	◆病気や障害の可能性を早期に把握し、適正な医療や療育の体制につなげていきます。 ◆家庭の養育力に着目した母子保健活動を展開する中から、子どもの心身の健全な発育・発達を阻害する因子に対して、早期対応を図ります。		
平成24年度事業目標	◆家庭の養育力の向上と安心して子育てができることを目指して、妊娠期からの各事業を一貫して実施し、支援が必要な方への早期発見・支援を行います。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	母子健康手帳交付時の看護職による面接 4か月児・10か月児健康相談 1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査 幼児相談・発達相談 電話相談・所内相談・訪問指導等の事業により、対象者の把握・支援を行いました。				
評価指標	◆支援が必要な妊婦への訪問等での対応割合	平成23年度数値	84.6%	平成24年度数値	90.7%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	「こどもの成長発達を確認できてよかった。」「助言を受けて相談機関に通おうと思った。」との意見がある一方で、「仕事をしており、参加するのに日程調整が難しい」との意見がありました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
個別の支援が必要な方には、妊娠期から継続した支援を行うことで、家庭の養育力を高める支援、安心して子育てができる支援につながりました。	健康診査等の事業に参加しない親子に個別にアプローチを行い、把握・支援をすることが必要です。	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆家庭の養育力の向上と安心して子育てができることを目指して、妊娠期からの各事業を一貫して実施し、支援が必要な方の早期発見・支援を行います。 ◆未熟児養育医療等にかかわる給付・相談等(平成25年4月 県より権限移譲)を実施し、対象者を早期に発見し、円滑に適切な支援へつなげていきます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦
事業名	78 母子健康手帳の交付		
事業の概要	◆妊娠・出産・育児に関する情報を提供し、個々の状況に沿った相談・指導を行い、妊娠初期からの継続した支援を行います。		
平成24年度事業目標	◆引き続き妊娠届出者に看護職が面接し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供していきます。個別支援が必要な妊婦には、地区担当保健師が訪問指導・所内相談・電話相談等で継続して支援していきます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	看護職の面接により母子健康手帳を交付し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供しています。不安や問題を抱える人に対しては、妊娠中より継続した支援をしています。				
評価指標	◆妊娠届出者・転入時面接した妊婦への面接割合	平成23年度数値	◆100%	平成24年度数値	◆100%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	母子健康手帳交付時に、「プライベートなことなので、お部屋に配慮してもらい相談しやすい雰囲気だった。」「今後相談できる担当者を紹介してもらい安心した。」という感想が得られています。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
すべての妊娠届出者に個別面接し、母子健康手帳を交付し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供することができました。個別支援が必要な妊婦には、地区担当保健師が訪問指導・所内相談・電話相談などで対応しました。	母子健康手帳交付時の情報提供では、妊婦健康診査の受診に関するものも含んでいるため、妊娠確認後、速やかに妊娠の届出を済ませていただけるよう、さらに周知徹底が必要です。	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	引き続き妊娠届出者に看護職が面接し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供していきます。個別支援が必要な妊婦には、地区担当保健師が訪問指導・所内相談・電話相談等で継続して支援していきます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	継続して支援が必要な妊婦
事業名	79 継続して支援が必要な妊婦への支援の充実		
事業の概要	◆妊娠・出産・育児に関する情報を提供し、個々の状況に沿った相談・指導を行い、妊娠初期からの継続した支援を行います。		
平成24年度事業目標	◆引き続き、積極的に継続支援の必要な妊婦に、妊娠中より支援していきます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	妊娠届出時に不安や問題を抱える妊婦には、妊娠中より地区担当保健師が、訪問指導・所内相談・電話相談等で継続した支援をしました。				
評価指標	◆支援が必要な妊婦への訪問等での対応割合	平成23年度数値	◆84.6%	平成24年度数値	90.7%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	「妊娠中から保健師さんが相談にのってくれて心強かった。」「妊娠中から担当の人の顔が見られることで産後も安心して相談できた。」との感想を得ています。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
妊娠中から地区担当保健師が支援することで、新生児期からの精神的・身体的に不安定な母親への支援がスムーズに出来ました。	精神的疾患を合併した妊婦も増加しているため、妊娠期からの支援がより重要になると考えます。	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	引き続き、積極的に継続支援の必要な妊婦に、妊娠中より支援していきます。
------------	-------------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦とその夫(パートナー)
事業名	80 ママ・パパになるための学級の充実		
事業の概要	◆安心して妊娠・出産・育児に臨めるように、知識・技術を提供する場を設けるとともに、身近な地域での仲間づくりを推進します。		
平成24年度事業目標	◆引き続き安心して妊娠・出産・育児に臨めるよう、知識・技術を提供する場を設けるとともに、身近な地域での仲間づくりを推進します。 妊婦同士の交流を図り、妊娠中から子育て期に向けての仲間づくりの場となるよう努めます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	妊娠中3回、産後1回の4課1コースで年間12回(うち、2課が土曜日のコースを8回/年、平日のコースを4回/年)実施しました。 妊娠・出産・育児に関する知識・技術の提供や仲間づくりを行ったほか、2課では父親(パートナー)の参加を促し、「妊娠シミュレーター」を着用して父親が妊婦体験を行ったり、育児は夫婦共同という意識がもてるよう講義とグループワークを実施しました。また、父親(パートナー)が多く参加する2課で、産後のママの心と体の変化、産後うつや産後ブルー等について、夫にも理解してもらえるように内容の充実を図りました。4課では先輩ママからアドバイスをしてもらいながら、産婦同士の仲間づくりもすすめました。 公民館主催の講座で、妊婦・夫が参加できる講座のPR、企業局主催の「マタニティクッキング」のPRも行いました。				
評価指標	◆妊婦・夫受講率	平成23年度数値	妊婦44.8%・夫31.9%	平成24年度数値	妊婦51.8%・夫41.6%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	「ママ・パパになるための学級」の参加者から以下のような感想がありました。 妊婦からは、「不安よりもあかちゃんに会える楽しみが大きくなった。」「パパはこんな風に考えてあかちゃんを迎えようとしてくれているんだ、と思って嬉しかった。安心して出産に臨めそう。」「出産に対する心構えができたことやこの時期に妊娠中の方と知り合うことができてよかった。」「先輩ママから話を聞いて育児が楽しみになってきた。」「 夫からは「積極的に子育てに参加したいと思った。妻をサポートしたいと思った。」「同地区のパパと交流ができて有意義な時間となった。」「産後の心のケアを実践したい。」「同窓会を兼ねて実施している4課に出席した先輩ママからは「悩みを相談できるネットワーク(ママ友)ができてよかった。」との感想を得ています。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
受講率は増加傾向にあり、「育児」についてイメージ化し、仲間と共に産後スムーズに育児ができるよう設定されている内容も好評を得ています。 4課で妊娠期に出会った仲間に産後再会することで、仲間づくりをさらにすすめ、産後の育児不安・ストレスを仲間とともに解消でき、後輩妊婦へ体験談を話すことで、自分の育児に自信を深める機会となっています。	参加者数は月ごとにばらつきがありますが、増加傾向です。安全な教室が運営できるような会場レイアウト、会場確保、担当者増が必要です。 コース(妊娠中3回)を通して参加していただくことで、知識・技術の情報提供や、仲間づくりがすすむものと考えていますが、勤労妊婦が増加する中、単発(1回のみ)の参加を希望される方も増える傾向です。できるだけコースを通して参加していただけるような案内が必要です。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	引き続き安心して妊娠・出産・育児に臨めるよう、知識・技術を提供する場を設けるとともに、身近な地域での仲間づくりを推進します。 妊婦同士の交流を図り、妊娠中から子育て期に向けての仲間づくりの場となるよう努めます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	就学前の乳幼児とその保護者
事業名	<b>81 乳幼児に対する健康相談の充実</b>		
事業の概要	<p>◆助産師による産婦・新生児訪問、地区住民でもある制度ボランティアの母子保健推進員による全出生児の家庭訪問、全員を対象とした乳幼児の健康相談等を通して、子育てに関する不安感の軽減や情報提供を行います。また、健康な生活を目指した食事・睡眠・遊び・むし歯予防等生活習慣について、保健師・栄養士・歯科衛生士が情報提供を行い、個々の状況に応じた相談にも応じます。</p> <p>◆乳幼児の発育・発達に関する心配については、専門医師による発達相談や、心理職による相談の機会を設け、親の不安を丁寧に受け止めながら、早期に適切な指導や療育につなげることによって、子どもにとっての最大限の成長・発達を促す支援をしていきます。</p> <p>◆電話や来所・訪問等で妊婦・保護者からの相談窓口として、ヘルスステーションの機能を強化していきます。</p>		
平成24年度事業目標	健やかな子どもの成長・発達及び保護者の子育てに関する不安の軽減を目指して、各事業を推進します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	生後4か月までの全戸訪問を目指したこんにちは赤ちゃん事業(助産師による産婦・新生児訪問、母子保健推進員による家庭訪問)、4か月児・10か月児健康相談、発達相談、心理相談、電話相談、所内相談や訪問指導などの相談事業を実施しました。				
評価指標	◆こんにちは赤ちゃん事業実施率	平成23年度数値	94.9%	平成24年度数値	94.0%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<p>妊娠期からの相談場所があることに対して、「心強い。」との意見が聞かれました。こんにちは赤ちゃん事業では、「初めての育児で心細かったけれど、訪問してもらい、いろいろ話を聞いてもらえて、うれしかった。」との声が聞かれています。</p> <p>専門家による健康相談(発達相談・心理相談)の利用者からは「具体的なこどもへの対応方法を聞くことができ、とても参考になった。」「不安な気持ちが軽くなった。」などの意見が聞かれました。</p>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>生後40日までの助産師による産婦・新生児訪問、母子保健推進員による生後2か月頃を目安とした家庭訪問により、子育て開始の早い時期に支援ができ、母親の不安の軽減を図ることができました。</p> <p>4か月児・10か月児健康相談では、子どもの健やかな成長・発達を促すための情報を提供するとともに、母親同士の交流や仲間づくりを促し、仲間づくりの機会を提供することができました。</p>	<p>里帰り出産で、他市に長期滞在する方も多いため、出産後の支援が適切に受けられるように、他市町村との連携を継続、強化する必要があります。</p>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	健やかな子どもの成長・発達及び保護者の子育てに関する不安の軽減を目指して、各事業を推進します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	就学前の乳幼児とその保護者
事業名	<b>82 健康教育の推進</b>	平成24年度事業費決算見込み額	27,000円
事業の概要	<p>◆生涯の健康の基盤をつくる大切な時期の、子どもの生活と健康をテーマとして、食事・排泄・睡眠・遊び等とその生活リズムの重要性を伝え、いのちと性の教育の第一歩として、乳幼児期の保護者への教育にも力を入れていきます。</p> <p>◆男女ともにかかわる妊娠・出産から子育てについての意識啓発や、体験学習の機会を拡充し、男女共同参画の視点で母性・父性の役割について学ぶ機会を設けます。</p> <p>◆乳児の相談や公民館・幼稚園における健康教育等の機会に、保護者に対して「いのちと性」の正しい理解を目的とした学習を、一貫した流れの中で行えるよう取り組んでいきます。</p>		
平成24年度事業目標	◆引き続き、健康教育の場を拡大し、関係機関との連携を図り、充実させていきます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<p>「幼稚園健康教育」、「離乳食教室」、公民館主催の「育児講座」、「幼児家庭教育学級」、「PTA家庭教育学級」等の中で、乳幼児期の保護者に対して、子どもの生活と健康をテーマに食事・排泄・睡眠・遊びや生活リズムの重要性、「いのち・性」についての健康教育を講座の中で組み込み、実施しました。</p> <p>妊娠期から「ママ・パパになるための学級」において、子育てについて・母性父性の役割についての意識啓発や体験学習を行いました。</p> <p>4か月児・10か月児健康相談では、子どもの生活・健康面だけでなく、基本的信頼関係や子どもとの向き合い方について伝えました。</p>				
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆離乳食教室稼働率</li> <li>◆むし歯のない3歳児の割合</li> <li>◆性教育をしたことがある親の割合</li> <li>◆自分以外の人に優しく接している人の割合</li> </ul>	平成23年度数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆71.9%</li> <li>◆83.9%</li> <li>◆次回平成25年度末調査予定</li> <li>◆次回平成25年度末調査予定</li> </ul>	平成24年度数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆74.5%(見込み)</li> <li>◆81.6%(2月末)</li> <li>◆次回25年度末調査予定</li> <li>◆次回25年度末調査予定</li> </ul>

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	「あなたはとても大切な存在であること、いのちの大切さなど、日常の会話の中で親子で話したい。」「日々、子どものできないことに目がいきがちでつい怒ってしまうことも。お話を聞いて、もっと子どもをほめてあげたいと思った。」などの感想が聞かれています。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>健康教育では、子どもの生活と健康・いのちと性についての講義などを、80回延4,180人(1月末現在)の乳幼児とその保護者に行うことができました。そのうち、幼稚園健康教育は、市内13園の公立幼稚園で行い、28回延1,680人の幼児とその保護者に支援することができました。</p> <p>4か月児健康相談では、112回1,172人(1月末現在)、10か月児健康相談では97回1,090人(1月末現在)の保護者へ支援することが出来ました。</p>	<p>今後は、まちづくり出前講座等、市民からの講義依頼を増やし、より多くの子育て中の方に支援をするために、母子保健活動事業全体の中で、PRを行い教育の機会を確保していく必要があります。</p>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	関係機関と連携し、市民への周知につとめ、健康教育の機会の確保をめざします。
------------	---------------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦一般健康診査:妊婦 乳児一般健康診査:乳児 1歳6か月児健康診査:1歳6か月～2歳未満児 3歳児健康診査:3歳～4歳未満児
事業名	83 健康診査の充実		平成24年度事業費決算見込み額
事業の概要	<p>◆安全で安心な妊娠・出産と、子どもの発育・発達を確認し、健やかな成長を促すため、医療機関で行う一般健康診査の費用、妊婦歯科健康診査の費用を助成します。</p> <p>◆幼児期においては集団健康診査を行い、保護者ととも子どもの心身の発育・発達を確認し、ことばや行動等、保護者の心配事に対して、医師、歯科医師、心理職、言語聴覚士、保健師、栄養士、歯科衛生士等が対応します。</p>		
平成24年度事業目標	<p>◆妊娠期・乳児期においては、安全で安心な妊娠出産と健やかな子どもの発育・発達を促すために医療機関で行う健康診査の費用を助成します。</p> <p>幼児期においては、さらに育児支援にも重点を置いた健康診査を実施し、保護者の育児不安の軽減に努めます。</p>		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<p>妊婦一般健康診査(個別健診)は14回助成しました。 妊婦歯科健康診査は妊娠中に1回実施しました。 乳児一般健康診査(個別健診)は3～6か月児、9～11か月児の2回助成しました。 1歳6か月児・3歳児健康診査(集団健診)は、よりよく子どもの発達を確認できるように個別面接を行い、子どもの成長発達の確認や子育ての情報を提供した他、保護者が子どもの健康や健やかな成長に関心が持てるように支援、保護者の育児不安、ストレスへの支援も実施しました。また、3歳児健康診査では、保護者の歯科健診も併せて実施しました。(希望者)</p>				
評価指標	<p>◆妊婦歯科健康診査受診率</p> <p>◆1歳6か月児健康診査受診率</p> <p>◆3歳児健康診査受診率</p>	平成23年度数値	<p>◆22.6%</p> <p>◆91.6%</p> <p>◆87.4%</p>	平成24年度数値	<p>◆17.8%(1月末現在)</p> <p>◆93.6%(1月末現在)</p> <p>◆91.7%(1月末現在)</p>

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<p>妊婦一般健康診査については「14回も助成してくれて助かる。」 1歳6か月・3歳児健診では「かんしゃくや卒乳など、子育てに関する相談ができて安心した。」「子どもの成長を振り返るいい機会になった。」「視力検査・聴力検査で指摘を受け、早めに医療機関に受診することができてよかった。」などの感想が得られました。</p>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>妊婦健診の公費助成があることで、母子健康手帳の交付時期が早くなり(H25.1末現在11週以下での交付率93.8%)健康管理に対する意識の向上につながりました。</p> <p>1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査では、子ども一人一人の成長段階にあわせた指導を行いました。また、状況に応じて個別相談を行うことで、保護者の不安の軽減につながりました。</p>	<p>日時・会場の指定される集団健診は、両親ともに就労している保護者等は都合がつかない場合があります。その家庭の状況に応じて、健診日以外に家庭訪問・所内相談等での個別対応を行い、発育発達についての確認と、保護者の育児不安等に対する支援をしていく必要があります。</p>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<p>妊娠期・乳児期においては、安全で安心な妊娠出産と健やかな子どもの発育・発達を促すために医療機関で行う健康診査の費用を助成します。</p> <p>幼児期においては、引き続き集団健診を実施し、保護者ととも子どもの成長発達の確認を行います。また、育児支援にも力を入れ、保護者の育児不安の軽減に努めます。</p>
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	予防接種対象者(乳幼児・学童・中高生)の保護者
事業名	<b>84 予防接種</b>		
事業の概要	◆感染力が強く、かかると重篤になりやすい疾患について、「予防接種法」に基づく定期予防接種を行います。		
平成24年度事業目標	定期予防接種、子宮頸がん予防ワクチン接種について、市民にわかりやすく説明書等を改善し、引き続き、各関係機関と連携し接種勧奨を行います。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「予防接種法」に基づく定期予防接種の実施と接種勧奨。</li> <li>・「ワクチン接種緊急促進実施要領」に基づく子宮頸がん等ワクチン接種の実施と接種勧奨。</li> </ul>				
評価指標	◆接種率	平成23年度数値	◆BCG96.7%・MR1期 96.5%	平成24年度数値	◆BCG100.5%・MR1期 98.8% (12 月末見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	・新規に導入された不活化ポリオ、4種混合ワクチン接種についての問合せが多くありました。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期予防接種については、不活化ポリオワクチンの導入を行い、また風しんの流行などに合わせ、接種勧奨をすることができました。</li> <li>・子宮頸がん等ワクチン接種については、医療機関と連携し、平成23年度に引き続き実施することができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者への予防接種(スケジュール等)についての情報提供。</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	新たに定期予防接種化される子宮頸がん等ワクチン接種を含め、市民にわかりやすく説明書等を改善し、引き続き、各関係機関と連携し接種勧奨を行います。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課、学校教育課
施策内容	2 思春期保健対策の充実	事業対象者	子育てに関わる各関係機関 市立小・中・高等学校の児童生徒
事業名	<b>85 中学校区地域保健連絡会の推進</b>		
事業の概要	◆中学校区ごとに実施している地域保健連絡会において、幼稚園、保育所・こども園・小学校・中学校・高校・公民館等の関係職員が連携を強化し、保護者や習志野健康福祉センター等、外部関係機関との連絡調整を行いながら、子どもの発育・発達に応じた健康づくりに取り組む体制づくりを進めていきます。		
平成24年度事業目標	◆中学校区ごとに実施している地域保健連絡会において、幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校・高校・公民館等の関係職員が連携を強化し、保護者や習志野健康福祉センター等、外部関係機関との連携調整を行いながら、子どもの発育・発達に応じた健康づくりに取り組む体制を進めていきます。(学校教育課) ◆地域に生活する各年代の健康づくりに各関係機関が連携して取り組むために、定期的に地域保健連絡会を実施します。(健康支援課)		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆市内7つの中学校区ごとに定期的な中学校区地域保健連絡会を実施しました。実務にかかわる保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校・高校・公民館等の関係機関、健康福祉センター等の外部関係機関とともに各地域の問題点を共有しながら、子どもの健康づくりに取り組みました。(健康支援課) ◆各中学校区地域保健連絡会に出席し、課題となっていること、各学校での学校保健の取組について把握し、必要に応じて支援を行いました。(学校教育課)				
評価指標	◆中学校区地域保健連絡会開催回数	平成23年度数値	◆22回	平成24年度数値	◆21回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆定期的に地域保健連絡会を実施することで、関係機関と連携し、健康づくりに取り組む体制を継続することが出来ました。(健康支援課) ◆中学校区地域保健連絡会において、関係者の情報交換が盛んに行われており、日々の業務において連携・協力体制に強くなっています。(虐待ケースの対応等)(学校教育課)	◆各地域の実情に合わせた課題の解決に向けて、各中学校区での取り組み課題はさまざまです。思春期保健対策の充実を図るため、「いのち・性」に関する情報交換が必要です。(健康支援課)
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆地域に生活する各年代の健康づくりに各関係機関が連携して取り組むために、定期的に地域保健連絡会を実施します。(健康支援課) ◆中学校区ごとに実施している地域保健連絡会において、幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校・高等学校・公民館などの関係職員の連携をより強化し、保護者や習志野健康福祉センター等、外部関係機関との連携調整を行いながら、こどもの発育・発達に応じた健康づくりに取り組む体制を進めていきます。(学校教育課)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	3 小児救急医療体制の充実	事業対象者	15歳未満の小児
事業名	86 小児救急医療体制の整備、充実		
事業の概要	<p>◆小児が休日夜間の急病時に、確実に受け入れられる診療体制の充実を図ります。</p> <p>◆夜間や休日における一次・二次診療は、習志野市医師会等の関係機関の協力を得るとともに、近隣市の医療機関と連携しながら対応しております。今後も引き続き関係機関の協力を得ながら体制整備を図っていきます。</p>		
平成24年度事業目標	<p>引き続き、日頃からかかりつけ医を持つこと、また、一次救急・二次救急・三次救急といった医療体制や日中の早めの受診、夜間に急病になった場合の「子ども急病電話相談」の利用の促進について、市ホームページ、救急医療ガイド等により周知し、限りある医療資源を有効に活用することで、救急医療体制の充実を図ります。</p>		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<p>・夜間に急に子どもが具合が悪くなった時、急いで受診した方が良い場合と、家庭で対応し翌日かかりつけ医へ受診した方が良い場合があります。これに対応できるように、千葉県・千葉県小児科医会及び千葉県医師会が共同で作成した、症状ごとの程度に応じたチェックリストと対処方法が記載された「チェックリストによる子ども急病ガイドブック」を生後2か月～3か月児をもつ家庭に配布しました。</p> <p>・千葉県が実施している、夜間に子どもが急に具合が悪くなったとき、医療機関にすぐに受診させたほうがよいか相談できる「こども急病電話相談」の広報シール(千葉県作成)を生後2か月～3か月児をもつ家庭及び母子健康手帳室に配布し、適正な医療受診の啓発に努めました。</p>				
評価指標	急病診療所における小児患者数 二次救急医療機関における夜間受診者数	平成23年度数値	◆1,833人 ◆7,134人	平成24年度数値	◆1,700人(見込み) ◆7,000人(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<p>転入者からは救急医療ガイドに記載されている救急医療体制について、「医療体制がわかりやすい」という意見や、一方で「急な発熱の場合、急病診療所がはじまるまで待たないといけないのか」、「夜間小児科を受け入れてくれる病院が欲しい」という意見がありました。</p>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>市ホームページ及び救急医療ガイド、子育てガイドブックにて一次救急・二次救急・三次救急といった医療体制や日中の早めの受診について周知をする以外に、県が実施及び作成している「チェックリストによる子ども急病ガイドブック」及び「こども急病電話相談」シールを配布し、2か月～3か月の子どもをもつ家庭に周知したことにより、小児をもつ家庭の不安の緩和につながりました。</p>	<p>一次救急・二次救急・三次救急といった小児救急体制の整備状況の周知や、日中の早めの受診協力、県が実施している「子ども急病電話相談」の利用の促進により、限りある医療資源を有効に活用できるよう、適正な医療受診についての啓発を引き続き実施していく必要があります。</p>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<p>引き続き、日頃からかかりつけ医を持つこと、また、一次救急・二次救急・三次救急といった医療体制や日中の早めの受診、夜間に急病になった場合の「子ども急病電話相談」の利用の促進について、市ホームページ、救急医療ガイド等により周知し、限りある医療資源を有効に活用することで、救急医療体制の充実を図ります。</p>
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	市民
事業名	87 安全で安心なまちづくり基本計画等に基づく施策の実施		
事業の概要	◆「基本計画」及び「実施計画」に基づき、防犯啓発活動、庁内関係機関及び地域等との連携・ネットワークの整備、防犯パトロールの強化、子どもたちの通学時等における安全確保、地域防犯活動への支援等の施策に積極的に取り組みます。		
平成24年度事業目標	◆警察、市民と連携し、防犯パトロールや街頭啓発活動等を充実させ、防犯対策強化を図り、犯罪発生を抑止を図ります。 ◆警察との連携を密にし、増加傾向にある犯罪についての防犯対策について、まちづくり出前講座等を活用し、市民の防犯意識の高揚を図ります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防犯活動団体の拡充</li> <li>・防犯パトロール支援</li> <li>・防犯講演会等の開催</li> <li>・犯罪情報の提供(ホームページ・防犯マップ・携帯メール)</li> <li>・防犯カメラの設置(藤崎・花咲地区)</li> </ul>				
評価指標	◆犯罪発生件数	平成23年度数値	2,468件	平成24年度数値	2,468件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
犯罪被害を未然に防ぐため、警察・市民と連携し、夜間パトロール等の強化を行いました。また、防犯意識の高揚を狙った街頭啓発キャンペーンやまちづくり出前講座等に参加しました。犯罪発生件数は、前年に比べ増加することなく、同数という結果を得ることができました。	防犯に対する啓発活動や防犯意識の高揚を図り、犯罪抑止に努めている結果、犯罪発生件数は年々減少はしているものの、ここ数年来重点的に対策を行っていた「ひったくり」件数が前年に比べ増加してしまいました。防犯カメラ設置による効果を見極め、今後の対策として有効かを検証します。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察、市民と連携し、防犯パトロールや街頭啓発活動等を充実させること。また防犯対策強化を図り犯罪抑止に努めます。</li> <li>・警察との連携を密にし、増加傾向にある犯罪についての防犯対策について協議し、まちづくり出前講座等において、広く市民に防犯意識の高揚を図ります。</li> </ul>
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	企画政策課・道路交通課・各施設所管課
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	各鉄道事業者 高齢者、障害者等
事業名	88 駅、公共施設、道路等のバリアフリー化		
事業の概要	◆駅や公共施設における手すりやエレベーターの設置等の整備・改善について関係機関の協力を得ながら促進します。 ◆歩道の段差改善等のバリアフリー化を図ります。		
平成24年度事業目標	◆京成電鉄(株)が京成津田沼駅の3、4番線ホームに、視覚障害者に対応した内方線付点状ブロックの整備を予定していることから、この事業に対して、事業費の3分の1の補助を実施する予定です。(企画政策課) ◆市内の生活道路における歩道の段差解消等のバリアフリー化を図ります。(道路交通課)		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆京成電鉄(株)が京成津田沼駅の3、4番線ホームに対し、視覚障がい者に対応した内方線付き点状ブロックの整備を実施し、この事業費の3分の1を補助しました。(企画政策課) ◆未実施(道路交通課)				
評価指標	—	平成23年度数値		平成24年度数値	

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆鉄道事業者から、内方線付き点状ブロックの未整備の駅においては、今後、段階的に整備を進め、その際には、引き続き国や市と連携を図りながら整備を進めていきたいとの意向が示されました。(企画政策課)
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆国、本市、京成電鉄(株)との連携により、京成津田沼駅の3、4番線ホームに対し、視覚障がい者に対応した内方線付き点状ブロックの整備が完了しました。(企画政策課)	特になし
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆以下の3つの駅の内方線付き点状ブロックの整備について、事業費の3分の1を補助します。(企画政策課) ①JR津田沼駅: JR東日本による、総武線上り・下り、総武緩行線の各ホームにおける内方線付き点状ブロックを整備 ②新津田沼駅: 新京成電鉄(株)による、1、2番線ホームにおける内方線付き点状ブロックを整備 ③京成大久保駅: 京成電鉄(株)による、1、2番線ホームにおける内方線付き点状ブロックを整備 ◆JR津田沼駅周辺地区における歩行面のバリアフリー化に向けた詳細設計を実施する。(道路交通課)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	学校教育課・指導課・こども保育課
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	市立小中学校
事業名	<b>89 学校安全の充実</b>	平成24年度事業費決算見込み額	
事業の概要	◆①総合的な学校安全計画作成・整備、②学年や年齢に合わせた交通安全教室の充実・指導の徹底、③安全点検の充実・事後処理の徹底、④学校安全関係者の質的向上、⑤学校・行政・地域が連携した通園・通学路の点検・改善整備を図ります。		
平成24年度事業目標	◆子どもたちが安心・安全な学校生活がおくることができるように、多様な場面を想定した「危機管理マニュアル」の作成に努めていきます。(学校教育課) ◆地域や関係機関との連携を図りながら、避難訓練等を実施し、安全管理体制づくりを目指します。(学校教育課) ◆文書等を通じて、主に交通安全教育の徹底を図り、関係機関との連携も密にしていきます。(指導課) ◆学校警察連絡会、生徒指導主任会議及び生徒指導担当教員会議を通して、市内の状況を共有化し、関係機関と連携を図りながら、交通安全指導の共通理解を図り、未然防止に努めます。(指導課) ◆子ども達が安心安全な生活が送れるよう、「危機管理マニュアル」を見直し、定期的な訓練を実施します。(こども保育課)		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆これまでの危機管理マニュアルを見直し、津波や液状化を想定した避難訓練を実施しました。(学校教育課) ◆各学校の安全担当主任教諭参加のもと、安全主任研修会を実施しました。(学校教育課) ◆学校職員・PTA代表・警察・市担当課・教育委員会で一緒に通学路の危険箇所点検を行いました。(学校教育課) ◆年3回、学校と警察との連絡協議会を実施し、連携も密にするとともに、交通安全教育の徹底を図りました。(指導課) ◆年4回の生徒指導主任会議(小・中学校)や毎月開催した生徒指導担当教員会議(中学校)を通して、市内の交通事故の実態を報告し、交通安全指導の徹底を図るようにしました。(指導課) ◆各施設ごとに、安全計画や危機管理マニュアルに基づいて計画的に訓練を実施しました。(こども保育課) ◆警察等の協力を得ながら交通安全教室を実施したり、通園路の点検・改善に努めたりしました。(こども保育課) ◆子ども達が安心安全な生活が送れるように、確実に定期点検を実施し、適切な事後処理に努めました。また、研修等を通して、職員に対する危機管理意識の向上に努めました。(こども保育課)				
評価指標	◆小学校・中学校での安全計画作成割合 ◆小学校・中学校での交通安全教室実施率	平成23年度数値	◆100% ◆92.5%	平成24年度数値	◆100% ◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆各学校とも、避難訓練を繰り返すことにより、より現実的な危機管理マニュアルに改訂していくことができました。(学校教育課) ◆安全主任等の研修会を実施し、学校職員へ市の防災体制を知らせ、連携を図ることができました。(学校教育課) ◆学校職員・PTA代表・警察・市担当課・教育委員会で一緒に通学路点検を行い、危険箇所を確認するとともに、改善要望を出すことができました。(学校教育課) ◆情報の共有化し、共通理解を図ることにより、子どもの心身の健全な成長と自立を支えることができました。(指導課) ◆交通安全教室や日々の交通安全指導を通して、園児・保護者の交通安全に対する意識が高まった。(こども保育課) ◆訓練を積み重ねる中で、職員の指示に従って園児が落ち着いて行動できるようになってきている。(こども保育課)	◆学校や地域の特性に合わせた危機管理マニュアルを学校独自で作成することにより、各学校での避難行動については、ばらつきがでてしまいました。(学校教育課) ◆通学路の改善について、早急に対応できない箇所が残ってしまっています(学校教育課) ◆より具体的な自転車の交通安全教室を実施していく必要があります。(指導課) ◆園児・保護者の実態や地域の実情を踏まえて、多様な場面を想定した「危機管理マニュアル」や訓練計画等の作成に努め、発達や年齢に応じて計画的に指導していくことが重要である。(こども保育課)
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆教育委員会として「学校における地震対応マニュアル」を発行することにより、ライフラインが切断されたとしても、市立小中学校の避難行動においては、統一行動をとることができるようにしていきます。(学校教育課) ◆安全な通学路にしていくために、意見交換の場として、対策協議会を設けていきます。(学校教育課) ◆文書等を通じて、主に交通安全教育の徹底を図り、関係機関との連携も密にしていきます。(指導課) ◆学校警察連絡会、生徒指導主任会議及び生徒指導担当教員会議を通して、市内の状況を共有化し、関係機関と連携を図りながら、交通安全指導の共通理解を図り、未然防止に努める。(指導課) ◆地域や園児・保護者の実態を踏まえて、多様な場面を想定した「危機管理マニュアル」や訓練計画の作成に努めていきます。(こども保育課)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	子育て支援課
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	乳幼児とその保護者
事業名	90 子育て応援ステーション事業の充実		
		平成24年度事業費決算見込み額	30,000円
事業の概要	◆乳幼児を連れて、安心して外出できる環境を整えるため、授乳やおむつ交換ができる場を整備していくとともに、地域力を活用した子育て家庭への支援施策を検討します。		
平成24年度事業目標	◆授乳やおむつ交換の場を提供してくれる事業者を少しずつ増やしていくことで、子育て中の家族が安心して外出することのできる環境の更なる整備を図ります。 ◆地域力を活用した子育て家庭への支援施策を検討し、制度の更なる拡充を図ります。 ◆千葉県が平成24年7月から実施する「子育て応援！チーパス事業」と連携しながら周知を図ります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	・協力店舗には店先等の目立つ場所にステッカーを掲示してもらい、利用者が気軽に立ち寄ることができるような環境を整備しました。				
評価指標	◆協力店舗数	平成23年度数値	◆11店舗	平成24年度数値	◆13店舗

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	・「子育て応援ステーションに協力することで、地域の子育て家庭を応援したい」との声がありました。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
・外出中に授乳やおむつ交換ができる場を薬局等の事業者の協力店舗に提供してもらい、市民の方へ広報することで、乳幼児連れの家族が安心して外出できる環境が整備されました。	・授乳やおむつ交換の場を提供してくれる事業者を、今後更に増やしていく必要があります。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	・授乳やおむつ交換の場を提供してくれる事業者を少しずつ増やしていくことで、子育て中の家族が安心して外出することのできる環境の更なる整備を図ります。 ・地域力を活用した子育て家庭への支援施策を検討し、制度の更なる拡充を図ります。 ・千葉県が平成24年7月から実施している「子育て応援！チーパス事業」と連携しながら周知を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	公園緑地課
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	遊具
事業名	91 公園施設の整備		
		平成24年度事業費決算見込み額	11,000,000円
事業の概要	◆公園施設は、子どもの視点に立った整備に配慮します。		
平成24年度事業目標	◆安全で安心な公園の提供を目指し、引き続き専門業者による遊具安全点検を実施するとともに、危険個所を見つけ次第、修繕します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	遊具安全点検を実施するとともに、危険個所を見つけ次第修繕しました。				
評価指標	◆点検結果に応じた危険な遊具の修繕・撤去数	平成23年度数値	修繕50基、更新10基、撤去2基	平成24年度数値	修繕55基、更新7基、撤去4基

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
遊具安全点検を実施するとともに、危険個所を見つけ次第修繕し、安全で安心な公園の提供ができた。	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆安全で安心な公園の提供を目指し、引き続き専門業者による遊具安全点検を実施するとともに、危険個所を見つけ次第、修繕します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	公園緑地課
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	町会、子供会、老人会、ボランティア団体
事業名	92 地域住民参加型の公園維持管理		
		平成24年度事業費決算見込み額	10,300,000円
事業の概要	◆一部の公園で、地域住民の協力を得ながら掃除、軽微な遊具点検等の維持管理を推進していきます。		
平成24年度事業目標	◆各団体の活動内容について、こまめに確認し、偏りのないようにするとともに、各団体が活動を行いやすい体制づくりを目指す。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	地域における公園の清掃・除草・草刈・施設の点検などを依頼する。				
評価指標	◆街区公園に対する市民管理団体の割合	平成23年度数値	◆48.4%	平成24年度数値	44.6%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
地域住民に公園を管理してもらうことで、地域における公園の重要性を認識してもらうとともに、効率的な維持管理が可能となる。	
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	地域に密着した公園をめざし、地域住民の協力による草刈・清掃・軽微な公園施設の点検を推進します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	警防課
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	習志野市 在住・在勤・在学者
事業名	<b>93 応急手当普及啓発活動の推進</b>		
事業の概要	◆救急救命率の向上を図るため、市民への普通救命講習会を実施します。		
平成24年度事業目標	救急蘇生法の指針が、平成24年の10月に変更となり、新たに小児・乳児・新生児を対象とした普通救命講習Ⅲ(小児幼児対象内容)、短時間の講習で受講者を小学生中高学年(概ね10歳)以上とした救命入門コースが追加され、既存の講習も一部内容にも変更がありました。 また、講習時間の分割やeラーニングを取り入れるなどし、受講しやすくなりました。 そのことを受け、来年度より各種講習等を充実させ、平成24年度は、普通救命講習受講者数の目標を2500人から2700人に増加します。 さらに、平成24年度に新たにAEDを設置する予定であります保育所・幼稚園等でも普通救命講習Ⅲを開催します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<p>小児・乳児の救命処置を講習内容とした3時間の普通救命講習Ⅲを、消防本部開催定期講習に組入れ開催いたしました。 また、公民館や幼稚園、保育所などの家庭教育学級等で先生方や、お父さんお母さんなどに普通救命講習Ⅲを受講していただきました。 3時間未満の救急講習も、同じく公民館や幼稚園、保育所等へ出向し講習会を開催いたしました。 さらに、現在継続実施しています、公立中学校での生徒を対象とした、普通救命講習を私立中学校や市内公立高校及び、大学で実施いたしました。 9月9日(救急の日)にモデルケースとして、キラットジュニア防犯隊の小学5、6年生を対象に習志野市で初めて救命入門コースを開催し、今年度は4校の小学校で救命入門コースを実施いたしました。来年度はすべての小学校で開催します。</p>				
評価指標	◆乳幼児の救急講習受講者数	平成23年度数値	◆430人	平成24年度数値	690人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人の救急講習は学んだ事がありましたが、子供のための講習ははじめてだったので勉強になりました。</li> <li>・AEDも実際体験でき、実際に遭遇した時でもそうです。自信ができました。</li> <li>・今後も定期的に受講し何時でも対応できるようにしたいです。</li> <li>・もっと多くの人に受講していただきたいので、もっとアピールしては</li> <li>・保育があると集中して受講できると思いました。</li> </ul>
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>平成24年度は普通救命講習受講者数が4000人を超える見込みで、普通救命講習市民受講率で目標を達成しそうです。 普通救命Ⅲも15回開催し216名が受講し、3時間未満の小児乳児救急講習は30回開催の490名の受講者がありました。 また、現在継続的な開催となりました、公立中学校での普通救命講習に加え私立中学校及び公立高校、大学での普通救命講習も実施しています。 9月9日(救急の日)に実施いたしましたキラットジュニア防犯隊の5、6年生に行った救命入門コースは来年度全小学校開催に向け依頼したところ今年度は4校にて開催いたしました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月9のつく日に開催しています定期講習での市民の受講率がまだまだ低く、今後定期講習での市民受講率を増加させるため、広報等を積極に行い周知が必要と考えます</li> <li>・多くの普通救命講習が開催されることにより講師の派遣等に限界があり、継続的に講習を実施するにあたり応急手当普及員の養成が必要となります。また、講習で使用します資器材等も充実させる必要があると考えられます。</li> <li>・講習の指導について、個人差があり統一した指導法や指導内容が今後の課題です</li> </ul>
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	普通救命講習受講者数4,000人以上を維持すること目標するとともに、小学校から大学、社会人と、生涯教育として一貫して普通救命講習を実施します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	全市民
事業名	94 地域防災計画の見直しと各種防災対策の拡充及び強化		
事業の概要	◆災害から子どもたちの命と身を守るため、「地域防災計画」及び「行動計画」の見直しを行い、防災訓練や防災教育の実施、幼稚園や保育所・こども園・小学校・中学校等の安全性の向上、応急保育や応急教育の実施、避難体制や防災拠点・施設等の整備、災害時要援護者支援等、各種防災対策の拡充及び強化を図り、災害に強い、安全で安心なまちづくりを推進します。		
平成24年度事業目標	◆地域防災計画の修正は、平成25年度までの継続事業として取り組むものであり、修正スケジュールにそって着実に進めます。 平成24年度:被害想定調査、職員初動マニュアル・地域活動マニュアル等の作成 ◆引き続き、防災教育に取り組めます。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災の検証報告書の作成</li> <li>・習志野市防災対応方針の作成</li> <li>・危機管理に関する庁内検討委員会の開催</li> <li>・津田沼駅周辺帰宅困難者等対策協議会の開催</li> <li>・地区別防災ワークショップの開催</li> </ul>				
評価指標	—	平成22年度数値	—	平成24年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	地域防災計画、ひいては市の防災体制に関しては市民の皆さんからたくさんのご意見をいただいておりますので、それらを計画に反映させるとともに、できる限り市から情報発信をしていきたいと考えています。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
地域防災計画の修正にあたり、庁内各部だけでなく、多くの関係機関や、地域住民との調整が必要となりますが、その過程で、お互いの意思疎通ができたと考えています。	計画を実行性のあるものとするためには、今後、職員をはじめとして、市民の皆さんにも幅広く周知をしていく必要があると考えています。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	修正スケジュールに沿って進めます。 平成25年度:職員向けの各種マニュアル・地域防災計画本編の作成
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	各自主防災組織、各町会
事業名	95 自主防災組織の拡充及び強化		
		平成24年度事業費決算見込み額	7,841,000円
事業の概要	◆地域における防災活動の中心となる、自主防災組織の拡充と強化を図ります。		
平成24年度事業目標	◆引き続き防災知識と意識の向上のため、研修会等を開催していくとともに、組織の訓練等にも積極的に参加、支援します。 ◆組織率向上のため、広報、HPや出前講座など様々な機会を通じて、自主防災組織の重要性について啓発します。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	各町会等の防災訓練や出前講座へ積極的に向き、自助・共助の重要性について啓発し、市民の防災意識・知識の向上を図りました。				
評価指標	◆自主防災組織数	平成23年度数値	◆180組織	平成24年度数値	183組織

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	自主防災組織の結成率の低い地域に対して、積極的に行政が出向いてほしいとの要望がありました。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
一般市民にとっては、防災という分野にそれほどなじみがないと思われるため、出前講座などの地道な活動を通して、基本的な事項を知ってもらうことができたと考えています。 また、実際に地域に出向くことで、住民の方の考えや意識を生々の声として聞く良い機会となりました。	同じ習志野市内でも、地域によって防災意識の差があること。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成24年度事業目標	これまでの方法を継続しながらも、実際に自主防災組織の空白地帯を中心に自主防災組織の重要性を呼びかける等、自主防災組織の結成のきっかけを与えられるような取り組みを行います。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	市内市立小学校(5・6年生) 市内市立中学校(1・2年生)
事業名	96 青少年防犯ボランティア「キラット・ジュニア防犯隊」の育成		
事業の概要	◆自主・自立の防犯対策や青少年の健全育成を目的に、小学生と中学生で組織される青少年防犯ボランティア「キラット・ジュニア防犯隊」の育成を図ります。		
平成24年度事業目標	◆防犯の重要性を活動をととして意識づけができるよう、更なる活動内容の工夫等を行い強化を図ります。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車防犯診断(7月・10月 市内5ヶ所において)</li> <li>・市民まつり(7月 オープニングパレードにおいて防犯啓発)</li> <li>・普通救命講習(9月)</li> <li>・街頭啓発キャンペーン(まちづくり月間事業 10月 市内7駅において)</li> <li>・防犯講演会における防犯寸劇(まちづくり月間事業 10月 振り込め詐欺について)</li> <li>・歳末街頭防犯キャンペーン(12月 JR津田沼駅)</li> <li>・全体ミーティング(3月 1年間を振り返って)</li> </ul>				
評価指標	◆キラット・ジュニア防犯隊隊員数	平成23年度数値	◆152人	平成24年度数値	148人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
活動に参加することにより防犯意識が向上し、防犯対策の必要性を認識することができました。また活動をととして、学区の違う子どもたちが仲間意識を持つことができ、防犯活動に限らず、各種ボランティア活動に積極的に活動するようになりました。	活動時間が制限されているため、年間活動回数が少ないので、平日の昼間でも活用できるような工夫が必要。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	防犯の重要性を活動をととして意識づけができるよう、更なる活動内容の工夫等を行い強化を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	青少年センター
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	「子ども110番の家」協力者
事業名	97 子ども110番の家の拡大		
事業の概要	◆児童生徒の緊急回避場所を確保するとともに、不審者出没の抑止力とするため、「子ども110番の家」の拡大を図ります。		
平成23年度事業目標	◆地域や関係諸機関と連携を図り、継続的に点検調査活動に取り組み、「子ども110番の家」の機能の充実を図ります。 ◆子どもの安全を地域ぐるみで守るため、「子ども110番の家」を1,200軒に拡大し、児童・生徒の緊急回避場所を確保するとともに、不審者出没の抑止力としていきます。 ◆各小・中学校及び関係団体への「子ども110番の家」の設置協力依頼を積極的に行います。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成23年度に実施した事業内容	子供たちの安全確保に本事業の機能を最大限生かすため、地域や関係諸機関と連携し、より精細な実態把握および継続調査を行った。 「子ども110番の家」プレートが色褪せ・劣化した協力者へ、プレートの再発行を行った。 各小中学校および関係団体への「子ども110番の家」の設置協力依頼を行った。				
評価指標	◆「子ども110番の家」加入軒数	平成23年度数値	◆1,125軒	平成24年度数値	1,084軒

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	子供たちの安全を守り、犯罪防止のために協力いたします。 地域の子供にもっと活用してもらいたいと思います。 看板の掲示が犯罪の抑止になればと思います。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
点検をもとに古くなったプレートを交換した。 すでに転居している協力者等の把握ができた。	協力軒数が減った。
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
C	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆地域や関係諸機関と連携を図り、継続的に点検調査活動に取り組み、「子ども110番の家」の機能の充実を図ります。 ◆子どもの安全を地域ぐるみで守るため、「子ども110番の家」を1,400軒に拡大し、児童・生徒の緊急回避場所を確保するとともに、不審者出没の抑止力としていきます。 ◆各小・中学校及び関係団体への「子ども110番の家」の設置協力依頼を積極的に行います。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	学校教育課・指導課・こども保育課
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	市内小中学校・児童生徒
事業名	98 子ども向け防犯教育の徹底		
		平成24年度事業費決算見込み額	
事業の概要	◆子どもたちが自分の身を守るためにどうしたらよいかを考え、行動できるように、防犯教育の徹底を図ります。		
平成24年度事業目標	◆日常の中で潜在する様々な危険を予測し、危険を回避して安全な行動をとることができることを目指して、防犯教育を実施していきます。また、自他の生命を尊重することや、発達段階に応じて、地域社会が実施する安全活動へ進んで参加し、地域社会の一員として貢献できるような育成に努めます。(学校教育課) ◆文書等を通じて、主に不審者対策等の徹底を図り、関係機関との連携も密にしていきます。(指導課) ◆日常の危険を回避して安全な行動をとることができることを目指して、計画的に訓練を実施します。(こども保育課)		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆各小中学校において、防犯教育を実施しました。(学校教育課) ◆関係機関と連携しながら、不審者情報の収集・伝達・事後対応など、不審者対応策の徹底に努めました。(学校教育課) ◆月1回の中学校生徒指導担当教員会議を通して、情報を共有化し、関係機関との連携を図りました。(指導課) ◆定期的に文書で、安全生活のための規範意識の徹底を図りました。(指導課) ◆不審者侵入を想定した防犯訓練を実施し、「い・か・の・お・す・し」の合言葉を通して具体的な対応の仕方を指導した。(こども保育課) ◆不審者侵入に対する防犯訓練を通して、具体的な職員の対応について共通理解を図った。(こども保育課)				
評価指標	◆幼稚園・保育所・こども園・小学校での防犯教育実施率	平成23年度数値	◆100%	平成24年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆各小中学校における不審者対応避難訓練を繰り返すことで、「自分の身は自分で守る」という危機管理意識と行動力が高まっています。(学校教育課) ◆各学校へ不審者情報を迅速かつ正確に提供するために、関係機関との連絡を密にするとともに、必要に応じて事情聴取や現場パトロール等も行いました。(学校教育課) ◆千葉県警京葉地区少年センター、習志野警察署等と連携を図ることができました。(指導課) ◆様々な想定で訓練を実施したことで、子どもを守るために職員がどのように行動すればよいかを明確にすることができた。(こども保育課) ◆訓練を通して園児が具体的な行動の仕方を知ることができた。(こども保育課)	◆今後も、地域や関係諸機関の協力を得ながら、地域の子どもは地域で守る、という考えのもと、子どもたちの安全確保に努めていきます。(学校教育課) ◆課題なし(指導課) ◆日常の中で潜在する様々な危険を予測して、日々の点検や施設整備を確実に実施していく必要がある。(こども保育課) ◆少ない職員体制での防犯対策について、関係機関との協力体制を強化していく必要がある。(こども保育課)
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆日常の中で潜在する様々な危険を予測し、危険を回避して安全な行動をとることができることを目指して、防犯教育を実施していきます。(学校教育課) ◆自他の生命を尊重することや、発達段階に応じて、地域社会が実施する安全活動へ進んで参加し、地域社会の一員として貢献できるような育成に努めます。(学校教育課) ◆文書等を通じて、主に不審者対策等の徹底を図り、関係機関との連携も密にしていきます。(指導課) ◆日常の危険を回避して安全な行動がとれるように、計画的な訓練の実施と職員や関係機関との協力体制を強化します。(こども保育課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

<b>3 親と子どもの健康・安全の確保</b>			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	指導課・こども保育課
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	
事業名	99 学校・警察連絡制度の充実		
		平成24年度事業費決算見込み額	
事業の概要	◆学校と警察が相互に連絡し、情報の共有化を図りながら、児童・生徒の非行防止や安全確保を図ります。		
平成24年度事業目標	◆有事に備え、常日頃から警察等関係機関との連携を密にしていくことにより、連絡制度の一層の充実を図ります。(指導課)		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	◆非行防止や安全確保のため、年4回、小学校・中学校生徒指導主任会議、及び月1回の中学校生徒指導担当教員会議を行い、情報の共有化を図りました。(指導課) ◆月1回の中学校生徒指導担当教員会議を青少年センターと共催し、習志野警察署、千葉県警京葉地区少年センターとの連携を密にすることで、連絡制度の一層の充実を図ります。(指導課) ◆該当なし(こども保育課)				
評価指標	—	平成23年度数値	—	平成24年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆定期的に行う会議を通して、情報の共有化、指導の共通理解を図ることができました。(指導課) ◆月1回の会議だけでなく、千葉県警京葉地区少年センター、習志野警察署と連携を図ることができました。(指導課)	◆課題なし(指導課)
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分が多い D…未実施 E…休止・廃止)	—

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	◆有事に備え、常日頃から警察等関係機関との連携を密にしていくことにより、連絡制度の一層の充実を図ります。(指導課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成24年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	ケータイ緊急情報サービス登録者
事業名	100 ケータイ緊急情報サービスの提供		
事業の概要	◆防災情報のほか、火災等の消防情報、緊急時の注意を呼びかける防犯対策情報等を、市民にとっての重要情報としてメールでお知らせするとともに、登録者数の拡大を図ります。		
平成24年度事業目標	◆ホームページや広報紙、各種事業で事業内容をPRし、登録者数の増加を図る。		

1. 平成24年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成24年度数値をご記入ください。

平成24年度に実施した事業内容	犯罪発生状況等、重要情報の配信 ・犯罪発生状況 62件 ・火災 52件 ・行方不明者 11件 ・光化学スモッグ 13件 ・不審者情報 12件 ・その他 24件				
評価指標	◆ケータイ緊急情報サービス登録者数	平成23年度数値	◆11,075人	平成24年度数値	10,133人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成24年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
緊急かつ重要情報を迅速に配信したことにより、必要な防犯対策を講じてもらうことができました。	緊急情報への認識を高め、更なる登録者数の確保
平成24年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成24年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成25年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成25年度事業目標	ホームページや広報紙、各種事業で事業内容をPRし、登録者数の増加を図ります。
------------	--